

令和4年度
事業報告

社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会

目 次

1	概況報告	1
2	具体的事業の実施状況	2
3	業務の適正を確保するための体制の整備と運用状況	8
4	事項別報告	

I 総務企画部

【総務経営班・法人運営事業関係】

1	法人運営及び関係機関・団体（会員）との連携強化	9
2	法人運営基盤の強化	12

【総務経営班・社会福祉事業従事者福利厚生事業及び表彰事業関係】

1	社会福祉事業従事者の福利厚生事業等への取組	17
---	-----------------------	----

【企画班・市町村社協活動支援事業関係】

1	市町村社会福祉協議会の活動支援、地域福祉の推進	20
2	和歌山県民生委員児童委員協議会との連携、民生委員・児童委員活動の支援	29

【企画班・施設関係】

1	「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」を通じ、地域を支える社会福祉法人の活動を支援	30
2	社会福祉法人（社会福祉施設）をはじめとする関係団体との連携強化	33

【企画班・企画調整関係】

1	新たな福祉課題（分野）への対応と地域福祉推進フォーラムの開催	37
---	--------------------------------	----

II 地域福祉部

【地域福祉班・地域福祉権利擁護事業関係】

1	日常生活自立支援事業の実施	39
2	成年後見制度利用促進基本計画に基づく取組促進への協力	40
3	問題の深刻化の予防	42
4	事業開始時期	42
5	本事業にかかる一部業務委託	43
6	契約締結審査会の開催状況	48
7	専門員・生活支援員の研修実施状況	49
8	関係機関連絡会議の開催状況	50
9	広報・啓発実施状況	50

【生活資金班・生活福祉資金等貸付事業関係】

1	特例貸付借受世帯等に対する生活支援及び適正な債権管理	56
2	生活福祉資金等貸付事業の効果的な運営（適正な貸付け・債権管理）	57

3	臨時特例つなぎ資金貸付制度の運用	61
【生活資金班・福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業関係】		
1	福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の広報啓発及び適正な貸付の実施	62
2	福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の適正な債権管理の実施	66
3	運営委員会の開催	67
4	その他	68
【ボランティア振興班・ボランティアセンター事業・災害ボランティアセンター事業関係】		
1	広域におけるボランティア活動支援機能の強化	85
2	大規模災害に備えた県災害VCの機能・体制を強化	89
【健康生きがい班・和歌山県いきいき長寿社会センター事業関係】		
1	地域活動を行うシニアリーダー養成	94
2	高齢者の生きがいづくり・健康増進	97
3	社会参加（ボランティア、NPO活動等）を希望する高齢者と企業や団体、学校等を結びつける取組を推進	100
4	その他	100

Ⅲ 福祉人材研修部

【福祉人材センター事業関係】

1	福祉人材の確保・定着支援、福祉の魅力発信	101
2	福祉人材の育成と定着の促進	114
3	社会福祉事業従事者を育成するため、階層別・課題別・資格取得支援研修の充実、強化	115
4	介護支援専門員実務研修受講試験の実施	120
5	その他	120

【福祉介護サービス評価センター】

1	受審事業所数の拡大と評価の質の向上	122
---	-------------------	-----

Ⅳ 和歌山県福祉サービス運営適正化委員会

【和歌山県福祉サービス運営適正化委員会関係】

1	和歌山県福祉サービス運営適正化委員会の組織・委員等	125
2	福祉サービス運営適正化委員会（全体会議）の開催	126
3	福祉サービスに関する苦情への対応	126
4	苦情解決システムの機能強化	129
5	苦情解決取組状況調査の実施	130
6	福祉サービス利用援助事業の運営監視	130
7	福祉サービス運営適正化委員会全般にかかる事業の実施	131

1 概況報告

令和4年度は、「ともに生きる地域社会（わかやま）の実現をめざして～ふだんのくらしのしあわせをみんなの力でつくります～」を基本理念とする第6次和歌山県社会福祉協議会活動計画の5か年計画の初年度として、新たに6つの重点目標を掲げ、それぞれの事業に取り組みました。

《6つの重点目標》							総務企画部	地域福祉部	福祉人材研修部	運営適正化委員会				
具 体 的 事 業	1 社会的孤立への対応													
	2 市町村社協とともに地域福祉の基盤づくり													
	3 相談支援・生活支援と権利擁護の充実													
	4 多様な主体や社会資源がつながる地域づくりの支援													
	5 地域福祉を支える組織や専門職の確保・養成													
	6 自然災害への対応													
	○	○	○	○	○	○	○							
	○	○	○					○						
	○	○	○					○						
	○	○	○	○		○	○							
	○	○		○	○	○		○						
	○			○				○						
	○	○	○	○	○	○	○							
	○		○	○	○	○	○	○						
				○					○					
○		○		○				○						
				○			○							
		○		○					○					
						①市町村社協活動支援事業	○							
						②生活福祉資金等貸付事業		○						
						③日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護・成年後見支援)		○						
						④民生委員・児童委員協議会活動との連携・協働	○							
						⑤ボランティアセンター事業		○						
						⑥災害ボランティアセンター事業		○						
						⑦いきいき長寿社会センター事業		○						
						⑧制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト	○							
						⑨社会福祉施設・団体との連携強化及び支援事業	○							
						⑩福祉人材センター事業			○					
						⑪福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業		○						
						⑫福祉介護サービス評価センター事業			○					
						⑬民間社会福祉事業従事者共済事業・福利厚生センター受託事業	○							
						⑭福祉サービス運営適正化委員会事業				○				

「6つの重点目標」に基づく取組の特徴は次のとおりでした。その後に、14の具体的事業の実施状況及び「事項別報告」で事業取組の詳細を各部署別に記載しています。

- 「社会的孤立への対応」では、新型コロナウイルス感染症にかかる生活福祉資金特例貸付に関する相談支援から見えてきた生活課題への対応等について、社会福祉協議会役職員研修会等で県内実践事例の共有・普及に取り組みました。
- 「市町村社協とともに地域福祉の基盤づくり」では、地域において「個別（相談）支援」「地域づくり支援」を担う人材の育成及び資質向上を目的に、「地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会」を開催しました。
- 「相談支援・生活支援と権利擁護の充実」では、成年後見制度の利用を促進するため、専門的な助言を必要とする市町村及び市町村社会福祉協議会に対し、アドバイザーを派遣しました。
- 「多様な主体や社会資源がつながる地域づくりの支援」では、(株)オークワ、(株)セブン・イレブン・ジャパンとの協定により寄贈いただいた食品や雑貨等を、市町村社会福祉協議会を通じて地域住民や社会福祉施設等へ配分しました。
- 「地域福祉を支える組織や専門職の確保・養成」では、介護職の魅力を紹介する冊子の作成や中学校・高校等への出前講座の開催等、関係機関との連携に取り組みました。
- 「自然災害への対応」では、災害ボランティアセンターの設置・運営の知識や経験を有する人材を育成するため「中核スタッフ養成研修」を実施したほか、「広域・同時多発災害対応訓練」を紀中エリア・日高川町で実施しました。また、全国的に整備が進められている「災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム（DWA T）」の構築に向けて、県とともにその具体化に向けて協議を重ねました。

2 具体的事業の実施状況

(1) 市町村社協活動支援事業（総務企画部 企画班）

地域共生社会の実現に向けた具体的施策としての「重層的支援体制整備事業」の実施等、市町村の創意工夫のもと、地域住民の複雑化・多様化した支援ニーズに対応するための包括的な支援体制の構築が進められています。

こうしたなかで、地域において「個別（相談）支援」「地域づくり支援」を担う人材の育成及び資質向上を目的に、市町村社協・社会福祉施設・市町村（行政）職員等を対象とした「地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会」を3回シリーズで開催しました。

また、県市町村社協連絡協議会の実施する業務課題検討会において、地域の多様な関係機関との連携を強化しながら、社会福祉協議会の特性を活かした取組を実践していけるよう、階層別の会議（会長会議・事務局長会議）、研修（人材育成・広報力の強化）や各種課題検討に取り組みました。

また、国際的に進められている「SDGs：誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の理念も相まって、企画のCSR（社会貢献活動）に大きな期待が寄せられているなか、(株)オークワ、(株)セブン・イレブン-ジャパンとの協定により寄贈いただいた食品や雑貨等を、市町村社会福祉協議会を通じて地域住民や社会福祉施設等へ配分しました。特に、(株)オークワからいただいた精米は累計約3,900kgを超え、生活困窮者等の支援にも大きな力となっています。

今後は、コロナ禍で明らかになった生活困窮者等への支援、潜在的な地域生活課題への支援を一層進めるため、引き続き市町村社協が「連携・協働の場」としての役割を果たすべく、その活動を支援します。

(2) 生活福祉資金等貸付事業（地域福祉部 生活資金班）

生活福祉資金貸付事業は、社会福祉法第2条第2項第7号に規定されている生計困難者に対して無利子又は低利で資金を融通する事業です。

本年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症にかかる特例貸付に追われた1年でした。この特例貸付は令和2年3月25日から申請受付を開始し、当初は令和2年7月末までの受付期間でしたが、受付期間の延長が繰り返され、令和4年9月末で受付を終了となりました。

特例貸付の決定状況は32,043件（13,006,989,500円）です。

新型コロナウイルス感染症にかかる特例貸付の決定状況（令和2年3月25日～令和5年3月31日）

	緊急小口資金	総合支援資金	合計
件数	11,150件	20,893件	32,043件
R1年度	19件	3件	22件
R2年度	7,029件	11,385件	18,414件
R3年度	3,304件	8,733件	12,037件
R4年度	798件	772件	1,570件
金額	2,021,961,000円	10,985,028,500円	13,006,989,500円
R1年度	2,550,000円	1,650,000円	4,200,000円
R2年度	1,259,599,000円	5,958,676,500円	7,218,275,500円
R3年度	607,742,000円	4,615,062,000円	5,222,804,000円

R4 年度	152,070,000 円	409,640,000 円	561,710,000 円
-------	---------------	---------------	---------------

※総合支援資金の件数・金額は延長貸付を含む

本年度の新規貸付は 1,653 件（615,460,301 円）で、内訳は通常貸付 83 件（53,750,301 円）、特例貸付 1,570 件（561,710,000 円）と大半が特例貸付でした。

また、特例貸付については、借受人及び世帯主の住民税非課税等により償還免除できることとされており、本年度は 10,012 件（3,531,265,580 円）の償還免除を行いました。

なお、年度末の貸付中件数は 22,635 件（貸付中債権額約 99 億 4 千万円）で、内訳は通常貸付 936 件（約 6 億 4 千万円）、特例貸付 21,699 件（約 93 億円）になりました。

「償還履行者率（本会独自指標）」について、通常貸付の年度平均値は、59.3%（集計開始時・平成 19 年度末は 31.7%）、特例貸付の償還開始以降の平均値（令和 5 年 1 月から 3 月）は、53.9%でした。

今後は、特例貸付の債権管理と、借受人等への必要な相談支援を実施していくことが課題です。

（3）日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護・成年後見支援）（地域福祉部 地域福祉班）

日常生活自立支援事業の中核である福祉サービス利用援助事業は、判断能力が不十分な高齢者、知的障がい、精神障がいのある方などに対して福祉サービスの利用援助や日常生活上の手続きに関する援助等、福祉サービスの利用のための一連の援助を一体的に行うことにより、地域において自立した生活を送れるように支援する事業で、県内全市町村社会福祉協議会（以下、「社協」という）に委託して実施しました。また、事業従事者の資質向上や事業の普及啓発等に取り組みました。

本年度の新規契約者数は 111 件、事業開始からの累計は 2,245 件、本年度末の実利用者は 708 名で、利用者数は年々増加しており、近年、障がい（知的、精神）のある方の利用割合が増加傾向にあります。

今後も、現状に即した事業の推進や事業実施の市町村社協のバックアップ、財源の確保が課題です。

次に、成年後見制度の利用促進に向けた取組では、国が策定した「第二期成年後見制度利用促進基本計画」において、都道府県の機能強化として、市町村支援の強化を図ることが掲げられています。これを受け、県とともに市町村の体制整備（中核機関の設置等）を促進するため、自治体及び社協職員を対象とした県内各圏域での意見交換会を県と共催のうえ実施し、制度の利用促進の必要性について働きかけました。地域ごとに進捗状況等が違うことから、それぞれの実情に応じた支援が課題です。

また、成年後見制度利用促進に関する専門的な助言を必要とする市町村及び市町村社会福祉協議会に対し、アドバイザーの調整を行い、7 市町へのアドバイザーの派遣を行いました。

見守り支援活動では、見守りから発見した生活課題を具体的な支援に結び付けるため、課題を共有し、さらに、福祉サービス利用援助事業に付随する支援として、市町村社協の相談支援機能を強化するため、預かり書類の返却が困難なケースへの対応について、その対応策の検討に着手しました。今後も、住民の見守りによる“ちょっとした”気づきを取りこぼさず、生活課題が深刻になる前に支援できる体制構築に取り組み、切れ目のない権利擁護体制を目指します。

（4）民生委員・児童委員協議会活動との連携・協働（総務企画部 企画班）

少子高齢化や人口減少・過疎化の進行、地域社会や家庭構造の著しい変化により、地域住民の生

活課題が複合化・複雑化しており、民生委員・児童委員に求められる役割は広がっています。

令和4年度は、3年に1度の民生委員・児童委員の一斉改選が行われた年であり、本会では、広報紙やホームページを通じて民生委員・児童委員の活動（相談支援・生活支援等）の周知を図るとともに、県民生委員児童委員協議会が実施する新任民生委員研修会で社協関連事業の説明を行う等、その活動支援に取り組みました。今後も、民生委員活動の情報収集・把握、広報啓発を行い、その「なり手」が広がるように、情報発信に取り組みます。

（５）ボランティアセンター事業（地域福祉部 ボランティア振興班）

新型コロナウイルス感染症の影響によりボランティア活動に制限がかかり活動が停滞する状況も依然見受けられますが、徐々に活動再開の兆しが見えてきた状況です。そのような中で、SNSを活用した動画配信や冊子作成による活動PRなどボランティア活動の魅力や価値を共有し、市町村社協ボランティア・市民活動センター並びにボランティア団体と連携しながら、体験機会と情報の収集・提供に取り組みました。

社会福祉のためにと寄せられた善意の金員や関心を実際の活動へとつなげることを目的としたボランティア活動交流普及事業では、3団体に助成を行いました。

また、ボランティアコーディネーション能力向上研修を、災害ボランティアセンター事業に組み入れ、ボランティアの力を地域共生社会に実装するために必要な知識やスタンスを共有しました。さらに、全国福祉教育推進員研修への受講を促進し、市町村社協における福祉教育実践の情報共有及び支援を図りました。

今後、多くの方がボランティアに興味を持ち、あらゆる世代が多様なボランティア・市民活動に参加・交流ができるようプログラムの提案・実践を行い、広域的なボランティア活動の振興を図ります。

（６）災害ボランティアセンター事業（地域福祉部 ボランティア振興班）

県災害ボランティアセンターでは、これまでの災害から得られた経験や教訓を踏まえた考察・検証を継続し、県域において必要な機能の見直しと体制づくりを図るため、様々な主体と連携し、「防災とボランティア」に関する研修や訓練等に取り組みました。

災害ボランティアセンターの設置・運営の知識や経験を有する人材を育成するため「中核スタッフ養成研修」を実施し、75名の参加を得ました。また、広域被災を想定し、県内支援者が合同実践する場として「広域・同時多発災害対応訓練」を紀中エリア・日高川町で実施し、145名の参加を得ました。

また、県内各地で実施される災害ボランティア活動支援にかかる学習会等に参画し、講義や演習を通じ、災害現場で求められる知識や行動、支援活動等への理解の促進に取り組むとともに、ボランティア及びボランティアセンターの課題と取組事例の発信に努めました。

さらに、年間を通じて、災害ボランティア活動資機材の配備を進めたほか、和歌山大学において学生災害ボランティアセンターの運営を支援しました。

発生の切迫性が高まる南海トラフ巨大地震等に備え、災害ボランティアセンターの機能強化、ボランティア・関係機関の力や知恵の結集に向けた協働体制の整備など、平時において「県内支援者」の育成とネットワークづくりに継続して取り組み、災害時にも支え合える関係構築を促進します。

（７）いきいき長寿社会センター事業（地域福祉部 健康生きがい班）

人生を前向きに考え、地域活動や趣味活動などに参加している人は、健康で長生きすると言われていますが、その「健康長寿」に寄与するため、シニアのスポーツや文化活動、社会や地域に貢献する活動などを支援し、シニアが生きがいを持ち豊かな経験を活かして積極的に社会に参加することを目指し、各事業を進めてまいりました。

地域の日常的な支え合い活動を担うための人材養成を目的とした、いきいきシニアリーダーカレッジ（和歌山校、橋本校、田辺校）「シニアの住みよいまちづくり実践学科」を開講しました。各カレッジにおけるカリキュラムは、それぞれの地域のニーズにあった人材を養成するために各校と協議し、設定しました。

また、カレッジの受講者や修了者による活動を進めるため、アドバイザーの派遣等を行う「仲間づくり支援事業」に取り組み、地域活動の指導者等として活動していただきました。

次に和歌山県から委託を受け運営している「わかやま元気シニア生きがいバンク事業」については、新たな活動分野を開拓するとともに、ホームページを充実させバンク登録者の公開や、Web上での登録や活用がスムーズに行えるよう改良を行い、幅広く利用していただけるよう広報を行いました。

次に、高齢者の生きがいと健康づくりを推進する事業としては、「紀の国いきいき健康長寿祭」の名称で、スポーツ交流大会及び文化交流大会を開催しました。

スポーツ交流大会は、卓球、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、パークゴルフの4種目を開催し、延べ828名の参加を得ました。

このほか、文化交流大会では、囲碁・将棋大会、健康マージャン大会、シルバー美術展を開催しました。

なお、紀の国いきいき健康長寿祭は、全国健康福祉祭（ねんりんピック）に出場する県代表選手（作品）の選考会を兼ねています。

第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会（ねんりんピックかながわ2022）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により3年ぶりに開催され、24種目、監督・選手147名を派遣しました。

また、高齢者の生きがいとふれあい交流を目的とした「ふれあい作品展」を開催し、県内の老人福祉施設及び介護保険施設等の利用者が制作した手芸、工芸などの作品を展示しました。

今後、一層高齢化が進展するなかで、「健康な高齢者」を増やすために、いきいきシニアリーダーカレッジについては、参加者を増やすため今以上に魅力的なカリキュラムづくりに取り組むとともに、県内全域でスポーツ・文化交流大会を開催し、高齢者ニーズの高いニュースポーツを取り入れ、内容を充実してまいります。

（8）制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト

（総務企画部 企画班）

社会福祉法人制度改革により「地域における公益的な取組」が責務化され、さらには国が推進する「地域共生社会」の実現に向けて社会福祉法人がその一翼を担うことが求められている現状を踏まえ、平成29年度から本プロジェクト推進委員会を県社協に設置。制度の狭間にある様々な課題に対し、社会福祉法人（社会福祉施設）の力を結集した取組を推進しています。

令和4年度末時点の参画法人は43法人で、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って集合型の委員会活動や地域に出向いての活動が実施しづらい状況の中、下記のモデル（助成）事業や意識醸成・啓発活動等に取り組みました。

モデル（助成）事業	6法人：助成総額1,780,000円 （紀三福祉会、寿敬会、千翔会、やつなみ、一麦会、中庸会）
-----------	--

小委員会活動	新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み活動見合わせ
意識醸成・広報啓発 (活動の見える化)	ふくしフォトコンテスト2022の開催 地域福祉推進フォーラムでの取組報告(愛徳園)
幹事会・総会開催	幹事会(2回)、総会(1回) ※書面開催

特に、県経営協、県経営協青年会との連携で初めて取り組んだ「ふくしフォトコンテスト2022」は、「福祉」「地域福祉」の県民への啓発と、「福祉職場の素晴らしさ」、「福祉のイメージUP」を目的に実施し、計89作品の応募がありました。本コンテストは令和5年度も引き続き実施することとし、本プロジェクトを通じて「地域を支える社会福祉法人」の活動強化を図ります。

(9) 社会福祉施設・団体との連携強化及び支援事業(総務企画部 企画班)

社会福祉事業の主たる担い手である社会福祉施設や、関係団体の活動支援のため、各種事業に取り組みました。事務局業務の受任では、県社会福祉法人経営者協議会、県保育連合会、県児童館連絡協議会、県訪問介護事業所協議会の業務を受任し、研修会等を開催すること等によりその活動支援に取り組みました。

新たな課題への対応として、全国的に整備が進められている「災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム(DWAT)」の構築に向けて、県が主催で開催した検討会(計2回)に参画し、県とともにその具体化に向けて協議を重ねました。

同ネットワークの構築は、令和5年度より県と本会に共同事務局を設置し、県から補助を受け、具体的なDWATチームづくりをすすめる予定です。

(10) 福祉人材センター事業(福祉人材研修部 人材班・研修班)

社会福祉法第93条に基づく県指定の「福祉人材センター」として、慢性的に不足している福祉現場における人材確保事業と社会福祉施設従事者の育成と定着を支援するための研修事業を実施しました。

人材確保については、中学生・高校生やその保護者、教員等を対象とした介護職の魅力を紹介する冊子の作成、中学校・高校や初任者研修実施先への出前講座の開催等、関係機関との連携に取り組むとともに、無料職業紹介事業を中心に、就職フェアや職場体験、出張相談等のきめ細かなマッチング支援に引き続き取り組みました。

これらの事業を通じて令和4年度は、111人(無料職業紹介70人、就職フェア29人、職場体験11人、その他1人)が新たに就職に結びついています。

また、多様な人材の参入促進として、介護職の外国人材拡大について、相談会及び研修会を開催し、受入事業所の支援に取り組みました。

研修事業としては、最新の専門知識や技術を習得できる研修会を開催し、現場の職員一人ひとりが福祉介護のプロとして自信を持って働けるよう支援するため、階層別・課題別・資格取得を目的とした31研修を計画し、内29研修(29回、32日間)を実施した結果、受講者数は延べ617名でした。なお、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、2研修を中止いたしました。また、コロナ禍に対応した福祉事業所の人材育成支援として、29研修中3研修をオンラインで、2研修を対面型とオンライン型の併用開催にて実施しました。

併せて、社会福祉事業従事者が求める研修ニーズ把握のため、県内各施設にアンケート調査を行うとともに、県の指定機関として、介護支援専門員実務研修受講試験を実施しました。

今後、少子高齢化が進行する中、福祉・介護サービスを提供する人材の確保や定着、質の向上が喫緊の課題であるとともに、受講者にとってより参加しやすく学びやすい研修方法(オンデマンド

配信等)を提供し、福祉職場で働く人材の育成支援などに総合的に取り組んでいく必要があります。

(11) 福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業（地域福祉部 生活資金班）

福祉人材確保及び自立支援のための「返還免除付き貸付」の状況は、次のようになりました。

	人材確保		自立支援	
	介護福祉士等	保育士	ひとり親家庭	児童養護施設退所者
貸付件数累計	1,228 件	580 件	116 件	56 件
貸付額累計	521,601,077 円	773,342,282 円	41,893,896 円	42,973,700 円
償還免除件数累計 (当然免除・裁量免除)	156 件	35 件	2 件	12 件
償還免除額累計 (当然免除・裁量免除)	28,693,611 円	46,413,268 円	255,080 円	2,907,120 円

貸付は平成 28 年度開始当初は令和元年度までの予定でしたが、さらに原資が追加され、貸付中(債権管理) 件数の増加とともに、債権管理事務の増大が課題です。

(12) 福祉介護サービス評価センター（福祉介護サービス評価センター）

福祉サービスを提供する事業者のサービスの質について、社会福祉法 78 条「福祉サービスの質の向上のための措置等」に基づき、公正・中立な第三者機関が専門的・客観的な立場から評価を行う仕組みが福祉サービス第三者評価・外部評価です。

福祉サービス第三者評価事業については、県福祉サービス第三者評価事業推進組織より平成 18 年から評価機関の認証を受けるとともに、3 年毎の受審が義務付けられた社会的養護関係施設の第三者評価についても、全国社会福祉協議会より平成 24 年から評価機関としての認証を受け、それぞれ取り組んでいます。

本年度は、社会的養護関係施設 2 か所の第三者評価を実施するとともに、受審後の継続的な事業所支援にも努めました。

地域密着型サービス外部評価事業については、県より平成 18 年に評価機関としての選定を受け取り組んでおり、本年度は、25 事業所の外部評価を実施しました。

今後、受審申込が少ない福祉サービス関係施設に対し周知に努めていくとともに、調査員の高齢化等により人材不足が懸念されることから、調査員の養成を図っていきます。

(13) 民間社会福祉事業従事者共済事業・福利厚生センター等受託事業（総務企画部 総務経営班）

民間社会福祉事業従事者共済事業については、加入施設数 286 か所（1 か所減）、会員数 8,489 人（26 人減）となり、1,321 人の会員に対し退職金及び慶弔金給付を行いました。また、資産運用に関する基本方針に基づく運用を実施し、退職金充足率は 130.01%（前年度 132.71%）となりました。

福利厚生センター和歌山事務局では会員交流事業等を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、引き続きバスツアー等の会員交流事業を中止し、代替事業として全会員を対象とした配布事業等を実施しました。また、和歌山事務局独自の地域開発メニューとして、新たに 1 社と提携しました。

今後は、民間社会福祉事業従事者共済事業のより安定的な資産運用を目指して協議を重ねていきます。また、福利厚生センター事業では未加入法人への加入勧奨を継続するとともに、加入者が参

加、利用しやすい会員交流事業の充実に取り組みます。

(14) 福祉サービス運営適正化委員会事業（福祉サービス運営適正化委員会）

和歌山県福祉サービス運営適正化委員会は、社会福祉法第 83 条の規定に基づき、県社会福祉協議会に設置され、福祉サービス利用援助事業の適正な運営を確保するとともに、福祉サービスに関する利用者からの苦情を適切に解決することを目的とし、公正・中立に対応するため外部の有識者（委員）で構成され、県社会福祉協議会の他の活動から独立して運営されています。なお、苦情については、社会福祉法第 82 条に「社会福祉事業の経営者は、常に、その提供する福祉サービスについて、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければならない」と規定されています。

この委員会の委員（12 名）は、別に設置された選考委員会の同意を得て選任され、2つの合議体に分かれ事務を分担しています。

① 福祉サービス利用援助事業に関する合議体（運営監視合議体、委員 7 名）

福祉サービス利用援助事業の実施主体からの報告を受け、事業委託先から抽出した 7 市町社協について現地調査を行いました。現地調査では、預かり品の確認のため、金融機関に出向き貸金庫での保管状況についても確認しました。

② 福祉サービスの苦情解決に関する合議体（苦情解決合議体、委員 5 名）

苦情及び相談の受付件数は、113 件でした。

内、11 件は合議体に諮り審議し、対処しました。残る 102 件の相談については、事務局で対処するとともに合議体に報告しました。

苦情・相談の受付方法は電話が最も多く 94 件（83.1%）でした。申出人は利用者が最も多く 60 人（53.0%）でした。その利用者の内 48 人（80.0%）は障害者でした。

なお、合議体で諮った苦情は、事業開始時から通算して 655 件になりました。

この事業の周知を図るため広報活動（インターネット掲載、広報紙掲載、ポスター配布）に努めました。

社会福祉事業の経営者における適切な苦情解決への取組強化を促進するため、研修会の開催、出前講座実施、巡回訪問及び苦情解決取組状況調査を行いました。

3 業務の適正を確保するための体制の整備と運用状況

業務の適正を確保するための体制（社会福祉法第 45 条の 13 第 4 項第 5 号）として、全会全体で「内部管理体制の基本方針」（平成 30 年 5 月 28 日理事会議決）に基づき、内部管理体制を運用しました。

～事項別報告～

I 総務企画部

《総務企画部・総務経営班・法人運営事業関係》

1 法人運営及び関係機関・団体（会員）との連携強化

(1) 法人経営体制の充実と強化

① 理事会、評議員会の定期的な開催及び必要な情報提供

ア 理事会の開催（計5回）

期日	会場	議題
5月30日	ビッグ愛	① 令和3年度事業報告の承認 ② 令和3年度計算書類の承認 ③ 評議員の補欠選任候補者の推薦 ④ 令和4年度定時評議員会の開催 【報告事項】 ① 会長及び業務執行理事の職務執行状況
7月25日	— (決議の省略)	① 評議員の補欠選任候補者の推薦 ② 監事の補欠選任候補者の提案 ③ 臨時評議員会の開催
12月21日	ビッグ愛	① 会長の選定 ② 経理規程の一部改正 ③ 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正 ④ 評議員の補欠選任候補者の推薦 ⑤ 副会長の選定
2月10日	— (決議の省略)	① 評議員の補欠選任候補者の推薦 ② 理事の補欠選任候補者の提案 ③ 臨時評議員会の開催
3月27日	ビッグ愛	① 会長の選定 ② 副会長の選定 ③ 令和4年度補正予算の承認 ④ 令和5年度事業計画の承認 ⑤ 令和5年度予算の承認 ⑥ 会計監査人の報酬 ⑦ 役員等賠償責任保険契約 ⑧ 職員給与規則の一部改正 ⑨ 理事の補欠選任候補者の提案 ⑩ 臨時評議員会の開催 【報告事項】 ① 会長及び業務執行理事の職務執行状況

イ 定時評議員会の開催

期日	会場	議題
6月23日	ビッグ愛	① 令和3年度事業報告の承認 ② 令和3年度計算書類の承認

ウ 臨時評議員会の開催（計2回）

決議があったものとみなされた日	議題
8月22日	① 瀧口幹二氏を監事として選任
2月27日	① 岸本周平氏を理事として選任

エ 評議員選任・解任委員会の開催（計3回）

決議があったものとみなされた日	議題
6月7日	① 岡哲司氏を評議員として選任 ② 野見陽一郎氏を評議員として選任
8月12日	① 岩橋正悟氏を評議員として選任
2月27日	① 妻木茂氏を評議員として選任 ② 大越康臣氏を評議員として選任

オ 監事会の開催（計1回）

期日	会場	議題
5月20日	ビッグ愛	① 令和3年度事業概況報告、決算報告 ② 会計監査人による令和3年度会計監査結果報告 ③ 監事監査要領に基づく令和3年度事業、決算に関する監査

② 会計監査人による適切な会計監査の実施

7月6日に稲田旭彦公認会計士事務所 稲田旭彦氏と令和4年度にかかる監査契約を締結した。

(2) 会員制度の充実・強化

① 正会員・賛助会員の加入促進

ア 一般会費の納入依頼

会員規程により、新施設への加入依頼を含め、市町村社会福祉協議会、民生委員・児童委員、社会福祉事業経営者（法人単位）、社会福祉に関する活動を行う団体に会費の納入依頼を行った。

【会費納入依頼先数】

①市町村社協会費	30 市町村社協
②民生委員・児童委員会費	30 市町村民児協 2,697名
③社会福祉事業経営者会費	法人・施設及び市町村 320ヶ所
④社会福祉に関する活動を行う団体	29団体及び35郡市町村老人クラブ連合会

イ 賛助会員の募集

令和4年度賛助会員の募集を行い、企業、団体等より55口のご協力をいただいた。

(3) 全国・近畿ブロック社協及び行政機関、関係団体との連携強化

① 全国・近畿ブロック等会議への参加

会議名	期日		場所等	参加者
全国社会福祉協議会評議員会	第1回	6月20日	東京都	1名
	第2回	3月22日		
全国社会福祉団体職員 退職手当積立基金常任委員会	第1回	7月15日	オンライン	1名
	第2回	1月20日		
近畿ブロック府県社協 常務理事・事務局長会議	第1回	9月2日	大阪市	2名
全国社会福祉協議会福祉懇談会	10月11日		東京都	1名
福祉ビジョン21世紀セミナー	10月12日		東京都	1名
全国社会福祉団体職員 退職手当積立基金運営委員会	第1回	1月27日	東京都	1名

② 県内関係団体会議への参加

会議名	期日		場所	参加者
令和4年度介護給付費等審査会	4月26日、5月27日、 6月28日、7月28日、 8月29日、9月29日、 10月28日、11月29 日、12月26日、2月 27日、3月29日		和歌山市	1名
和歌山県障害者スポーツ協会理事会	5月11日		和歌山市	1名
和歌山県済生会理事会	第1回	5月19日	和歌山市	1名
	第2回	2月2日		
紀の国チャレンジド賞選考等委員会	7月13日		和歌山市	1名
白梅賞選考委員会 白梅賞受賞者表彰式	8月26日		和歌山市	1名
	10月5日			
市町村単位老人クラブリーダー研修会	紀南	11月28日	田辺市	1名
	紀北	11月30日	和歌山市	
和歌山県ナースセンター事業運営に関する懇話会	3月20日		和歌山市	1名
和歌山県精神保健福祉審議会	3月20日		和歌山市	1名
和歌山県長寿社会対策推進会議	3月29日		和歌山市	1名

(4) 共同募金会との連携

- ① 社会福祉法第119条に基づく意見の提出及び赤い羽根共同募金街頭募金等への協力
- ア 共同募金に関する意見書の提出
- イ 令和4年度「赤い羽根共同募金運動」街頭募金

期日	内容	本会参加者
10月7日	「赤い羽根共同募金運動」キックオフセレモニーへの協力	6名

10月12日	街頭募金への協力	1名
12月13日	「NHK 歳末たすけあい」街頭募金への協力	1名

ウ 自販機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置・普及協力

② 共同募金の周知及び理解促進

ア 広報誌による共同募金の普及啓発の促進

(5) 災害時の福祉救援活動への取組

- ① 近畿ブロック府県・指定都市社協災害時の相互支援に関する協定に基づく会議に出席し、情報交換を行った。

期日	内容	会場等
8月18日	・各府縣市社協による災害支援体制の状況 ・各府縣市社協からの協議題	オンライン

2 法人運営基盤の強化

(1) 公費の安定的確保

県への翌年度予算要求に際し、県から事業費対前年度比▲5%の方針が示されたため、事業の見直し及び事務の省力化等により、事業の実施に必要な予算を確保した。

(2) 自主財源の確保促進

① 収益事業の実施

区分	令和4年度収入金額
ア 飲料自動販売機の設置設営 和歌山県立医科大学	7,593,897円
イ 全国社会福祉協議会出版図書等の斡旋販売 社会福祉手帳の販売斡旋	53,052円

② 共同募金を中心とした民間財源の活用促進

赤い羽根共同募金の受配金により、下記の事業を実施した。(事業内容は別掲)

事業名称	配分額
広報誌「福祉わかやま」発行事業	2,600,000円
地域福祉推進フォーラム開催事業	230,000円

③ 基金等の運営

ア はまゆう基金

発足42年目を迎えた本基金、令和4年度は327,000円(4件)の寄附を得て、原資総額は277,481,185円となった。

a 原資内訳

種別	金額
県補助金	100,000,000円

寄附金	173,638,010 円
利息繰入金	3,843,175 円
合 計	277,481,185 円

b 活用事業

県ボランティア連絡協議会助成事業等に対し預金利子(89,286 円)を活用した。

c 令和4年度寄附者一覧

日 付	寄附者(敬称略)	金 額
5月27日	個人	300,000 円
7月25日	収集ボランティア	15,000 円
11月25日	収集ボランティア	6,000 円
2月13日	収集ボランティア	6,000 円
	合 計	327,000 円

イ 堤基金

a 原資内訳

種 別	金 額
寄附金	32,100,000 円
利息繰入金	36,401,739 円
合 計	68,501,739 円

b 活用事業

企画広報事業に対し預金利子(30,370 円)を活用した。

ウ いきいき事業基金

a 原資内訳

種 別	金 額
寄附金	100,530,000 円
合 計	100,530,000 円

b 活用事業

いきいき長寿社会センター事業に対し預金利子(48,410 円)を活用した。

エ 福祉基金

本会の緊急に必要な経費及び災害救援活動経費に充てるために積み立てを行っているもので、本年度末の積立額は55,707,403 円となった。

④ 寄附の受入れ

ア 一般寄附

日 付	寄附者(敬称略)	金 額
4月25日	東洋羽毛関西販売株式会社	300,000 円
5月4日	一般社団法人全国哥麿会	100,000 円
8月4日	那賀ライオンズクラブ	80,000 円
12月16日	福祉レクリエーション友の会	104,260 円
12月19日	(株)テレビ和歌山	151,000 円
	合 計	735,260 円

令和5年度の本会事業費に充当予定。

イ 指定預託金

一般財団法人近畿陸運協会及び株式会社キリックから、交通遺児のためにと350,000円の指定預託金を受け、公益財団法人和歌山県交通遺児を励ます会に助成した。

⑤ 寄附の受入れ（物品）

日付	寄附者（敬称略）	寄贈品	金額
9月6日	個人	未使用切手	89,400円

令和4年度の本会事業にて活用。

車いす及び寄附物品等については、ボランティアセンター事業等において掲載。

(3) 情報収集・情報提供機能の強化

第6次活動計画6つの重点目標（①社会的孤立への対応、②市町村社協とともに地域福祉の基盤づくり、③相談支援・生活支援と権利擁護の充実、④多様な主体や社会資源がつながる地域づくりの支援、⑤地域福祉を支える組織や専門職の確保・養成、⑥自然災害への対応）に関する取組を広報誌「福祉わかやま」及び本会ホームページ、SNSにて随時紹介した。

(4) 本会広報誌「福祉わかやま」の発行

発行日	毎月1日、年11回発行
体裁	A4版、8ページ、4色カラー刷り
発行部数	10,000部
配布先	市町村社協、民生委員児童委員、社会福祉施設・団体、行政関係機関、学校・教育関係機関、図書館、公民館、病院、その他

(5) ホームページによる情報提供（随時更新）

名称	URL
社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会	https://www.wakayamakenshakyo.or.jp
代表メールアドレス	washakyo@wakayamakenshakyo.or.jp

(6) 社会福祉関係助成事業の情報集約・提供・協力

関係機関の助成事業情報を集約し、ホームページや広報誌を用いて情報提供に努めるとともに、下記の推薦事務等を行った。

① 各種助成事業の情報提供・協力

ア 24時間テレビチャリティーキャンペーンへの協力

募集・選考に協力し、次のとおり県内の助成団体が決定された。

団体名	寄贈車種
社会福祉法人 印南町社会福祉協議会	訪問入浴車
社会福祉法人 田辺市社会福祉協議会	訪問入浴車

(7) 職員育成・資質向上に向けた取組強化

① 職員研修の実施・参加

ア 内部研修

研修名	期日	会場	参加
新任職員研修	4/8	県社協内	4名
第6次県社協活動計画	8/4	県社協内	49名
人権同和研修	1/11、1/12	県社協内	42名

イ 全社協及び県社協研修センターをはじめとする関係外部機関等の研修への参加

研修名	期日	会場	参加
コミュニケーションスキル向上研修	4/26	ビッグ愛	2名
ファシリテーション研修	6/2	ビッグ愛	4名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 課程【初任者研修】	7/27、7/28	ビッグ愛	1名
社会福祉法人経営実務検定試験 入門対策講座	8/3	ビッグ愛	2名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 課程【中堅職員】	10/25、10/26	ビッグ愛	2名
社会福祉援助技術の基礎研修	11/11	ビッグ愛	1名
リスクマネジメント研修	2/14	ビッグ愛	1名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 課程【チームリーダー】	3/1、3/2	ビッグ愛	1名

(8) 人事・労務管理の強化

① 事業の進行管理（目標管理）の遂行

県社協の事業が計画どおり進行するよう管理体制の確立を図るとともに、組織及び個人の目標を明確化することにより、職員一人ひとりの業務に対する意欲の向上、能力の開発を図り、人材の育成強化、組織の活性化・成果の向上に資することを目的として「目標管理制度」による目標管理を実施した。

② 1DAYインターンシップの実施（計2回）

福祉業界を取り巻く状況や福祉の魅力に対する理解を深めていただくとともに、インターンシップを通して社会福祉協議会の事業に興味をもっていただくことで、本会の職員採用試験受験者の増加に繋げることを目的に開催した。

実施日	参加者数	内容
2月17日	8名	【オリエンテーション・アイスブレイク】 【説明】県社協の概要
3月8日	4名	【ワーク①】身近な困りごとからフクシを考える 【ワーク②】模擬広報ワーキング会議 【まとめのワーク】1日の振り返り

(9) その他

第6次県社協活動計画の基本理念等の実現に向けて、県社協の「情報発信・広報力の強化」を目指し、月刊広報誌「福祉わかやま」及びホームページの内容充実をはじめ、福祉情報の収集・提供、本会事業のPR、地域福祉推進フォーラムの内容検討等、セクションの枠を超えた協議を柔軟に行うために、県社協企画広報ワーキングチームを設置した。

県社協企画広報ワーキングチーム

構成人数	開催回数	主な内容
11名	12回	①広報誌「福祉わかやま」の企画編集 ②ホームページの企画・効果的運用 ③人権フェスタへの参画 ④その他、福祉情報の収集・提供

《総務企画部・総務経営班・社会福祉事業従事者福利厚生事業及び表彰事業関係》

1 社会福祉事業従事者の福利厚生事業等への取組

(1) 県民間社会福祉事業従事者共済の運営

① 給付事業、貸付事業、福利厚生事業の実施

ア 加入状況（令和5年3月31日現在）

施設・団体数 286 か所、会員 8,489 名

イ 給付事業

種別	人員	給付額
退職手当給付金	937 人	817,190,164 円
結婚祝金	107 人	2,140,000 円
出産祝金	188 人	3,760,000 円
傷病見舞金	86 人	2,700,000 円
災害見舞金	0 人	0 円
死亡弔慰金	3 人	300,000 円
合計	1,321 人	826,090,164 円

ウ 貸付事業

種別	人員	貸付額
生活資金	1 人	450,000 円
住宅資金	0 人	0 円
合計	1 人	450,000 円

エ 福利厚生事業

家庭常備薬の斡旋

- ・ 6月実施：195 事業所、1,735 人が利用
- ・ 10月実施：190 事業所、1,551 人が利用
- ・ 2月実施：202 事業所、1,750 人が利用

② 運用基本方針に基づいた資産運用の実施

ア 「民間社会福祉事業従事者共済運営委員会」の開催

期日	名称	場所	議事
3月10日	第1回 運営委員会	プラザホ ープ	<ul style="list-style-type: none"> ・「資産の運用ガイドライン」の一部改正について ・資産運用外部委託の追加抛出について ・令和4年度補正予算（案）について ・令和5年度事業計画（案）について ・令和5年度予算（案）について ・民間共済資金借入申込みについて

イ 資産運用に関する基本方針に基づいた運用

基本方針に基づき、外部委託による資産運用の実施。

【外部委託資産運用状況（令和5年3月31日現在）】

金融機関名	信託元本	時価総額	時間加重収益率
三菱UFJ信託銀行	4,612,667,923 円	5,416,401,451 円	△0.56%
りそな銀行	4,318,903,779 円	4,812,281,185 円	△0.86%
みずほ信託銀行	1,940,614,383 円	2,293,440,588 円	△0.02%
計	10,872,186,085 円	12,522,123,224 円	

③ 退職金充足率

130.01%（令和5年3月31日現在の要支給額に基づく）

- ④ 加入施設・事業所及び会員への情報公開
加入施設・事業所及び会員に対して文書にて報告を行った。

期 日	報告内容
6月7日	令和4年3月末現在の共済の現状
11月14日	令和4年9月末現在の資産運用状況

- ⑤ 共済制度の加入促進
新規加入施設・事業所 1か所

- ⑥ 全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会及び他の共済実施団体との連携

会議名	期 日	場 所
令和4年度 全国民間社会福祉従事者共済 連絡協議会 全国会議	11月15日～11月16日	香川県
令和4年度 東海・近畿ブロック会議	2月14日	オンライン

(2) 独立行政法人福祉医療機構「社会福祉施設職員等退職手当共済制度」の事務受託

- ① 受託事務の遂行
共済契約法人・団体数 165 法人・団体 (令和5年3月31日現在)

- ② その他
会議への参加

会議名	期 日	備 考
令和4年度社会福祉施設職員等退職手当共済 事業事務連絡会	2月27日	オンライン

(3) 福利厚生センターの地方事務局の受託

- ① 受託事務の遂行及び会員交流事業の企画・実施
ア 加入状況 (令和5年3月31日現在)
加入法人・団体：52 法人・団体 (会員数：2,023 名)
イ 会員交流事業の企画・実施

期 日	事業名	参加人数
4月1日～2月28日	ナガシマスパーランド及び 湯あみの島割引券	会員・家族 67名
6月1日～12月31日	海遊館入館割引券	会員・家族 31名
7月1日～10月31日	ラフォーレ倶楽部宿泊プラン 白浜マリOTTホテル・琵琶湖マ リOTTホテル	会員・家族 101名
12月	お取り寄せグルメ	会員 320名
1月5日～3月31日	ランチクーポン	会員・家族 450名
令和5年4月13日～16日	USJスタジオ・パス割引キャン ペーン	会員・家族 143名

- ② 県内独自サービスの開拓
和歌山事務局独自の地域開発メニューとして、新たに1社と提携し、利用できるメ

ニューは宿泊割引等15メニューとなった。

(4) 社会福祉関係功労者の顕彰

① 県社会福祉功労者表彰式の開催

ア 期 日 10月3日

イ 場 所 和歌山県民文化会館（和歌山市）

ウ 参加者 約150名

エ 内 容 ・和歌山県知事感謝 27名1団体
民生委員・児童委員功労者 19名
社会福祉事業従事功労者 7名
福祉ボランティア功労者 1名1団体
・和歌山県社会福祉協議会会長表彰 64名5団体
民生委員・児童委員功労者 27名
社会福祉施設役員、職員功労者 22名
社会福祉関係団体役員、職員功労者 5名
社会福祉協議会役員、職員功労者 4名
ボランティア功労者 1名3団体
永年勤続功労者 5名
優良社会福祉協議会 2社協

② 県社協会長表彰、感謝の授賞

ア 県社協会長表彰

10月3日に和歌山市で開催された令和4年度和歌山県社会福祉功労者表彰式において、社会福祉関係者の功労をたたえ、本会会長表彰を行った。

（被表彰者数は、前掲①県社会福祉功労者表彰式の開催のエ内容に記載）

イ 県社協会長表彰及び全社協会長表彰候補者推薦審査会の開催

期 日	場 所
7月12日	和歌山県庁北別館

③ 各種表彰等への推薦

ア 全社協会長表彰候補者の推薦

全国社会福祉協議会会長表彰の推薦を行い、下記のとおり計24名が受賞された。

区 分	受賞者数
民生委員・児童委員功労者	5名
社会福祉法人・福祉施設功労者	2名
社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労者	3名
永年勤続功労者	14名

《総務企画部・企画班・市町村社協活動支援事業関係》

1 市町村社会福祉協議会の活動支援、地域福祉の推進

地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築を視野に入れ、人材の育成・資質向上を促進するとともに、各地域における事業展開を支援した。

(1) 包括的な相談支援に取り組める人材の育成・資質の向上

① 地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会

回	期日・参加者・場所	内容概要						
1	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和4年7月15日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>和歌山ビッグ愛 1階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>13社協20名 施設11名、市町村9名 (計40名)</td> </tr> </table>	期日	令和4年7月15日	場所	和歌山ビッグ愛 1階	参加者	13社協20名 施設11名、市町村9名 (計40名)	【講義編】 (1)行政説明「地域共生社会の実現に向けて」 県福祉保健総務課社会福祉・援護班 主任 三田 和弘 氏 (2)講義①「地域生活課題の捉え方」 講義②「地域共生社会とは何か」 講義③「ソーシャルワークの基礎」 講師：摂南大学 講師 上野山 裕士 氏
期日	令和4年7月15日							
場所	和歌山ビッグ愛 1階							
参加者	13社協20名 施設11名、市町村9名 (計40名)							
2	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和4年8月18日</td> </tr> <tr> <td>開催方法</td> <td>オンライン</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>14社協18名、 施設13名、 市町村9名 (計40名)</td> </tr> </table>	期日	令和4年8月18日	開催方法	オンライン	参加者	14社協18名、 施設13名、 市町村9名 (計40名)	【演習編】 (1)事例報告「社会福祉協議会×地域生活課題」 すさみ町社会福祉協議会 事務局長 地本 達行 氏 (2)事例報告「相談支援事業所×地域生活課題」 社会福祉法人一麦会麦の郷 紀の川生活支援センター 相談支援専門員 兵頭 宏美 氏 助言者：摂南大学 講師 上野山 裕士 氏
期日	令和4年8月18日							
開催方法	オンライン							
参加者	14社協18名、 施設13名、 市町村9名 (計40名)							
3	<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和4年9月29日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>和歌山ビッグ愛 1階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>11社協17名、 施設11名、市町村7名 (計35名)</td> </tr> </table>	期日	令和4年9月29日	場所	和歌山ビッグ愛 1階	参加者	11社協17名、 施設11名、市町村7名 (計35名)	【実践編】 演習 地域生活課題の解決に向けた、アクションプラン作成 プレゼン：参加者(事前学習によるアクションプラン) 助言者：摂南大学 講師 上野山 裕士 氏
期日	令和4年9月29日							
場所	和歌山ビッグ愛 1階							
参加者	11社協17名、 施設11名、市町村7名 (計35名)							

② 市町村社会福祉協議会中堅職員研修会

期日・参加者・場所	内容概要						
<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>令和5年1月24日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>和歌山ビッグ愛1階</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>7社協14名</td> </tr> </table>	期日	令和5年1月24日	場所	和歌山ビッグ愛1階	参加者	7社協14名	(1)講義①情勢認識、中堅職員への期待 社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会 総務企画部 (2)講義②中堅職員に求められる役割 社会福祉法人由良町社会福祉協議会 事務局長 東 亜矢 氏 (3)グループワーク①モヤモヤをさぐれ！ (4)グループワーク②明日から私は、〇〇になる！ (5)おわりに～仲間にエールを！～
期日	令和5年1月24日						
場所	和歌山ビッグ愛1階						
参加者	7社協14名						

③ 包括的支援体制に係る市町村ヒアリングへの同行（和歌山県福祉保健総務課実施）

期日	ヒアリング先
6月22日	みなべ町、印南町、美浜町
6月24日	有田川町、海南市
6月27日	御坊市、由良町
6月30日	紀の川市、かつらぎ町、九度山町
7月4日	すさみ町、串本町
7月5日	那智勝浦町
7月7日	橋本市、高野町

(2) 地域福祉推進の中核を担う市町村社協活動の強化促進

① 市町村社協巡回訪問等による個別支援

期日	支援社協	内容
4月11日	有田地方社協	有田地方社協連絡協議会職員研修（講師派遣）
5月10日	有田地方社協	有田地方社協連絡協議会総務・社協事業推進部会 合同研修会
10月14日	新宮市社協	第3次新宮市地域福祉活動計画推進委員会
10月21日	白浜町社協	第4期白浜町地域福祉推進計画作成委員会
1月31日	新宮市社協	第3次新宮市地域福祉活動計画推進委員会
2月24日	白浜町社協	第4期白浜町地域福祉推進計画作成委員会

② 和歌山県市町村社協連絡協議会活動の支援

ア 市町村社会福祉協議会会長会議

期日・参加者・場所	内容概要
期日 令和4年12月23日 場所 和歌山ビッグ愛 12階 参加者 24社協、 会長・事務局長等48名	(1) 令和4年度県社協会長表彰「優良社協」の取組報告 1) 有田市社会福祉協議会 2) かつらぎ町社会福祉協議会 (2) 県社協会長感謝状贈呈式 受賞者：株式会社オークワ 「和歌山県における地域福祉活動の推進に係る連携・協力に関する協定」に基づく精米寄贈
※午後の部（第2部）として「和歌山県地域福祉推進フォーラム」を開催（別記）。	

イ 市町村地域福祉主管課長・市町村社会福祉協議会事務局長会議

期日・参加者・場所	内容概要
期日 令和4年11月24日 場所 和歌山ビッグ愛 1階 参加者 22社協、34名 行政36名（計70名）	(1) 行政説明 福祉保健総務課 1) 包括的な支援体制について ―市町村社協ヒアリングを踏まえて― 2) 重層的支援体制整備事業に係る交付金について (2) 県社協説明 総務企画部企画班 地域共生社会の実現に向けた社協事業の展開 (3) 事例紹介 県内における地域福祉の取組事例紹介 1) たなべあんしんネットワーク活動について～地域共生社会の実現に向けて～（田辺市社会福祉協議会） 2) 生活困窮者支援プロジェクト会議について （白浜町 民生課福祉係） (4) 厚生労働省全国キャラバン 重層的支援体制整備事業の取組事例について 厚生労働省 社会・援護局地域福祉課地域共生社会推進室

ウ 業務課題検討会

a 地域共生社会に向けた取組の具体化（取組の「見える化」等）

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期 日	令和4年7月12日
	開催方法	オンライン
	参加者	17市町社協、23名
2	期 日	令和4年8月23日
	開催方法	オンライン
	参加者	17市町社協、27名
3	期 日	令和4年12月15日
	場 所	プラザホープ 3階
	参加者	9市町社協、10名
		(1)趣旨説明・昨年度検討会のリフレクション (2)検討テーマの確認 (3)次回開催について
		(1)広報棚卸シートの共有 (2)具体的な「見える化」の取組を企画する (3)次回開催について
		(1)広報のチカラを付ける研修会の振り返り (2)今後の取組について

b 人材確保、人材育成

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期 日	令和4年8月1日
	開催方法	オンライン
	参加者	11市町社協、14名
2	期 日	令和4年10月4日
	開催方法	オンライン
	参加者	10市町社協、12名
3	期 日	令和5年1月27日
	開催方法	オンライン
	参加者	10市町社協、12名
		(1)趣旨説明 (2)検討テーマの確認 (3)次回開催について
		(1)令和4年度社会福祉協議会中堅職員研修会(案)について (2)具体的な「人材確保」の取組を企画する (3)次回開催について
		(1)令和4年度社会福祉協議会中堅職員研修会の振り返りにについて(報告) (2)今後の取組について 1)令和5年度実施、短期インターンシップの企画案について(提案) 2)「1DAY インターンシッププログラム(県社協)」について(情報提供) 「広報力・人材確保セミナー(12月8日、県経営協・経営青年会主催)」について(情報提供) (3)次年度の検討テーマの希望について(意見交換)

c 災害時の社協活動

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期 日	令和5年1月16日
	開催方法	オンライン併用
	参加者	11社協23名 (うちオンライン6社協11名)
	場 所	日高川交流センター
		※令和4年広域・同時多発災害対応訓練(11月26日日高川町で実施)の振り返り会として開催 (1)事業報告 (2)グループワーク 振り返りシートをもとに 1)災害ボランティアセンターの運営について 2)災害時における社協の役割について(使命・マインド) (3)グループワーク協議結果の共有

エ 社会福祉協議会役職員研修会

期日・参加者・場所		内容概要
期日	令和5年2月10日	(1) 情勢報告：「コロナ禍における生活課題への取組 ～特例貸付の相談支援を切り口に～」 和歌山県社会福祉協議会 地域福祉部 生活資金班 (2) 実践実例報告①：特例貸付－相談支援体制の強化－ “ありがとう”への道筋 かつらぎ町社会福祉協議会 事務局長 山本 幸則 氏 実践実例報告②：貸付相談をきっかけとした就労支援等の 個別支援事例 すさみ町社会福祉協議会 事務局長 地本 達行 氏
場所	紀南文化会館 小ホール	
参加者	22 社協 73 名	

③ 多様な地域福祉活動実践状況の把握と情報発信

市町村社会福祉協議会等の地域福祉活動事例等の収集及びホームページや SNS による掲載に努めた。

(3) 「相談・支援体制の強化」と「地域づくりのための活動基盤整備」の支援

① 市町村社会福祉協議会活動支援事業（助成）

社協名	事業名	交 付 額
有田市	子どもたちを取り巻くネットワーク強化事業	473 千円
九度山町	地域における居場所づくり支援活動	473 千円
有田川町	見守りネットワーク強化事業	265 千円
太地町	社会資源マップ・通いの場マップ作り	289 千円
合 計	4 事業	1,500 千円

(4) 市町村社協活動の情報収集及び“見える化”の支援

① 広報のチカラを付ける研修会

期日・参加者・場所		内容概要
期日	令和4年11月28日	(1) 広報の姿勢 (2) 広報紙、チラシ作成のテクニック…レイアウト、色の選び方、写真の撮り方等 (3) SNS を活用した情報発信 講師：Print コーディネーター 代表兼チーフデザイナー 窄口真吾 氏
場所	和歌山ビッグ愛1階	
参加者	18 社協 28 名	

(5) 地域福祉活動推進のための関係機関との連携強化

① 和歌山県市町村社協連絡協議会の運営支援

ア 総会

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期日 令和4年4月21日 場所 和歌山ビッグ愛12階 参加者 30 社協 43 名	(1) 議 事 1) 令和3年度事業報告・決算について 2) 令和3年度事業報告・決算にかかる監事監査報告について 3) 理事・監事の承認について

		<p>4) 会長・副会長の選任について</p> <p>5) 社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会評議員候補者の推薦について</p> <p>6) 令和4年度事業計画・予算（案）について</p> <p>7) 社会福祉協議会における相互支援協定の確認について</p> <p>8) その他</p> <p>(2) 行政説明（和歌山県）</p> <p>1) 福祉保健総務課「ヤングケアラー実態調査、包括的支援体制に関する市町村ヒアリング協力依頼」</p> <p>2) 子ども未来課「わかやま子供食堂応援ネットワーク事業」</p> <p>(3) 説明（社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会）</p> <p>各部（総務企画部、地域福祉部、福祉人材研修部）からの説明</p> <p>(4) 協 議</p> <p>業務課題検討会の検討テーマについて</p>
--	--	--

イ 理事会

回	期日・参加者・場所 等	内容概要
1	<p>期 日 令和4年4月21日</p> <p>場 所 和歌山ビッグ愛12階</p> <p>参加者 理事9名、監事1名</p>	<p>(1) 令和3年度事業報告・決算について</p> <p>(2) 令和3年度事業報告・決算にかかる監事監査報告について</p> <p>(3) 令和4年度事業計画・予算（案）について</p> <p>(4) 総会議事の確認及び進行について</p> <p>(5) その他</p> <p>1) 新役員による会長・副会長の互選について</p> <p>2) 社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会評議員候補者の推薦について</p>
2	<p>期 日 令和4年6月17日</p> <p>開催方法 書面</p> <p>参加者 理事9名</p>	<p>(1) 和歌山県福祉サービス運営適正化委員会選考委員候補者の選任について</p>
3	<p>期 日 令和5年3月3日</p> <p>場 所 和歌山ビッグ愛7階</p> <p>参加者 理事9名、監事1名</p>	<p>(1) 令和4年度事業報告（案）・決算（見込み）について</p> <p>(2) 令和5年度事業計画（案）・予算（案）について</p> <p>(3) 令和5年度総会の開催について</p> <p>(4) その他</p>

ウ 監事会

期日・場所	参加者	内容概要
<p>期 日 令和4年4月13日</p> <p>場 所 紀の川市社協、由良町社協</p>	監事2名	令和3年度事業および財産状況の監査

② 全国・近畿ブロック会議等への参加

期日	場所（開催方法）	名称
5月13日	オンライン	都道府県・指定都市社協 地域福祉推進担当部・課・所長会議

5月19日	オンライン	全国社会福祉協議会地域福祉推進委員会委員セミナー (オブザーバー参加)
6月11～12日	オンライン	日本地域福祉学会第36回大会
6月28日	大阪市	社協が取り組む「子ども食堂」との協働実践研究会
7月17日	オンライン	第20回全国社協職員をつどい(記念大会)
8月8日	オンライン	第34回近畿地域福祉学会大阪大会 第1回役員会・実行委員会
11月1日	オンライン	近畿ブロック府県・指定都市社協地域福祉・ボランティア担当者会議(開催当番県として)
11月16日	オンライン	市区町村社協介護サービス経営研究会第2回オンラインサロン
12月7日	オンライン	地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修 講師養成研修会
12月13日	オンライン	社協における重層的支援体制整備事業の取組(公開座談会)
12月17日	大阪市	第34回近畿地域福祉学会大阪大会 第2回役員会・実行委員会
3月7日	オンライン	全国社会福祉協議会地域福祉推進委員会委員セミナー (オブザーバー参加)
3月7日	オンライン	介護事業者のためのBCPセミナー
3月9日	オンライン	市区町村社協介護サービス経営研究会第3回オンラインサロン
3月14日	オンライン	孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム総会
3月16日	オンライン	社会福祉協議会活動全国会議

③ 県内関係機関会議等への参加

期日	場所	名称
6月7日	オンライン	社協が取り組む「子ども食堂」との協働実践研究会 実行委員会(オブザーバー出席)
6月14日	オンライン	社協が取り組む「子ども食堂」との協働実践研究会 実行委員会(オブザーバー出席)
6月16日	オンライン	第1回生活支援コーディネーター実践研修会
8月24日	和歌山市	こども食堂応援ネットワーク交流会
9月11日	オンライン	人と人とのつながりが実感できる居場所づくり
10月18日	オンライン	第2回生活支援コーディネーター実践研修会
3月6日	オンライン	和歌山子ども学総合研究センター公開研究集会
3月7日	オンライン	第3回生活支援コーディネーター実践研修会

④ 関係機関との連絡調整

ア (株)セブン-イレブン・ジャパン「商品寄贈による社会福祉貢献活動 寄贈品に

関する協定書」に基づく連携

セブン-イレブン、県、県社協の三者で締結された協定に基づき寄贈された商品について、地域で支援を必要とする世帯・個人（生活に困難を抱える方）、社会福祉施設等への配分に協力した。

期日・参加者・場所		内容概要
期 日	令和4年12月16～19日	【協定外】 [配分先] 県内11社協から管内子ども食堂へ配分 [分量等] スナック菓子(サクサクコーン)1200袋 寄贈
参加者	県内11社協	
場 所	本会及び3社協(直送)	
期 日	令和5年2月16日	第10回商品寄贈
参加者	配分会は中止	[配分先] 生活困窮者支援として社協備蓄
場 所	上富田町福祉センター	[分量等] 加工食品・飲料、雑貨等 計146点
期 日	令和5年2月28日	第11回商品寄贈
参加者	配分会は中止	[配分先] ひきこもり相談・居場所支援施設、サロン、障害者スポーツ大会、生活困窮者へ配布。
場 所	御坊市福祉センター	[分量等] 加工食品・飲料、雑貨等 計469点

イ (株) オークワ「和歌山県における地域福祉活動の推進に係る連携・協力に関する協定」に基づく連携

オークワと県社協で締結された協定に基づき寄贈された商品(精米)について、地域で支援を必要とする世帯・個人(生活に困難を抱える方)、社会福祉施設等への配分に協力した。

[令和4年度寄贈 計26回、精米等2637.35kg]

寄贈日	配分先(分量)	活用方法等
令和4年4月21日	紀南ブロック管内社協 (精米等79.5kg)	配食サービス、障害者グループホーム、生活困窮世帯への配分
令和4年5月21日	紀北ブロック管内社協 (精米等97.5kg)	こども食堂、保育所、生活困窮者支援備蓄品、支援を必要とする個人への現物給付
令和4年6月7日	紀中ブロック管内社協 (精米等98kg)	生活困窮者配分またはその備蓄、給食ボランティアグループ、配食サービス
令和4年6月16日	紀南ブロック管内社協 (精米等133.5kg)	生活困窮者への個別支援困窮者、こども食堂、障害者の地域での一人暮らしに向けた体験型宿泊や緊急一時的な宿泊を提供するための居室の食事支援、NPO法人白浜レスキューネットワーク、社協または行政福祉課備蓄品

令和4年6月22日	紀北ブロック管内社協 (精米等 125 kg)	生活困窮者支援社協備蓄品として、配食サービス、フードドライブ、生活困窮者または世帯に配分
令和4年6月29日	紀中ブロック管内社協 (精米等 139 kg)	こども会、配食サービス、生活困窮者(精神障害者、ひとり親世帯、知的障がい者他)に対する支援、ふれあいサロン、グループホーム、作業所配分
令和4年7月7日	紀南ブロック管内社協 (精米等 150.5 kg)	就労支援作業所、こども食堂、グループホーム、保育園
令和4年7月12日	紀北ブロック管内社協 (精米等 132.3 kg)	生協フードバンク、生活困窮者へ配分またその備蓄、母子家庭支援施設、生活困窮者世帯へ配分、生活困窮者世帯へ配分備蓄
令和4年7月21日	紀中ブロック管内社協 (精米等 156.4 kg)	こども会、生活困窮者(ひとり親世帯、身体障害者世帯、知的障害者世帯)への配分、配食サービス、給食ボランティアグループ、生活困窮者支援備蓄品として
令和4年7月27日	紀南ブロック管内社協 (精米等 121 kg)	生活困窮者への個別支援、フリースクール、こども食堂、生活困窮者支援の社協備蓄品として
令和4年8月1日	紀北ブロック管内社協 (精米等 110.75 kg)	生活困窮者のための支援プロジェクト、生活困窮者支援備蓄品として、フードドライブ、生活困窮世帯への配布、食事ボランティアサービスの会
令和4年8月8日	紀中ブロック管内社協 (精米等 120.5 kg)	保育所、社協 訪問給食、生活困窮者支援品として、こども会、障害者グループホーム、生活困窮者支援の社協備蓄品として
令和4年8月30日	紀南ブロック管内社協 (精米等 88.5 kg)	特別養護老人ホーム
令和4年9月26日	紀北ブロック管内社協 (精米等 96.7 kg)	介護予防拠点施設、食事サービス事業、支援を必要とする方への現物給付として(民生委員さん、保護司さんを通じて)、保育所、生活困窮者のための支援プロジェクト
令和4年10月12日	紀中ブロック管内社協 (精米等 61 kg)	やすらぎ年末の集いでの活用、生活困窮者支援、こども食堂へ配布
令和4年10月20日	紀南ブロック管内社協 (精米等 117 kg)	こども食堂、生活困窮世帯へ配布

令和4年11月2日	紀北ブロック管内社協 (精米等 117 kg)	生活困窮者の為の支援プロジェクトでの活用、保育園へ配布、生活困窮者への配布(民生委員を通じて)、生活困窮者支援備蓄品として
令和4年11月15日	紀中ブロック管内社協 (精米等 62.2 kg)	生活困窮者支援備蓄品として、保育所、社協訪問給食、生活困窮世帯に配布
令和4年12月8日	紀南ブロック管内社協 (精米等 113.5 kg)	児童養護施設、就労継続支援A型、B型施設、障害者グループホーム、生活困窮者(生活福祉資金特例貸付利用者、子育て世帯等)に配布、生活困窮者支援備蓄品として
令和4年12月19日	紀北ブロック管内社協 (精米等 93 kg)	配食サービス、こども食堂に配布、生活困窮者の為の支援プロジェクトに使用
令和5年1月17日	紀中ブロック管内社協 (精米等 66.5 kg)	生活困窮者、社協配食サービス、給食ボランティアへ配布。
令和5年1月27日	紀南ブロック管内社協 (精米等 76 kg)	保育園、児童発達支援センターへ配布
令和5年2月2日	【臨時支援】県社協 (精米 5kg)	生活困窮者支援物資として配布
令和5年2月15日	紀北ブロック管内社協 (精米等 104kg)	配分中
令和5年3月20日	紀中ブロック管内社協 (精米等 96kg)	生活困窮者、配食サービス、保育所へ配布。フードパントリー品目として活用。
令和5年3月30日	紀南ブロック管内社協 (精米等 77kg)	配分中

ウ 生命保険協会 和歌山県協会からの福祉巡回車寄贈

期日・参加者・場所	内容概要
期日 12月2日 場所 和歌山市(ビッグ愛)	「生命保険協会和歌山県協会」福祉巡回車寄贈式 寄贈先：かつらぎ町社会福祉協議会

エ 保険等の取扱い(本会受付分)

保険種別	加入件数
福祉サービス総合補償	8
送迎サービス補償	なし

2 和歌山県民生委員児童委員協議会との連携、民生委員・児童委員活動の支援

(1) 民生委員・児童委員の活動状況把握と情報発信

民生委員・児童委員が行う地域での実践活動（相談支援・生活支援等）や、民生委員自身の想い・やりがい等を広く啓発し、関係者へ理解を促進するため、本会広報誌及びホームページで活動紹介を実施した。

広報誌・発行月	内 容
福祉わかやま 6月号	笑顔でつながる地域づくり (すさみ町民生児童委員協議会)
福祉わかやま 1月号	チームで取り組む、楽しく活動するをモットーに (和歌山市楠見地区民生委員・児童委員協議会)

(2) 社会福祉協議会活動との連携強化

「新任民生委員・児童委員研修会」において、担当職員を派遣し、生活福祉資金貸付制度、福祉サービス利用援助事業及び福祉サービス苦情解決事業の説明を行った。

また、新任民生委員・児童委員研修会及び主任児童委員研修会の講義内容のオンデマンド動画配信について、本会サイトで掲載した。

《総務企画部・企画班・施設関係》

1 「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」を通じ、地域を支える社会福祉法人の活動を支援

地域共生社会の実現に向けて、地域における公益的な取組を責務とする社会福祉法人がその一翼を担うことができるよう、「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」を通じて社会福祉法人の公益的な取組を支援した。

(1) プロジェクトにおける多様な事業活動の開発、展開

① 関係会議・研修、個別訪問等によるプロジェクトへの参画促進

社会福祉法人の「地域における公益的な取組」を促進・支援するため、同取組に関する意識醸成を図るとともに、プロジェクトへの参画を呼びかけた。

ア 広報誌「福祉わかやま」への情報掲載（参画法人の取組紹介）

掲載号	法人名	掲載事例（テーマ）
令和4年5月	一麦会	障がいや生きづらさを抱えた思春期世代の居場所づくり
令和4年10月	千翔会	誰もが自分らしく生活できるまちづくりをめざして

イ パンフレット（事例集）の作成・増刷

協働プロジェクトのPRと参画法人の取組紹介を目的とし、啓発パンフレット「地域を支える社会福祉法人」を作成・増刷し、関係機関に配布した。

② 地域共生社会の実現に向けた取組の促進モデル（助成）事業の実施

地域共生社会の実現に向けて、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な福祉サービス提供体制の整備を目的とした改正社会福祉法が令和3年4月に一部施行された。

社会福祉法人・福祉施設には、社会福祉法人制度改革で求められてきた「地域における公益的な取組」の推進を図る中で、より一層、地域の様々な生活課題に積極的に対応し、地域共生社会の一翼を担うことが期待されている。こうした状況から、個々の社会福祉法人独自の取組を促進、支援するため、モデル（助成）事業を実施した。

【令和4年度指定法人：6法人 / 助成総額1,780千円】

〈第1次募集：3法人〉

	紀三福祉会	和歌山市布引	300千円
事業名	紀三戦隊 地域 みんなをまもるんジャー（継続）		
	自治会や民生委員の協力、情報提供を得ながら、地域で閉じこもりがちな在宅高齢者世帯など、いわゆる「気になる世帯」を法人スタッフが中心になって毎月安否確認する仕組みを継続。ヤングケアラー等の何らかの困りごとを抱えた方が相談できる場とし、「助けて」と言える社会づくりを手伝う。		
	寿敬会	和歌山市平尾	300千円
事業名	つながり大日カフェ（強化発展）		
	これまで実施してきたカフェ（原則月1回第3金曜）を継続するとともに、コロナ禍により集まるのが困難な中で、地域で「集まれないから声をかけてほしい」「かけ続けてほしい」という思いに応えるため、法人として困りごとが発生した場合でもすぐに相談ができる体制を構築する。		

千翔会	有田川町上中島	300 千円
事業名	誰もが住みやすいまちづくり ～地域のひとりぼっちをなくそう～ (新規)	
高齢者世帯、障害者、母子家庭等、生活の困り事を抱えた世帯には情報が伝わりにくく、制度の狭間にある人たちと様々なアイテムを通じてつながり、そのことを通して以下の課題に取り組み、住みやすいまちづくりを目指す。(お助けチームの組織化・災害時等の助け合いづくり)		

〈第2次募集：3法人〉

やつなみ	和歌山市西庄	280 千円
事業名	やつなみふれあいカフェ (新規)	
介護付き有料老人ホームプレジングホームやつなみ内の多目的ホールを週1回、3時間程度、『やつなみふれあいカフェ』として開放し、地域住民が気軽に立ち寄れる相談・居場所、情報提供及び情報交換の場とする。必要時には、看護師、社会福祉士、介護支援専門員等の有資格者が相談に応じる。		
一麦会 (紀の川生活支援センター)	紀の川市尾崎	300 千円
事業名	障害や生きづらさを抱えた社会的孤立状態にある思春期世代の居場所事業 (継続)	
生きづらさや発達障害、メンタルヘルスの課題等を抱えた若者 (思春期世代) が、気軽に相談でき、立ち寄ることができる居場所づくりを継続する。教育現場の人とつながりながら、「居場所」で関係機関につながっていない若者の相談を受け、必要に応じて関係機関と連携して介入、支援へとつなげる。		
中庸会	海南市七山	300 千円
事業名	天美苑カフェ (強化発展)	
高齢者の孤立防止、誰もが参加できる居場所として、施設内ホールを使用した週3回のカフェを継続。祝日も開催。(参加者の増加と密を避ける為、回数を増やして実施) 理学療法士や食育指導士による健康教室を新たに実施し、健康増進メニューを強化する。		

※モデル助成事業開始 (平成28年度～) からの延べ助成件数 … 39事業 (16法人)

③ コロナ禍を踏まえた活動、実践づくり (事業別・課題別 小委員会活動の推進)

「地域における公益的な取組」を共に考え、社会福祉法人の特性を生かした具体的な“実践”を検討するために、平成30年度から小委員会活動を実施しています。今年度も、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、小委員会活動は見合わせた。

(2) 実践事例の収集・発信 (見える化) と普及啓発

① 「ふくしフォトコンテスト2022」の開催

地域共生社会の実現に向け、誰もが身近にある「福祉」「地域福祉」を県民及び関係者に向けて啓発する (福祉への理解をすすめる) とともに、「福祉職場」の素晴らしさ、福祉のイメージUPを目的とし、県社協 (協働プロジェクト)、県経営協、経営協青年会の3者共催による新たな取組として「ふくしフォトコンテスト」実施した。

ア 応募総数 89作品 (応募者38人)

イ 入賞 計10点

賞の名称	選定数	賞品
最優秀賞	1作品	商品券3万円
優秀賞	3作品	商品券2万円
入選	6作品	商品券1万円

ウ 参加賞 紀州材・すぎの間伐材を使用した木製定規（社会福祉法人太陽福祉会）

エ 審査委員会

	団体名	職名	氏名	備考
1	県経営協	会長	森田昌伸	審査委員長
2	県経営協青年会	会長	小林弘典	
3		副会長	切士知憲	(企画実務担当)
4	県社会福祉協議会	常務理事	南木芳亮	
5	外部アドバイザー	写真家	諸永恒夫	アドバイザー

オ 取組経緯

期日	内容
令和4年8月12日～9月30日	作品募集期間
令和4年10月11日	第1次審査（経営協青年会役員会）
令和4年11月18日	第2次審査（審査委員会・入賞作品決定）
令和4年12月6日	審査結果通知（応募者全員）、参加賞送付 審査結果を県社協ホームページ、SNSで公開
令和4年12月23日	和歌山県地域福祉推進フォーラム（作品披露・表彰式）
令和5年1月	県社協広報誌「福祉わかやま」1月号にて作品紹介
令和5年2月13日～2月20日	第1回パネル展示（オークワパビリオンシティ田辺店）
令和5年3月4日	那智勝浦町健康福祉まつり 展示
令和5年3月6日～3月13日	第2回パネル展示（オークワパームシティ和歌山店）

(3) 推進委員会事務局の運営

① 幹事会の開催

期日	場所	参加者	内容
令和4年7月20日	書面審議	幹事10名	・地域共生社会の実現に向けた取組の促進モデル事業（第1次）助成先の選定について
令和4年12月7日	書面審議	幹事10名	・地域共生社会の実現に向けた取組の促進モデル事業（第2次）助成先の選定について

② 総会の開催

期日	場所	参加者	内容
令和5年3月20日	資料送付	参画43法人 あて	ア 令和4年度事業進捗状況について イ 令和5年度事業計画・予算（案）について ウ その他

2 社会福祉法人（社会福祉施設）をはじめとする関係団体との連携強化

(1) 和歌山県社会福祉法人経営者協議会及び社会福祉施設協議会との連携による支援

① 和歌山県社会福祉法人経営者協議会との連携による研修機会提供

期日	場所	内容
8月2日	和歌山市 オンデマンド配信併用	全国経営協共催 都道府県経営協セミナー（前期） （県社会福祉法人経営者協議会及び経営青年会 第1回合同研修会） 【講義】「徹底解説！経営基盤を強くする経営協メソッド」 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 委員 遠部 敦也 氏 【動画】「次世代リーダーの育成はココで！～全国青年会取組報告・入会 PR」 説明者：和歌山県社会福祉法人経営青年会 会長 小林 弘典 氏 【説明】「年に1回、法人の健康診断を！経営協ドッグのご案内」 説明者：全国社会福祉法人経営者協議会 事務局
12月8日	和歌山市 オンデマンド配信併用	社会福祉法人 広報力・人材確保セミナー（独自研修） （県社会福祉法人経営者協議会及び経営青年会 第2回合同研修会） 【講演】「若者が魅力を感じる FUKUSHI とは ～若者の就職支援の現場から～」 講師：一般社団法人 FACE to FUKUSHI 池谷 徹 氏 【取組報告】「福祉の世界を変えていこう！ ～ワクワクする仕事があります～」 報告者：社会福祉法人 紀三福社会 事務長 明寄 真子 氏
2月21日	和歌山市 オンデマンド配信併用	全国経営協共催 都道府県経営協セミナー（後期） （県社会福祉法人経営者協議会及び経営青年会 第3回合同研修会） 【講義】「コロナにも物価高にも負けない！未来に続く法人経営のヒント」 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 副委員長 久木元 司 氏 【動画】「入っていてよかった青年会 ～全国青年会取組報告・入会 PR」 説明者：和歌山県社会福祉法人経営青年会 前会長 土山 徳泰 氏 " 会長 小林 弘典 氏 【説明】「もっと使って！経営協」 説明：全国社会福祉法人経営者協議会 事務局

② 和歌山県保育連合会との連携による研修機会提供

期日	場所	内容
5月7日	和歌山市 オンデマンド配信併用	令和4年度県保連会長感謝状贈呈式・研修会 テーマ：食育研修 ～食の支援が大きな子育て支援につながる～ 講師：株式会社 Graine 代表 大阪総合保育大学 非常勤講師 伴 亜紀 氏
11月15日	田辺市 オンデマンド配信併用	県保育士部会研修会 【基調報告】和歌山県保育連合会 会長 森田昌伸氏 【研修Ⅰ】「子どもの『主体性』を育む保育」 乳幼児期からの関わりと環境設定 講師：社会福祉法人久良岐母子福祉会 くらき永田保育園 園長 鈴木 八朗 氏 【研修Ⅱ】「ワクワクを引き出す！手作りおもちゃと造形あそび」 講師：ラッピング・コーディネーター他 武田 真理恵 氏

2月4日	和歌山市 オンデマンド配信併用	第61回県保育研究会 【研究発表】 ①「あしたが楽しみ!!主体的な遊びから学びへの接続」 ～子どもの育ちと学びをつなぐ多様な関わり～ 発表：和歌山市立砂山保育所 ②「あそびこむ中で育ちと学びをつなぐ」 ～保育所と小学校が円滑に接続するために～ 発表：田辺市立 はやざと保育所 【助言者】 県教育委員会 学校教育局義務教育課 指導主事 武田 祥吾氏
------	--------------------	---

③ 各施設協議会・福祉関係団体との連絡調整、情報収集と課題把握、助成

ア 県経営協メールニュースの発行（計22回）

地域共生社会の実現に向けた制度動向や新型コロナウイルス感染症への対応等、社会福祉法人関連の情報を迅速に提供するため、県社会福祉法人経営者協議会との連携によりメールニュースを配信した。

イ 関係会議等への出席

期日	場所	名称
5月7日	和歌山市	県保育連合会 会長感謝状贈呈式・研修会
7月6日	和歌山市	県児童福祉施設連絡協議会 総会・施設長・職員研修会
10月21日	海南市	第3回紀北里親支援連絡会議・研修会

ウ 種別施設協議会・福祉関係団体への助成等

a 種別施設協議会への助成（種別組織育成事業助成金）

団体名	助成金額
和歌山県保育連合会	50,000円
一般社団法人和歌山県老人福祉施設協議会	50,000円
和歌山県児童福祉施設連絡協議会	50,000円
和歌山県母子生活支援施設協議会	50,000円
和歌山県知的障害者福祉協会	50,000円
計	250,000円

b 福祉団体への助成（社会福祉団体事業助成金）

団体名	助成金額
公益社団法人母子寡婦福祉連合会	150,000円
社会福祉法人和歌山県身体障害者連盟	150,000円
和歌山県里親会	50,000円
和歌山県障害児者父母の会連合会	50,000円
計	400,000円

④ 全国・近畿ブロック等の情報収集、整理、発信（全国会議、ブロック会議等への参加、派遣）

期日	場所	会議・研修会名等
4月15日	神戸市	近畿ブロック保育協議会 第1回正副会長会議 近畿ブロック公立保育所等代表者会議
4月18日	京都市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第1回役員会 全国経営協 近畿ブロック会議
5月25日	オンライン	全国保育協議会 第1回協議員総会
6月13日	大阪市	近畿ブロック保育協議会 会長等会議（臨時）
6月14日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第2回役員会
7月19日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 総会・第3回役員会・研修会

7月21日	大阪市・オンライン	近畿ブロック保育協議会 全国大会への持ち上がり選考会 近畿ブロック保育協議会 第2回正副会長会議（処理委員会）
8月16日	大阪市・オンライン	近畿社会福祉法人経営者協議会 第4回役員会
10月20日	オンライン	全国保育研究大会 山形大会
11月15日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第6回役員会
11月21日	オンライン	全国保育協議会 保育組織正副会長等会議
11月28日	神戸市	近畿ブロック保育協議会 第3回正副会長会議
12月13日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第7回役員会
1月17日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第8回役員会 災害福祉支援体制強化に向けた役員研修会
2月16日	神戸市	近畿社会福祉法人経営者協議会 総会・第9回役員会
2月16日	神戸市・オンライン	近畿社会福祉法人経営者協議会 ブロックセミナー（兵庫大会）
2月17日	オンライン	全国保育協議会 第2回協議員総会
3月3日	オンライン	全国経営協 第2回協議員総会

⑤ 団体事務局受任による支援

ア 和歌山県社会福祉法人経営者協議会事務局

県社会福祉法人経営者協議会及び県社会福祉法人経営青年会の活動推進、各種情報の提供、研修会の開催、全国及び近畿社会福祉法人経営者協議会との連携等を通じ、活動支援を行った。

イ 和歌山県保育連合会事務局

県保育連合会及び保育士部会・給食部会の総会・研修会の開催、近畿・全国保育協議会との連携、会議への派遣等の活動支援を行った。

ウ 和歌山県児童館連絡協議会事務局

県児童館連絡協議会総会、児童厚生員等研修会の開催、一般財団法人児童健全育成推進財団との連携、関係会議への派遣等を通じ、活動支援を行った。

エ 和歌山県訪問介護事業所協議会事務局

県訪問介護事業所協議会総会、訪問介護員等研修会の開催、近畿ブロックホームヘルプ業務推進に係る連携会議への出席等を通じ、活動支援を行った。

(2) 新たな生活課題への対応と協働の場づくり

① 災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム（DWAT）の構築検討

ア 県との事前協議 7月13日、7月20日、8月31日

イ 県主催「災害派遣福祉チーム（DWAT）の構築に向けた検討会」への参画

	期 日	場 所	備 考
第1回	1月13日	和歌山市	県社協及び県経営協事務局として出席
第2回	3月15日	和歌山市	

ウ 全国会議等への出席

期日	会議名	場所
10月24日	全社協主催：社協の災害支援体制と災害支援活動の強化に関する会議	東京都
2月9日	厚労省主催：災害福祉支援ネットワーク中央センター（圏域） 近畿ブロック会議	大阪市

(3) 教員免許取得に係る「介護等体験」事業の実施

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（平成9年法律第90号）」に基づき、教員免許の取得を希望する者は社会福祉施設等での「介護等体験」が義務づけられていることから、本会が受入調整業務を実施している。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年3月25日付けで文部科学省から特

例（代替）措置適用の通知が令和2年度・3年度に引き続き発出されたことを受け、令和4年度の介護等体験についても施設での受入れを実施せず、各大学等で代替措置を適用（所定科目履修による体験免除）いただいた。

（4）障害者施設授産活動活性化資金融資事業の実施

県内の就労継続支援A型・B型事業所、就労移行支援事業所、地域活動支援センター及び小規模作業所で行われている授産活動を活性化させ、施設利用者等の工賃支給状況を改善し、もって障害者の社会参加と自立を図るため、授産活動の活性化を目的とする無利子融資事業を実施した。

① 新規融資（なし）

② 債権管理状況（令和5年3月31日現在）

融資中件数	融資中金額	原資残額
1件（償還中1件）	200,000円	9,800,000円

《総務企画部・企画班・企画調整関係》

1 新たな福祉課題（分野）への対応と地域福祉推進フォーラムの開催

(1) 第6次和歌山県社会福祉協議会活動計画の遂行並びに進行管理

活動計画1年目の進捗管理の実施（事務局内）

(2) 新たな福祉課題・生活課題への対応・事業企画の強化

- ① 「ふくしフォトコンテスト2022」の実施（再掲）
- ② 災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム（DWAT）の構築検討（再掲）
- ③ 県社協活動の見える化・広報強化のためのSNS（Instagram、Facebook）の導入（6月～）
- ④ 「わかやま子供食堂応援ネットワーク」への参画
- ⑤ 県社協「ふくし映画上映会」の開催

期日	場所	内容
10月20日	和歌山市	日本の大衆文化韓国解禁 第1号許可作品 日韓合同劇映画 1996年 厚生大臣賞（児童福祉文化賞）受賞作品 「愛の黙示録」～尹鶴子（田内千鶴子）の生涯～

《協賛》 故郷の家・社会福祉法人こころの家族

※参加者 計107名

(3) 組織的なワーキングチーム活動の強化

- ① 中核・中堅職員層ワーキングの新規設置

第6次県社協活動計画の第4章-2組織基盤の強化に関し、基本理念・行動指針等を全職員が理解し、活動計画の実行に向けて同じベクトルを持ち、自ら考えて仕事ができるようにするためには、各部署のチームリーダー的立場にある（実務の中核を担う）職員が想いをともにし、リーダーシップ・フォロワーシップ・部署間連携を図りながら業務に取り組むことが大変重要である。

こうした場を組織的・意図的に設けるため、令和4年9月より中核・中堅職員層ワーキングを設置し、毎月上旬に定例的に開催した。（計7回開催）

(4) 地域福祉推進フォーラムの開催

- ① 日時 令和4年12月23日
- ② 会場 和歌山市（県民交流プラザ和歌山ビッグ愛1階 大ホール）
- ③ 共催 縣市町村社協連絡協議会、県社会福祉法人経営者協議会、県社会福祉法人経営青年会
- ④ 後援 和歌山県、県民生委員児童委員協議会、県保育連合会、県児童福祉施設連絡協議会、県里親会、県ボランティア連絡協議会、社会福祉法人和歌山県共同募金会
- ⑤ 参加者 市町村社協、社会福祉施設、ボランティア、行政職員等 86名

令和4年度 和歌山県地域福祉推進フォーラム
～子どもたちの“いま”と“これから”をみんなで考える～

- (1) オープニング 「ふくしフォトコンテスト2022」 入賞作品披露、表彰式
- (2) 開会・オリエンテーション
- (3) 基調講演 「最近の社会情勢と子どもを取り巻く課題」
【講師】和歌山信愛大学 教授 わかやま子ども学 総合研究センター長 桑原 義登 氏
(和歌山県社協活動計画検討委員会委員長)
- (4) シンポジウム
様々な主体の地域福祉活動実践者が、現在の社会情勢を踏まえて、子どもたちが抱える生活課題にどのように向き合い、どのような想いで活動に取り組んでいるのか。その活動を紐解きながら、すべての子ども、若者が輝いて生活できるために必要なことを皆さんと一緒に考えます。
- (5) 実践報告
 - ① 「子ども達の明るい未来のために心をつなぎ共に育つ努力を」
和歌山県里親会 会長 富松 伸六 氏
 - ② 「愛徳園が行う地域貢献活動」
社会福祉法人愛徳園（和歌山市） 南部 光 氏
 - ③ 「縁側のある昔ながらの家で、多世代・地域交流の居場所づくり」
ほんまち子ども食堂（和歌山市） 三岩 眞紀 氏
《コーディネーター・コメンテーター》 桑原 義登 氏

～事項別報告～

Ⅱ 地域福祉部

≪地域福祉部・地域福祉班・地域福祉権利擁護事業関係≫

1 日常生活自立支援事業の実施

(1) 福祉サービス利用援助事業の実施

① 福祉サービス利用援助事業の全市町村社会福祉協議会への委託実施

新規	解約	年度末実利用者数
111 件	103 件	708 件

② 生活保護受給者への利用料全額助成の実施

年度末対象者数	助成合計（円）
延べ 246 名	8,262,000 円

③ 住民税非課税者への利用料半額助成の実施

年度末対象者数	助成合計（円）
延べ 320 名	2,833,250 円

④ 福祉サービス利用援助システムの運営・改修

平成 17 年度から本会と市町村社協がネットワークを介した業務システムを運用しているが、平成 22 年 5 月には新システムへと移行し、平成 25 年度、平成 28 年度にはシステムの一部改修を行い、さらなる事務の効率化を図ってきた。

さらに、令和 4 年度は、事務処理の遅延や事務局内の決裁処理等に漏れがないよう、システムにおいて実施すべき事務がナビゲーション（チェックされる）機能を追加する等のシステム改修を行った。

(2) 事業従事者の資質向上

① 専門員研修会の開催（詳細 7 専門員・生活支援員の研修実施状況のとおり）

第 1 回（オンライン開催）	第 2 回（オンライン開催）	計 2 回
48 名	45 名	93 名

② 生活支援員研修会の開催（詳細 7 専門員・生活支援員の研修実施状況のとおり）

新任（オンライン開催）	継続（オンライン開催）	計 2 回
31 名	44 名	75 名

(3) 契約締結審査会の開催 12 回（毎月 1 回）（詳細 6 契約締結審査会の開催状況のとおり）

(4) 委託先への支援

① 現地支援

・現地支援 14 か所

期 日	市町村社協名
4 月 27 日	和歌山市
4 月 28 日	和歌山市
5 月 2 日	和歌山市
5 月 13 日	岩出市
6 月 13 日	和歌山市

9月15日	印南町
9月22日	日高川町
10月6日	由良町
10月7日	湯浅町
10月31日	橋本市
11月1日	海南市
11月7日	九度山町
11月10日	田辺市
11月29日	田辺市

・現地支援への同行 7か所

期 日	市町村社協名
5月19日	和歌山市
11月8日	日高川町
11月8日	印南町
11月17日	湯浅町
12月2日	橋本市
12月2日	九度山町
12月8日	田辺市

② 委託先法律相談支援事業の実施

市町村社協が福祉サービス利用援助事業や成年後見制度に関する事業等を実施する中で、法律的な疑義について弁護士から助言を受けることにより、事業の円滑な運営が図れるよう実施した。

期 日	市町村社協名
1月31日	九度山町
3月23日	由良町

③ 福祉サービス利用援助事業から成年後見制度への円滑な移行促進

・令和4年度移行者数 14人（実利用者数の約2%）

2 成年後見制度利用促進基本計画に基づく取組促進への協力

(1) 成年後見制度利用促進に関する研修会等の開催

① 成年後見制度利用の促進

ア 社会福祉法人等への成年後見制度出前講座の開催

成年後見制度の利用促進を図るため社会福祉法人等へ出向き、制度概要の説明を行った。（実施件数2か所）

イ 成年後見制度利用促進圏域別意見交換会の開催（県と共催）

国が策定した第二期成年後見制度利用促進基本計画を受け、地域連携ネットワークの構築や中核機関設置に向けた考え方等について、行政職員、市町村社協担当職員を対象に、圏域別で情報共有及び意見交換会を7回行った。

圏域	期日	場所	参加者
那賀圏域	10月12日	紀の川市役所	17名
伊都圏域	10月14日	橋本保健所	22名
和歌山市・海草圏域	10月17日	和歌山市消防局	21名
西牟婁圏域	10月18日	田辺市民総合センター	29名
日高圏域	10月20日	御坊市役所	24名
有田圏域	10月24日	有田振興局	20名
東牟婁圏域	10月27日	新宮市福祉センター	27名

ウ 成年後見制度利用促進に向けた体制整備研修会の開催（県と共催）

期日	場所	参加者	内容
6月23日	和歌山ビッグ愛（オンライン）	101名	<p>講義「第2期成年後見制度利用促進基本計画の概要」</p> <p>講師：厚生労働省社会・援護局地域福祉課 成年後見制度利用促進室</p> <p>行政説明：「和歌山県における成年後見制度利用促進の現状」</p> <p>「成年後見制度利用促進に係るアドバイザー派遣制度」</p> <p>動画視聴「全国の中核機関活動状況」</p> <p>実践報告「串本町における成年後見制度利用促進の取組について」</p> <p>串本町福祉課 串本町地域包括支援センター 主査（社会福祉士）濱 麻衣子 氏</p>

エ 成年後見制度市町村長申立て研修会の開催

期日	場所	参加者	内容
8月3日	和歌山ビッグ愛（オンライン）	96名	<p>講義「市町村長申立の意義と申立てに係る必要書類について」</p> <p>講師：和歌山弁護士会 高齢者・障がい者支援センター運営委員副委員長 弁護士 太田 達也氏（ふたば法律事務所）</p> <p>講義「市町村長申立に係る留意事項について」</p> <p>講師：和歌山家庭裁判所 主任書記官 柏原 成光 氏 裁判所書記官 中原 俊 氏</p>

オ 成年後見制度利用促進にかかるアドバイザー派遣事業への協力
県の実施するアドバイザーの派遣事業への協力を行った。

派遣先	7市町村		
	串本町	令和4年10月14日	2名（弁護士、行政）
	みなべ町	令和4年11月14日	3名（弁護士、行政、社協）
	かつらぎ町	令和5年2月14日	2名（社福士、社協）
		令和5年3月7日	3名（弁護士、社福士、社協）
	有田市	令和5年2月22日	4名（弁護士、社福士、行政、社協）
	那智勝浦町	令和5年3月9日	2名（行政、社協）
	海南市	令和5年3月16日	3名（行政、社協、県）
橋本市	令和5年3月20日	4名（弁護士、社福士、行政、県）	

② 県成年後見センターの機能整理と運営

ア 相談支援 58件

イ 成年後見支援センター運営委員会の開催

期日	場所	参加者	内容
3月3日	和歌山ビッグ愛	太田 達也 弁護士 山本 美佐子 司法書士 星野 佳世子 社会福祉士	・委員長の選任 ・令和4年度事業報告 ・令和5年度事業計画（案）

ウ 成年後見制度関係機関連絡会議の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止。

エ 法人後見実施の促進

令和4年7月、社協による法人後見の実施状況について調査を行い、成年後見制度の推進上の課題や問題点について報告を行うと共に、中核機関設置の動きと併せ、後方支援に努めた。

3 問題の深刻化の予防

(1) 福祉サービス利用援助事業に付随する課題対応（資力のない方の死後事務、身寄りのない方の保証人問題等）の検討

預かり書類が返却できないケース（推定相続人無、返却先受取拒否・所在不明、行政の協力が得られない等）への対応について、第2回福祉サービス利用援助事業専門員研修会にて、本会の素案を説明し、専門員の意見を確認した。

意見交換の場	期日	参加者	内容
第2回 専門員研修 及び 生活支援員 継続研修会	2月13日	28社協 専門員 45名	意見交換 「預かり書類等の返却について」 (1) 預かり書類等の返却について、対応が困難であった事例、好事例等の共有 (2) 本会が提示した返還対応フロー案、預かり書類等の破棄案についての意見交換

4 事業開始時期 平成11年10月1日

5 本事業にかかる一部業務委託 (担当専門員の経験年数は、令和5年2月1日現在)

対象市町村数(30市町村)		
委託先 ○担当専門員の職歴、経験年数等	事業対象 地域	事業内容
和歌山市社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・1年～3年	和歌山市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員4名を配置 生活支援員12名を配置
海南市社会福祉協議会 ○ヘルパー2級、介護支援専門員 ○専門員歴・1年～4年	海南市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員7名を配置
橋本市社会福祉協議会 ○社会福祉士 ○専門員歴・3年	橋本市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員1名を配置
有田市社会福祉協議会 ○社会福祉士、精神保健福祉士、社会福祉主事、介護福祉士 ○専門員歴・1年～22年	有田市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員7名を配置 生活支援員3名を配置
御坊市社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・4年～10年	御坊市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員10名を配置
田辺市社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事、介護支援専門員 ○専門員歴・1年～20年	田辺市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員8名を配置 生活支援員21名を配置

<p>新宮市社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護福祉士、保育士 ○専門員歴・1年～3年 	<p>新宮市</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員3名を配置</p>
<p>紀の川市社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉主事、保育士、幼稚園教諭 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士 ○専門員歴・1年～14年 	<p>紀の川市</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員4名を配置 生活支援員15名を配置</p>
<p>岩出市社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉主事 ○専門員歴・18年 	<p>岩出市</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員4名を配置</p>
<p>紀美野町社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護福祉士、ホームヘルパー1級、 社会福祉主事 ○専門員歴・1年～17年 	<p>紀美野町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員2名を配置</p>
<p>かつらぎ町社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉主事、介護福祉士 ○専門員歴・1年～2年 	<p>かつらぎ町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員7名を配置</p>
<p>九度山町社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉士、介護支援専門員 ○専門員歴・10年 	<p>九度山町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員1名を配置</p>

<p>高野町社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉主事 ○専門員歴・1年 	<p>高野町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員2名を配置</p>
<p>湯浅町社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護支援専門員、社会福祉主事 ○専門員歴・4年～17年 	<p>湯浅町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員2名を配置</p>
<p>広川町社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉主事 ○専門員歴・9年～11年 	<p>広川町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員1名を配置</p>
<p>有田川町社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・1年～8年 	<p>有田川町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員4名を配置</p>
<p>美浜町社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉主事、介護福祉士 ○専門員歴・3年～22年 	<p>美浜町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員1名を配置</p>
<p>日高町社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護福祉士 ○専門員歴・5年 	<p>日高町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員2名を配置</p>

<p>由良町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・1年～17年</p>	<p>由良町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員2名を配置</p>
<p>印南町社会福祉協議会 ○社会福祉主事、社会福祉士、介護支援専門員 ○専門員歴・17年</p>	<p>印南町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員3名を配置</p>
<p>みなべ町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護支援専門員 ○専門員歴・5年～11年</p>	<p>みなべ町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員5名を配置</p>
<p>日高川町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・7年～17年</p>	<p>日高川町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員4名を配置</p>
<p>白浜町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・1年～12年</p>	<p>白浜町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員4名を配置 生活支援員5名を配置</p>
<p>上富田町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・2年</p>	<p>上富田町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員2名を配置</p>

<p>すさみ町社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉士 ○専門員歴・5年 	<p>すさみ町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員2名を配置</p>
<p>那智勝浦町社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、主任介護支援専門員 ○専門員歴・1年～17年 	<p>那智勝浦町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員2名を配置</p>
<p>太地町社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉主事 ○専門員歴・3年～12年 	<p>太地町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員1名を配置</p>
<p>古座川町社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉主事 ○専門員歴・5年 	<p>古座川町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員2名を配置</p>
<p>北山村社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉主事、介護支援専門員 ○専門員歴・1年 	<p>北山村</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員1名を配置</p>
<p>串本町社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉士、精神保健福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・1年～17年 	<p>串本町</p>	<p>福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員3名を配置</p>

6 契約締結審査会の開催状況（委員構成、設置要綱は別添のとおり）

委員 (5名)	玉置・石倉法律特許事務所 石倉 誠也氏（弁護士） 医師 上西 禎一氏（医師） 和歌山県司法書士会常任理事市民支援部長 林 紀久夫氏（司法書士） 和歌山県社会福祉士会副会長 新野 佳世子氏（社会福祉士） 和歌山県福祉保健総務課副課長 藤戸 一好氏（行政）
任期	令和3年10月1日～令和5年9月30日

回数	開催期日	開催場所	参加者	協議事項
第1回	4月20日	和歌山 ビッグ愛	委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規5件、解約3件） (3) 報告（新規21件、解約12件）
第2回	5月23日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規5件、解約4件） (3) 報告（新規9件、解約4件）
第3回	6月20日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規11件、解約4件、その他1件） (3) 報告（新規2件、解約9件）
第4回	7月22日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規7件、解約1件、その他1件） (3) 報告（新規11件、解約10件）
第5回	8月24日 (書面審議)		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規6件、解約3件） (3) 報告（新規10件、解約2件）
第6回	9月22日 (書面審議)		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規12件、解約1件） (3) 報告（新規2件、解約10件）
第7回	10月21日 (書面審議)		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規20件） (3) 報告（新規8件、解約7件）
第8回	11月21日 (書面審議)		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規9件、解約3件） (3) 報告（新規27件、解約13件）
第9回	12月19日 (書面審議)		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規7件） (3) 報告（新規3件、解約8件）
第10回	1月20日 (書面審議)		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規10件） (3) 報告（新規11件、解約7件）

第11回	2月20日 (書面審議)	和歌山 ビッグ愛	委員4名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言(新規13件、解約1件) (3) 報告(新規4件、解約10件)
第12回	3月20日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言(新規6件、解約3件、その他1件) (3) 報告(新規12件、解約14件)

7 専門員・生活支援員の研修実施状況

研修名	期日	開催場所	参加者	内容
生活支援員 新任研修会	6月9日	和歌山ビッグ愛 (オンライン)	生活支援員 12名 専門員 19名	(1) 「福祉サービス利用援助事業・生活支援員の業務について」 (2) 「先輩生活支援員に学ぶ」 講師 御坊市社会福祉協議会生活支援員 前出 勇氏 白浜町社会福祉協議会生活支援員 黒田 尚男氏
第1回 専門員 研修会	9月6日	和歌山ビッグ愛 (オンライン)	専門員 48名	【操作説明】 「福祉サービス利用援助事業システム改修案について」 株式会社 五大オーエー 【事業説明】 (1) 福祉サービス利用援助事業の委託について(事業内容・予算等) (2) 令和4年度運営監視合議体現地調査について (3) ブロック別専門員研修会について (4) 市町村社協法律相談支援事業について (5) 不祥事故防止について (6) 福祉サービス利用援助事業の事務手続きについて (7) その他
第2回 専門員 研修会 及び 生活支援員 継続研修会	2月13日	和歌山ビッグ愛 (オンライン)	専門員 45名 生活支援員 44名	【講義】 「成年後見制度利用促進 紀の川市の中核機関の取組について」 紀の川市社会福祉協議会 地域福祉課 課長補佐 仲河 建志 氏 【意見交換】 「預かり書類等の返却について」 【事業説明】

				(1) システム改修について (2) R5 委託金について (3) 運営監視合議体現地調査について (4) 福祉サービス利用援助事業利用料 請求書・領収書における公印押印事 務省力化について (5) 運営適正化委員会・現地調査への協 力について (6) 不祥事故予防の徹底について (7) その他
--	--	--	--	---

8 関係機関連絡会議の開催状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

9 広報・啓発実施状況

(1) 広報活動等

- ・事業周知のための広報活動として、『福祉わかやま』に記事を掲載した。
- ・本会ホームページに月次集計を掲載した。
- ・パンフレットを県の関係課・振興局、各市町村、各市町村社会福祉協議会、関係機関等に配布した。

(2) 会議等での事業説明

期 日	会議名	場 所
1月17日	新任民生委員・児童委員研修会 (紀の川市・岩出市ブロック)	和歌山市
1月24日	新任民生委員・児童委員研修会 (有田市・有田郡ブロック)	有田市
1月27日	新任民生委員・児童委員研修会 (新宮市・東牟婁郡ブロック)	那智勝浦町
2月3日	新任民生委員・児童委員研修会 (橋本市・伊都郡ブロック)	かつらぎ町
2月17日	新任民生委員・児童委員研修会 (海南市・海草郡ブロック)	和歌山市
2月22日	新任民生委員・児童委員研修会 (御坊市・有田郡、田辺市・西牟婁郡ブロック)	田辺市

(3) その他会議等への参加

期 日	会議名	場 所
5月13日	和歌山県人権相談ネットワーク協議会研修会	オンライン研修
5月24日	第13回丹後圏域成年後見制度利用促進に係る意見交換会	オンライン会議
6月2日	第2回成年後見専門職団体協議会	和歌山弁護士会館 (zoom 併用)
6月7日	都道府県・指定都市社協日常生活自立支援事業 ・成年後見制度担当部・課・所長会議	オンライン会議
6月17日	本人を中心にした権利擁護支援を考える研修会～ 第二期成年後見制度利用促進基本計画から学ぶ～	オンライン研修
7月13日	第4回関西圏域府県成年後見制度利用促進に係る 担当者情報交換会	オンライン会議
9月2日	第3回成年後見専門職団体協議会	和歌山弁護士会館 (zoom 併用)
9月7日	成年後見制度利用促進第3回都道府県ブロック別 交流会	オンライン会議
9月7日	成年後見制度利用促進にかかる市町村ヒアリング 岩出市	岩出市役所
10月18日	みなべ町	みなべ町役場
11月4日	かつらぎ町	かつらぎ町社協
11月29日	田辺市	田辺市民総合センター
11月30日	紀の川市	紀の川市役所
9月29日	近畿ブロック府県・指定都市社協日常生活自立支 援事業・成年後見制度担当者会議	オンライン会議
11月16日	日常生活自立支援事業専門員実践力研修会 I	オンライン研修 (オンデマンド受講)
12月5日	家事関係機関との連絡協議会	オンライン会議
12月7日	成年後見制度利用促進第6回都道府県ブロック別 交流会	オンライン会議
12月14日	第1回和歌山県成年後見制度利用促進協議会設置 にかかる準備会	和歌山県庁
1月11日	成年後見制度利用促進第7回都道府県ブロック別 交流会	オンライン会議
1月17日	新任民生委員・児童委員研修会 紀の川市、岩出市ブロック	プラザホープ
1月24日	有田市・有田郡ブロック	鮎茶屋
1月27日	新宮市・東牟婁郡ブロック	ホテル浦島
2月3日	橋本市・伊都郡ブロック	紀北青少年の家

2月17日	海南市・海草郡ブロック	プラザホープ
2月22日	御坊市・日高郡、田辺市・西牟婁郡ブロック	ビッグ・ユー
1月27日	第5回成年後見専門職団体協議会	オンライン会議
1月30日	第2回和歌山県成年後見制度利用促進協議会設置にかかると準備会	和歌山県庁
2月1日	成年後見制度利用促進第8回都道府県ブロック別交流会	オンライン会議
2月7日	第2回運営監視合議体	プラザホープ
2月10日	和歌山市成年後見制度利用促進会議	わかやま歴史館
2月20日	成年後見利用促進に係る関西圏域町村情報交流会	オンライン会議
3月1日	成年後見制度利用促進第9回都道府県ブロック別交流会	オンライン会議
3月2日	第3回和歌山県成年後見制度利用促進協議会設置にかかると準備会	和歌山県庁
3月17日	紀の川市権利擁護センター「架け橋」第2回地域連携委員会	紀の川市社協

表1 福祉サービス利用援助事業実施状況(令和4年度)

(単位：人)

社協名	令和4年度新規契約者数								事業開始からの累計					実利用者数
	高齢者	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計	左の内訳			高齢者	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計	
						一般	利用料全免	利用料半額除						
和歌山市	8	5	3	1	17	2	11	4	215	65	88	13	381	118
海南市	3	2	2	0	7	3	3	1	94	24	45	9	172	57
橋本市	2	0	1	0	3	2	0	1	42	4	4	1	51	11
有田市	4	1	0	0	5	0	4	1	67	16	23	4	110	32
御坊市	0	0	0	0	0	0	0	0	39	21	23	0	83	28
田辺市	11	6	0	0	17	6	7	4	164	50	53	5	272	102
新宮市	1	0	0	1	2	1	0	1	68	22	8	5	103	25
紀の川市	1	4	1	1	7	1	2	4	51	43	15	7	116	39
岩出市	2	0	1	0	3	0	1	2	17	11	11	5	44	15
紀美野町	0	0	0	0	0	0	0	0	34	6	32	3	75	20
かつらぎ町	3	0	1	0	4	2	0	2	36	7	10	2	55	28
九度山町	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	3	0	17	3
高野町	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	1
湯浅町	0	0	0	1	1	0	0	1	19	5	13	1	38	19
広川町	4	0	2	1	7	1	1	5	22	4	9	2	37	18
有田川町	2	3	3	0	8	1	2	5	94	14	42	6	156	32
美浜町	1	0	0	0	1	1	0	0	10	1	4	0	15	9
日高町	2	0	0	0	2	0	0	2	2	0	1	0	3	2
由良町	0	0	0	0	0	0	0	0	15	8	2	0	25	3
印南町	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	3	0	10	5
みなべ町	2	0	0	0	2	0	1	1	38	7	18	3	66	23
日高川町	1	0	0	1	2	1	1	0	9	4	3	1	17	6
白浜町	0	1	0	1	2	0	2	0	64	16	24	7	111	33
上富田町	1	2	1	0	4	0	1	3	12	13	9	2	36	15
すさみ町	3	1	1	0	5	0	1	4	30	6	10	1	47	14
那智勝浦町	2	1	0	0	3	1	1	1	33	13	7	0	53	10
太地町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	4	2
古座川町	2	0	0	0	2	1	0	1	8	1	3	0	12	7
北山村	1	0	0	0	1	0	0	1	9	0	0	0	9	3
串本町	6	0	0	0	6	1	3	2	80	16	24	4	124	28
合計	62	26	16	7	111	24	41	46	1,297	379	488	81	2,245	708
解約	68	13	18	4	103				1,050	158	279	50	1,537	
増減	▲6	13	▲2	3	8				247	221	209	31	708	

表2 福祉サービス利用援助事業実施状況(令和4年度)
(相談対象者件数)

社協名	令和4年度累計					合計
	高齢者	知的障がい者等	精神障がい者等	その他		
和歌山市	36	21	17	6		80
海南市	7	4	2	1		14
橋本市	12	2	2	1		17
有田市	6	4	2	1		13
御坊市	1	1	0	0		2
田辺市	19	6	2	0		27
新宮市	6	2	0	1		9
紀の川市	2	1	3	0		6
岩出市	1	0	0	0		1
紀美野町	1	0	1	0		2
かつらぎ町	1	0	0	0		1
九度山町	2	0	1	1		4
高野町	0	1	1	0		2
湯浅町	0	0	1	0		1
広川町	3	1	3	0		7
有田川町	8	5	6	0		19
美浜町	1	0	0	0		1
日高町	1	1	0	1		3
由良町	1	1	1	0		3
印南町	0	0	0	0		0
みなべ町	4	0	0	0		4
日高川町	1	0	2	0		3
白浜町	0	1	0	0		1
上富田町	1	2	0	0		3
すさみ町	4	0	1	0		5
那智勝浦町	16	4	0	2		22
太地町	0	0	0	0		0
古座川町	2	0	0	0		2
北山村	2	0	0	0		2
串本町	5	0	0	0		5
合計	143	57	45	14		259

表3 福祉サービス利用援助事業実施状況(令和4年度)
(相談内容別件数)

社 協 名	令和4年度累計											合計
	サービス 利用 手続	手続 援助	金銭 管理	書類等 預かり	保健 手続き	医療	苦情	生活 設計	本事業 問合せ	成年 後見	その他	
和歌山市	65	67	82	61	0	0	0	1	2	1	1	280
海南市	4	2	13	3	0	0	0	1	4	0	0	27
橋本市	2	7	18	15	0	1	0	12	17	5	0	77
有田市	8	12	13	11	0	0	0	0	1	0	0	45
御坊市	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	8
田辺市	2	6	26	20	0	0	0	10	15	3	0	82
新宮市	1	1	6	1	0	0	0	0	6	0	0	15
紀の川市	4	6	6	3	0	0	0	3	3	3	0	28
岩出市	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
紀美野町	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4
かつらぎ町	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	8
九度山町	0	0	2	1	0	0	0	2	4	1	0	10
高野町	0	1	2	1	0	0	0	2	1	0	0	7
湯浅町	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	5
広川町	6	6	7	6	0	0	0	1	0	0	0	26
有田川町	11	13	19	11	0	0	0	7	0	0	0	61
美浜町	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
日高町	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4
由良町	0	1	3	1	0	0	0	1	2	0	0	8
印南町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなべ町	3	3	4	3	0	0	0	2	4	0	0	19
日高川町	3	3	4	3	1	0	0	0	0	0	0	14
白浜町	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
上富田町	1	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	6
すさみ町	1	1	5	2	0	1	0	2	0	0	0	12
那智勝浦町	1	1	19	6	0	0	0	1	14	1	0	43
太地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古座川町	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	8
北山村	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
串本町	2	4	5	1	0	0	0	4	4	0	0	20
合 計	124	143	251	157	2	3	0	51	81	14	1	827

《地域福祉部・生活資金班・生活福祉資金等貸付事業関係》

1 特例貸付借受世帯等に対する生活支援及び適正な債権管理

(1) 特例貸付の実施

① 特例貸付の実施

令和2年3月25日から申請受付を開始、当初は令和2年7月末までの受付期間であったが、受付期間の延長が繰り返され、令和4年9月末をもって終了した。

なお、延長貸付は令和3年6月末、再貸付は令和3年12月末で受付終了。

ア 特例貸付状況（令和2年3月25日～令和5年3月31日）（詳細は表2-2）

	緊急小口資金	総合支援資金			合計	
		初回	延長	再貸付		
件数	11,150件	20,893件	10,388件	4,991件	5,514件	32,043件
R1年度	19件	3件	3件	-	-	22件
R2年度	7,029件	11,385件	6,501件	3,616件	1,268件	18,414件
R3年度	3,304件	8,733件	3,170件	1,317件	4,246件	12,037件
R4年度	798件	772件	772件	-	-	1,570件
金額	2,021,961,000円	10,985,028,500円	5,489,186,500円	2,596,395,000円	2,899,447,000円	13,006,989,500円
R1年度	2,550,000円	1,650,000円	1,650,000円	-	-	4,200,000円
R2年度	1,259,599,000円	5,958,676,500円	3,428,556,500円	1,875,865,000円	654,255,000円	7,218,275,500円
R3年度	607,742,000円	4,615,062,000円	1,677,980,000円	691,890,000円	2,245,192,000円	5,222,804,000円
R4年度	152,070,000円	409,640,000円	409,640,000円	-	-	561,710,000円

(2) 生活支援を含む適正な債権管理の実施

① 償還免除手続きの実施

借受人に対して償還免除手続きの案内を行い、市町村社協を通じて免除申請を受け付け、審査の結果を借受人に対して通知した。

ア 償還免除の状況（詳細は表2-3）

免除案内発送件数 ①	免除決定件数（※） ②	決定割合 ①に占める②の割合
19,548件	10,012件	51.2%

（※）任意免除（死亡、自己破産等）を含む

② 償還開始手続きの実施

償還免除とならなかった借受人に対して償還開始のお知らせを通知した。

（緊急小口資金 5,306件、総合支援資金 4,983件）

③ 償還開始後の償還指導

借受人からの申し出により、市町村社協を通じて猶予申請を受け付け、審査の結果を借受人に対して通知した。

ア 償還猶予決定状況

緊急小口資金	総合支援資金	合計
208件	197件	405件

④ 主な経過

期 日	内 容
4月26日	受付期間を6月末から8月末まで延長との通知（厚生労働省社会・援護局長通知）が発出され、これに対応した。
5月27日	償還免除手続きについて、本会から該当借受人に周知した。
8月9日	受付期間を8月末から9月末まで延長との通知（厚生労働省社会・援護局長通知）が発出され、これに対応した。

9月9日	受付期間が9月末で終了することの確認及び10月以降の生活困窮者支援の重層的実施及び特例貸付借受人への適切な対応にかかる事務連絡が厚生労働省から発出され、これに対応した。
10月21日	「償還開始のお知らせ」を本会から該当借受人に送付した。
10月28日	特例貸付借受人へのフォローアップ支援にかかる事務連絡が厚生労働省から発出され、償還猶予の考え方が示されたため、これに対応した。
令和5年 1月	緊急小口資金及び総合支援資金（初回）の償還計画が開始。

⑤ 会議への参加

期 日	場 所	内 容
4月21日	オンライン	「緊急小口資金等特例貸付に関する都道府県社協 常務理事・事務局長会議」に2名が参加した。
6月3日	オンライン	「都道府県社協生活福祉資金担当部・課・所長会議」に2名が参加した。
7月7～8日	東京都	全国生活福祉資金貸付事業担当職員研修会に1名が参加した。
7月22日	オンライン	「第1回近畿ブロック府県社協生活福祉資金担当部課長会議」に2名が参加した。
8月5日	オンライン	「緊急小口資金等特例貸付に関する都道府県社協 常務理事・事務局長会議」に1名が参加した。
9月7日	オンライン	「緊急小口資金等特例貸付に関する緊急会議」に3名が参加した。
9月16日	オンライン	「緊急小口資金等特例貸付に関する都道府県社協 常務理事・事務局長会議」に2名が参加した。
9月21日	オンライン	「都道府県社協生活福祉資金担当部・課・所長会議（9月臨時）」に1名が参加した。
9月30日	オンライン	「第2回近畿ブロック府県社協生活福祉資金担当部課長会議」に2名が参加した。
10月27日	オンライン	「第3回近畿ブロック生活福祉資金担当部課所長会議（臨時）」に2名が参加した。
11月9日	オンライン	「都道府県社協生活福祉資金担当部・課・所長会議（11月臨時）」に2名が参加した。
11月16日	オンライン	「都道府県社協生活福祉資金担当部・課・所長会議（11月臨時）償還猶予に関する説明」に2名が参加した。
11月25日	オンライン	「第4回近畿ブロック府県社協生活福祉資金担当部課長会議」に2名が参加した。
1月27日	オンライン	「第5回近畿ブロック府県社協生活福祉資金担当部課長会議」に2名が参加した。
3月27日	オンライン	「第6回近畿ブロック府県社協生活福祉資金担当部課長会議」に2名が参加した。

⑥ その他

生活福祉資金アセスメントシートシステムの開発、運用を開始した。

2 生活福祉資金等貸付事業の効果的な運営（適正な貸付け・債権管理）

平成20年度第1回理事会（平成20年5月29日）で確認した次の方針による取組を継続して

いるが、新型コロナウイルス感染症にかかる特例貸付に追われた1年であった。

(1) 貸付段階	(2) 償還指導	(3) 不良債権
貸付のみでなく、他の支援施策検討等、相談支援を行う。	声掛け、償還方法変更を含む償還強化。状況に応じ法的措置も実施。	不良債権を個々に精査交渉し、その整理を実施する。

(1) 貸付段階

① 貸付審査等運営委員会

生活福祉資金貸付審査等運営委員会（以下、「運営委員会」という。）（委員11名）を設置した。運営委員会は貸付の決定等に関する審査を行い、本会会長に意見具申した。開催状況は、表1のとおり。

② 貸付申込みの審査

会長専決を含め、貸付決定は、表2-1のとおり1,653件（615,460,301円）。
うち、通常83件（53,750,301円）
特例1,570件（561,710,000円）

③ 窓口対応にかかる市町村社協及び民生委員の支援

ア 相談窓口である市町村社協への支援

a 生活福祉資金貸付事業担当者会議の開催

	期 日	場 所	参加者数	内 容
第1回	5月17日	オンライン	50人	<ul style="list-style-type: none"> ・特例貸付の決定状況 ・償還の概要 ・償還免除の概要 ・本県の償還手続きの考え方と方法 ・具体的な免除申請手順等について
第2回	10月19日	オンライン	44人	<ul style="list-style-type: none"> ・特例貸付の今後の流れの確認等 ・生活福祉資金 本則貸付等について ・生活福祉資金貸付事業予算の動向について

b 生活福祉資金貸付事業担当者研修会の開催

期 日	場 所	参加者数	内 容
11月29日	和歌山市	19人	<ul style="list-style-type: none"> ・社協が生活福祉資金を実施する意義 ・相談支援の取組発表・協議 ・特例貸付における償還支援
12月1日	田辺市	24人	

c 生活福祉資金アセスメントシートシステム操作説明会の開催

	期 日	場 所	参加者数	内 容
第1回	12月20日	オンライン	26人	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの導入にあたって ・システム導入までの流れ ・システムの操作説明 ・質疑応答
第2回	12月22日	オンライン	19人	

d 「有田地方社協連絡協議会総務部会職員研修」への派遣

期 日	場 所	参加者数	内 容
5月23日	湯浅町	12人	・特例貸付償還免除についての説明、意見交換

e 「新宮・東牟婁社協職員連絡協議会総会」への派遣

期 日	場 所	参加者数	内 容
8月5日	太地町	9人	・特例貸付償還免除についての説明、意見交換

f 「生活福祉資金貸付事業研修（田辺市社協職員研修）」への派遣

期 日	場 所	参加者数	内 容
11月2日	田辺市	22人	・生活福祉資金貸付事業概要等についての説明

イ 民生委員定例会等への派遣

期 日	場 所	内 容
1月17日	和歌山市	「新任民生委員・児童委員研修会（紀の川市・岩出市ブロック）」で制度の概要を説明
1月19日	和歌山市	「新任民生委員・児童委員研修会（和歌山市ブロック）」で制度の概要を説明
1月24日	有田市	「新任民生委員・児童委員研修会（有田市・有田郡ブロック）」で制度の概要を説明
1月27日	那智勝浦町	「新任民生委員・児童委員研修会（新宮市・東牟婁郡ブロック）」で制度の概要を説明
2月3日	かつらぎ町	「新任民生委員・児童委員研修会（橋本市・伊都郡ブロック）」で制度の概要を説明
2月17日	和歌山市	「新任民生委員・児童委員研修会（海南市・海草郡ブロック）」で制度の概要を説明
2月22日	田辺市	「新任民生委員・児童委員研修会（御坊市・日高郡・田辺市・西牟婁郡ブロック）」で制度の概要を説明

ウ 窓口対応の相談にかかる市町村社協及び民生委員支援
パンフレットを改訂し、市町村社協等に対して配布した。

④ 住民及び関係機関への貸付事業周知・広報

ア 広報誌への掲載

新コーナー（not alone）を創設。また特例貸付を切り口にコロナ禍における生活課題への取組について特集記事を掲載した。

イ リーフレットの配布

教育支援資金のチラシを作成し、県内の中学校、高校等へ配布した。

⑤ 関係機関との連携（3回）

ア 会議等への参加

期 日	場 所	内 容
8月8日	オンライン	「令和4年度第1回和歌山県居住支援協議会」に参加
3月	—	「和歌山県居住支援協議会総会」に書面総会で参加
3月9日	オンライン	「第6回和歌山就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム会議」で情報交換

イ 支援金支給事務への協力

県振興局及び市福祉事務所からの依頼に基づき、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給事務を行うため、緊急小口資金及び総合支援資金にかかる債務者情報を12月まで毎月提供した。

(2) 償還指導

① 借受世帯の自立支援

ア 民生委員との連携

借受世帯の担当民生委員の「借受世帯支援記録票」の整備状況を取りまとめ、全国社会

福祉協議会に報告した。

イ 滞納初期段階での状況確認

借受世帯の償還指導及び支援に活用するため、市町村社会福祉協議会に償還月次報告書等の帳票を送付した。

② 生活福祉資金債務世帯等の自立支援の強化の実施

令和2年度から継続して「生活福祉資金債務世帯等の自立支援の強化」を実施し、債務者等に対する相談支援の強化を行い、債務者等の生活の安定を目指し、ひいては、償還履行者率の向上を図ることを目的として、和歌山市社会福祉協議会、田辺市社会福祉協議会へ委託し実施した。

(3) 不良債権への対応

① 償還督促等の実施

ア 督促状の送付

償還計画から1か月以上または1回以上滞納している借受人、連帯借受人、連帯保証人等に、督促状（6月、12月の年2回）を送付した。

イ 滞納世帯への個別調査等の強化

計画に基づく償還がなかった借受世帯について、市町村社協に対し償還督促等を依頼し、その状況について、「償還督促状況連絡票」による報告を求めた。

ウ 個別督促の実施等

債務者や取扱い市町村社協、担当民生委員から償還についての相談を随時受け付け、督促等の個別協議、同行支援を行った。また、必要に応じ、就労支援、福祉サービス利用支援等を行った。

国会独自の指標として「e 償還履行者率」を設け、生活状況に応じた返済を促した。

※償還履行者率：償還対象件数に対して、金額に関係なく償還された件数の割合（不動産担保型生活資金除く）。

- a 県社協が現地に出向いての償還督促(生活支援)件数：6件
- b 債務確認件数：43件
- c 償還相談：1,359件
- d 通常貸付の償還完了(償還免除を含む)：92件
- e 償還履行者率：61%

エ 転居先追跡（住民票調査等）

届出なく転居された行方不明者について、当該市町村への住民票等の請求を行い、転居先の追跡を行った（計181件）。

オ 自己破産・免責手続等への対応

弁護士等からの債権調査への回答を行った（計128人分、329件）。

② 精査交渉を重ねたうえで、次の不良債権を運営委員会に諮り整理した（延滞利子のみの支払減免は、会長専決のうえ運営委員会に報告）。

	件数	金額
① 元金（及び利子）の支払免除	16	9,825,758円（元金）
② 延滞利子のみの支払減免	11	7,593,265円（延滞利子）

③ 不動産担保型生活資金の償還滞納債権への対応

- ・弁護士へ委任し競売を実施したうえで残額の免除決定を行った（2件）。

(4) その他

① 生活福祉資金業務システム運営委員会幹事への就任

生活福祉資金業務システム運営委員会幹事へ就任（任期2年）し、幹事会に出席した。

期 日	場 所	内 容
6月28日	オンライン	第1回生活福祉資金業務システム運営委員会幹事会
7月29日	オンライン	第2回生活福祉資金業務システム運営委員会幹事会
1月27日	オンライン	第3回生活福祉資金業務システム運営委員会幹事会
3月22日	オンライン	第4回生活福祉資金業務システム運営委員会幹事会

② 会議等への参加

期 日	場 所	内 容
7月21日	オンライン	「市区町村社協連携システム機能説明会」に1名が参加した。
7月21日	オンライン	「コンビニ収納対応合同説明会」に2名が参加した。
11月29日	オンライン	「任意免除等に関する説明会」に2名が参加した。
1月27日	オンライン	「生活福祉資金市区町村社協連携システム説明会」に1名が参加した。
3月15日	東京都	「生活福祉資金業務システム運営委員会」に1名が参加した。
3月15～16日	東京都	「全国生活福祉資金貸付事業運営研究協議会」に1名が参加した。
3月17日	オンライン	「市区町村社協連携システム導入等説明会」に1名が参加した。

③ 生活福祉資金貸付事業実施要領の見直し

ア 第2条第1項第6号及び7号に特例貸付にかかる通知等を追加したことに伴い、第3条3項3号に規定する償還金の支払免除及び延滞利子の免除等に関する取扱いについて、改訂した。

イ 第3条第3項第3号に規定する運営委員会の意見を聴かないで支払猶予の決定ができる資金について、福祉資金福祉費の取扱いを改訂した。

ウ 第4条第2項第3号に規定する貸付対象外の世帯について、取扱いを改訂した。

3 臨時特例つなぎ資金貸付制度の運用

新規の貸付の申請はなく、債権管理を行った（詳細は別表13～15）。

（備考）国の臨時特例つなぎ資金貸付制度要綱に基づき、住居のない離職者に対し、公的給付または公的貸付の交付を受けるまでの当面の生活費を貸し付けることにより、自立を支援する生活福祉資金貸付事業とは枠外の事業として、平成21年10月から実施している。

《地域福祉部・生活資金班・福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業関係》

1 福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の広報啓発及び適正な貸付の実施

(1) 介護福祉士修学資金等貸付事業

返還免除付きの貸付を行うことで、介護人材の確保を図った。また、ホームページ、広報紙（福祉わかやま）への掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

① 介護福祉士修学資金

ア 貸付対象等

介護福祉士養成施設に在学する方に、修学資金、入学準備金及び就職準備金等を貸し付ける（免除要件：5年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

①第1次募集 令和4年1月13日から4月8日まで（令和4年度入学予定者対象）

②第2次募集 令和4年6月20日から7月20日まで（新型コロナウイルス感染症の影響で第1次募集に応募できなかった者対象）

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
①介護福祉士修学資金 (令和4年度入学予定者)	修学資金	52	62,400,000
	入学準備金	52	10,400,000
	就職準備金	52	10,400,000
	国家試験対策費	52	4,160,000
	生活費加算	1	828,240
②介護福祉士修学資金 (新型コロナウイルス感染症の影響で第1次募集に応募できなかった者対象)	修学資金	2	2,400,000
	入学準備金	2	400,000
	就職準備金	2	400,000
	国家試験対策費	2	160,000
	生活費加算	0	0
合計		54	91,548,240

※「件数」の合計は、人数

② 福祉系高校修学資金

ア 貸付対象等

福祉系高校に在学する方に、修学準備金及び就職準備金等を貸し付ける（免除要件：3年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

令和4年4月11日から5月20日まで（令和4年度在学者対象）

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
福祉系高校修学資金	修学準備金	3	90,000
	介護実習費	3	270,000
	国家試験対策費	3	360,000
	就職準備金	3	600,000
合計		3	1,320,000

※「件数」の合計は、人数

③ 福祉系高校修学資金返還充当資金

ア 貸付対象等

福祉系高校修学資金の借受人が、卒業後に県内において障害福祉分野等の業務に従事した場合、福祉系高校修学資金返還のための充当資金として貸し付ける。（免除要件：3年間障害福祉等の業務に従事すること）。

イ 貸付決定 0件

④ 介護福祉士実務者研修受講資金

ア 貸付対象等

介護福祉士実務者養成施設に在学する方に、実務者研修受講資金を貸し付ける（免除要件：2年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

- ・第1期 令和4年4月26日から5月31日まで
- ・第2期 令和4年7月1日から8月31日まで
- ・第3期 令和4年10月3日から11月30日まで
- ・第4期 令和5年1月4日から2月28日まで

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
介護福祉士実務者研修受講資金	第1期	17	2,834,286
	第2期	67	12,005,313
	第3期	35	6,096,800
	第4期	3	428,272
計		122	21,364,671

⑤ 介護人材再就職準備金

ア 貸付対象等

離職している介護人材のうち一定の経験を有する方に、再就職のための準備金を貸し付ける（免除要件：2年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

令和4年4月26日から令和5年3月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
介護人材再就職準備金	13	5,200,000

⑥ 介護分野就職支援金

ア 貸付対象等

他の業種で働いていた方等が、介護職員初任者研修等を修了し、県内の介護施設・事業所に就職する際の費用を貸し付ける（免除要件：2年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

令和4年4月26日から令和5年3月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
介護分野就職支援金	12	2,400,000

⑦ 障害福祉分野就職支援金

ア 貸付対象等

他の業種で働いていた方等が、介護職員初任者研修等を修了し、県内の障害福祉サービスの業務に従事する際の費用を貸し付ける（免除要件：2年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

令和4年4月26日から令和5年3月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
障害福祉分野就職支援金	4	800,000

⑧ 社会福祉士修学資金

ア 貸付対象等

社会福祉士養成施設に在学する方に、修学資金、入学準備金、就職準備金及び生活費加算を貸し付ける（免除要件：5年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

- ①第1次募集 令和4年1月13日から4月8日まで（令和4年度入学予定者対象）
- ②第2次募集 令和4年6月20日から7月20日まで（新型コロナウイルス感染症の影響で第1次募集に応募できなかった者対象）

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
①社会福祉士修学資金 （令和4年度入学予定者）	修学資金	2	925,200
	入学準備金	2	160,000
	就職準備金	0	0
	生活費加算	1	659,700
②社会福祉士修学資金（新型コロナウイルス感染症の影響で第1次募集に応募できなかった者対象）		0	0
合計		2	1,744,900

※「件数」の合計は、人数

(2) 保育士修学資金貸付等事業

返還免除付きの貸付を行うことで、保育人材の確保を図った。また、ホームページへの掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

① 保育士修学資金

ア 貸付対象等

保育士養成施設に在学する方に、修学資金、入学準備金及び就職準備金等を貸し付ける（免除要件：5年間保育士として業務に従事すること）。

イ 募集

令和4年5月25日から7月20日まで（令和4年度在学者対象）

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
保育士修学資金	修学資金	52	61,253,952
	入学準備金	45	9,000,000
	就職準備金	50	9,900,000
	生活費加算	0	0
合計		52	80,153,952

※「件数」の合計は、人数

② 保育補助者雇上費貸付

ア 貸付対象等

保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に、保育士資格を持たない保育補助者の雇上げ費用を貸し付ける（免除要件：貸付期間中に保育士資格を取得すること）。

イ 募集

令和4年5月25日から令和5年3月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
保育補助者雇上費貸付	1	6,644,016

③ 未就学児を持つ保育士に対する保育料一部貸付

ア 貸付対象等

未就学児を持つ潜在保育士で、新たに保育所等に勤務する方に、子どもの保育料の一部を貸し付ける（免除要件：2年間保育士として業務に従事すること）。

イ 募集

令和4年5月25日から令和5年3月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
未就学児を持つ保育士に対する保育料一部貸付	15	2,914,430

④ 保育士就職準備金

ア 貸付対象等

新たに保育所等に勤務する方に、就職のための準備金を貸し付ける（免除要件：2年間保育士として業務に従事すること）。

イ 募集

令和4年5月25日から令和5年3月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
保育士就職準備金	8	3,100,000

⑤ 未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金一部貸付

ア 貸付対象等

未就学児を持つ潜在保育士が、保育所等で勤務する際の子どもの預かり支援事業利用料金の一部を貸し付ける（免除要件：2年間保育士として業務に従事すること）。

イ 募集

令和4年5月25日から令和5年3月31日まで

ウ 貸付決定 0件

(3) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

高等職業訓練機関在学者に入学準備金及び就職準備金の返還免除付き貸付を行うことで、ひとり親家庭の親の自立促進を図った。また、ホームページへの掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

① ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

ア 貸付対象等

ひとり親家庭の親で、高等職業訓練促進給付金の支給対象である方に、高等職業訓練機関への入学に要する費用及び取得した資格を活かした就職に要する費用を貸し付ける（免除要件：5年間資格を活かした職に従事すること）。

イ 募集

令和4年5月2日から5月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）	
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	入学準備金	7	2,825,092
	就職準備金	1	200,000
合計	8	3,025,092	

② ひとり親家庭住宅支援資金

ア 貸付対象等

原則、児童扶養手当の支給を受けており、母子・父子自立支援プログラムの策定を受け、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の方の家賃支援として貸し付ける（免除要

件：貸付を受けた日から1年以内に就職、転職等して1年間就業を継続すること）。

イ 募集

令和4年6月1日から令和5年3月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
ひとり親家庭住宅支援資金	2	811,200

(4) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

児童養護施設退所者等に生活費、家賃支援費及び資格取得費用の返還免除付き貸付を行うことで、円滑な自立支援を図った。また、ホームページへの掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

① 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金

ア 貸付対象等

- ・ 大学等への進学により児童養護施設等を退所した方で、安定した生活基盤の確保が困難である方（以下「進学者」という。）に、家賃相当額及び生活費を貸し付ける。（免除要件：5年間就業を継続すること）
- ・ 就職により児童養護施設等を退所した方で、安定した生活基盤の確保が困難である方（以下「就職者」という。）に、家賃相当額及び生活費（生活費は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける者のみ）を貸し付ける。（免除要件：5年間就業を継続すること）
- ・ 児童養護施設等入所者で、就職に必要な資格取得を希望する方（以下「資格取得希望者」という。）に、資格取得費用を貸し付ける。（免除要件：2年間就業を継続すること）

イ 募集

対 象	募集期限
進学者、就職者	3月22日
資格取得希望者	3月22日

ウ 貸付決定

資金種類			件数	金額（円）
児童養護施設退所者等に対する自立支援資金	進学者	生活支援費	5	10,104,000
		家賃支援費	5	6,926,400
		小計	6	17,030,400
	就職者	家賃支援費	0	0
		小計	0	0
	資格取得希望者			6
合計			12	18,530,400

※「件数」の合計は、人数

2 福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の適正な債権管理の実施

借受人からの申請に基づき、返還免除及び返還手続きを行った。

(1) 介護福祉士修学資金等貸付事業

	免除決定				返還完了 件数
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	
ア 介護福祉士修学資金	2件	3,280,000円	-	-	5件
イ 福祉系高校修学資金	-	-	-	-	1件
ウ 福祉系高校修学資金返還充当資金	-	-	-	-	-

エ 介護福祉士実務者研修受講資金	56件	8,882,112円	-	-	11件
オ 介護人材再就職準備金	8件	3,160,000円	-	-	1件
カ 介護分野就職支援金	-	-	-	-	-
キ 障害福祉分野就職支援金	-	-	-	-	2件
ク 社会福祉士修学資金	-	-	-	-	1件

(2) 保育士修学資金貸付等事業

	免除決定				返還 完了
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	件数
ア 保育士修学資金	13件	15,094,000円	-	-	9件
イ 保育補助者雇上費貸付	1件	2,880,000円	-	-	-
ウ 未就学児を持つ保育士に対する保育料一部貸付	1件	243,000円	-	-	-
エ 保育士就職準備金	1件	400,000円	-	-	-
オ 未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用 料金一部貸付	-	-	-	-	-

(3) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

	免除決定				返還 完了
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	件数
ア ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	2件	255,080円	-	-	2件
イ ひとり親家庭住宅支援資金	-	-	-	-	-

(4) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

	免除決定				返還 完了
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	件数
児童養護施設退所者等に対する 自立支援資金貸付事業	6件	2,004,320円	-	-	1件

3 運営委員会の開催

それぞれの貸付事業に運営委員会（委員各5名）を設置した。運営委員会は貸付の決定等に関する審査を行い、本会会長に意見具申した。各運営委員会及び開催状況は、次のとおり。

(1) 介護福祉士修学資金等貸付事業運営委員会

回数	開催日	貸付件数		免除件数		議 題
		申込	決定	申込	決定	
1	6月 (書面表決)	54	54	20	20	・介護福祉士修学資金等貸付について（審査） （介護福祉士修学資金、社会福祉士修学資金） ・貸付金の返還免除について（審査）
2	7月 (書面表決)	3	3	21	21	・介護福祉士修学資金等貸付について（審査） （福祉系高校修学資金） ・貸付金の返還免除について（審査）
3	8月 (書面表決)	2	2	12	12	・介護福祉士修学資金等貸付について（審査） （2次募集介護福祉士修学資金、社会福祉士修学資金） ・貸付金の返還免除について（審査）
4	3月 (書面表決)	0	0	13	13	・貸付金の返還免除について（審査）

(2) 保育士修学資金等貸付事業運営委員会

回数	開催日	貸付件数		免除件数		議 題
		申込	決定	申込	決定	
1	9月 (書面表決)	52	52	14	14	・保育士修学資金貸付について(審査) ・貸付金の返還免除について(審査)
2	3月 (書面表決)	0	0	2	2	・貸付金の返還免除について(審査)

(3) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業運営委員会

(開催なし)

(4) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業運営委員会

回数	開催日	貸付件数		貸付額変更件数		免除件数		議 題
		申込	決定	申込	決定	申込	決定	
1	5月 (書面表決)	2	2	0	0	0	0	・児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付について(審査)
2	9月 (書面表決)	1	1	0	0	4	4	・児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付について(審査) ・貸付金の返還免除について(審査)
3	3月 (書面表決)	3	3	0	0	2	2	・児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付について(審査) ・貸付金の返還免除について(審査)

4 その他

(1) 会議への参加

期 日	場 所	内 容
3月15日	東京都	「新たな貸付事業担当職員連絡会議」に1名が参加した。

(2) 広報活動

期 日	場 所	内 容
5月25日	仙溪学園	本会から2名が訪問し、児童養護施設退所者等への自立支援資金貸付事業の制度説明を行った。
9月6日	県里親会 会長宅	本会から3名が訪問し、児童養護施設退所者等への自立支援資金貸付事業の制度説明を行った。
10月13日	ビッグ愛	「潜在保育士再就職支援研修会」に1名が参加し保育士修学資金貸付等事業の周知を行った。
2月14日	ビッグ愛	「潜在介護職員再就職研修会」に1名が参加し、介護福祉士修学資金等貸付事業の周知を行った。

表1 生活福祉資金貸付審査等運営委員会

回数	開催日	貸付件数		下期生 再評価件 数	償還免除 件数		延滞利子 免除件数		償還猶予 件数		議 題
		申込	決定		申込	決定	申込	決定	申込	決定	
1	令和4年4月13日	0	0	0	2	2	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金貸付決定件数・金額等について 生活福祉資金貸付金償還免除審査について（審査） 生活福祉資金貸付事業実施要領の改正について 生活福祉資金貸付金の精査・交渉状況について 生活福祉資金特例貸付実施状況について 相談状況について
2	令和4年8月19日	0	0	1	0	0	0	0	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金貸付決定件数・金額等について 生活福祉資金貸付について（審査・報告） 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 再評価 生活福祉資金貸付金 償還猶予審査について（審査） 生活福祉資金貸付金の精査・交渉状況について 生活福祉資金特例貸付実施状況について 相談状況について
3	令和4年10月14日	0	0	0	3	3	0	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金貸付決定件数・金額等について 生活福祉資金貸付金償還免除審査について（審査） 生活福祉資金貸付金 償還猶予審査について（審査） 生活福祉資金貸付事業実施要領の改正について 生活福祉資金貸付金の精査・交渉状況について 生活福祉資金特例貸付実施状況について 相談状況について
4	令和4年12月16日	1	1	0	1	1	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金貸付決定件数・金額等について 生活福祉資金貸付について（審査） 要保護世帯向け不動産担保型生活資金償還免除審査について（審査） 生活福祉資金貸付金の精査・交渉状況について 生活福祉資金特例貸付実施状況について 相談状況について
5	令和5年3月17日	0	0	0	12	12	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 副委員長の選任について 小委員会委員の選任について 生活福祉資金貸付決定件数・金額等について 生活福祉資金貸付金償還免除審査について（審査） 要保護世帯向け不動産担保型生活資金償還免除審査について（審査） 生活福祉資金貸付金の精査・交渉状況について 生活福祉資金特例貸付実施状況について 相談状況について
合計		1	1	1	18	18	0	0	4	4	

※会長専決で決定を行ったものを除く。

表2-1 令和4年度 生活福祉資金貸付決定件数・金額

資金名 市町村	総合支援資金						福祉資金				教育支援資金		不動産担保型生活資金		合計												
	生活支援費 (コロナ特例)		住宅入居費		一時生活再建費		福祉費		緊急小口資金 (コロナ特例)		教育支援費	就学支度費	不動産担保型 生活資金	要保護世帯向け不 動産担保型生活資 金	合計		コロナ特例除く		コロナ特例								
	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)						
和歌山市	2	369,100	349	185,500,000	0	0	0	16	1,876,959	1	100,000	362	71,030,000	5	8,812,800	4	1,576,600	0	0	0	739	269,265,459	28	12,735,459	711	256,530,000	
海南市	0	0	8	4,200,000	0	0	0	3	225,030	0	0	12	2,350,000	0	0	0	0	0	0	0	23	6,775,030	3	225,030	20	6,550,000	
橋本市	1	474,000	37	20,200,000	0	0	0	1	110,000	0	0	43	7,920,000	0	0	0	0	0	0	0	82	28,704,000	2	584,000	80	28,120,000	
有田市	1	400,000	15	8,400,000	0	0	0	0	0	1	97,400	16	3,200,000	1	2,307,600	1	500,000	0	0	0	35	14,905,000	4	3,305,000	31	11,600,000	
御坊市	0	0	22	11,940,000	0	0	0	1	277,480	0	0	24	4,600,000	2	6,289,500	1	250,000	0	0	0	50	23,356,980	4	6,816,980	46	16,540,000	
田辺市	7	1,826,500	97	51,900,000	0	0	1	229,325	3	1,819,850	2	165,500	94	18,170,000	2	3,704,000	0	0	0	0	206	77,815,175	15	7,745,175	191	70,070,000	
新宮市	0	0	24	11,400,000	0	0	0	1	1,000,000	0	0	30	5,360,000	1	1,440,000	1	500,000	0	0	0	57	19,700,000	3	2,940,000	54	16,760,000	
紀の川市	0	0	41	22,350,000	0	0	0	3	588,692	0	0	43	7,800,000	0	0	0	0	0	0	0	87	30,738,692	3	588,692	84	30,150,000	
岩出市	2	540,000	83	44,400,000	0	0	0	1	1,120,000	0	0	65	12,750,000	3	6,324,000	4	1,747,000	0	0	0	158	66,881,000	10	9,731,000	148	57,150,000	
紀美野町	0	0	4	2,100,000	0	0	0	0	0	0	0	5	1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	9	3,100,000	0	0	9	3,100,000	
かつらぎ町	0	0	5	2,550,000	0	0	0	0	0	0	0	9	1,800,000	0	0	0	0	0	0	0	14	4,350,000	0	0	14	4,350,000	
九度山町	0	0	3	1,200,000	0	0	0	0	0	0	0	3	400,000	0	0	0	0	0	0	0	6	1,600,000	0	0	6	1,600,000	
高野町	0	0	1	600,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	720,000	1	500,000	0	0	0	3	1,820,000	2	1,220,000	1	600,000	
湯浅町	0	0	2	1,200,000	0	0	0	0	0	0	0	7	1,150,000	1	2,350,000	0	0	0	0	0	10	4,700,000	1	2,350,000	9	2,350,000	
広川町	0	0	7	3,600,000	0	0	0	0	0	0	0	7	1,400,000	0	0	0	0	0	0	0	14	5,000,000	0	0	14	5,000,000	
有田川町	0	0	9	4,350,000	0	0	0	0	0	1	66,000	10	1,300,000	0	0	0	0	0	0	0	20	5,716,000	1	66,000	19	5,650,000	
美浜町	0	0	2	1,050,000	0	0	0	0	0	0	0	4	600,000	0	0	0	0	0	0	0	6	1,650,000	0	0	6	1,650,000	
日高町	0	0	4	2,100,000	0	0	0	0	0	0	0	1	200,000	0	0	0	0	0	0	0	5	2,300,000	0	0	5	2,300,000	
由良町	0	0	1	600,000	0	0	0	0	0	0	0	2	400,000	0	0	0	0	0	0	0	3	1,000,000	0	0	3	1,000,000	
印南町	0	0	2	1,200,000	0	0	0	0	0	0	0	2	300,000	0	0	0	0	0	0	0	4	1,500,000	0	0	4	1,500,000	
みなべ町	1	384,000	8	3,850,000	0	0	0	1	2,467,000	0	0	9	1,600,000	0	0	0	0	0	0	0	19	8,301,000	2	2,851,000	17	5,450,000	
日高川町	1	300,000	5	2,700,000	0	0	0	0	0	0	0	6	1,200,000	0	0	0	0	0	0	0	12	4,200,000	1	300,000	11	3,900,000	
白浜町	0	0	14	6,750,000	0	0	1	519,165	0	0	0	15	1,990,000	0	0	0	0	0	0	0	30	9,259,165	1	519,165	29	8,740,000	
上富田町	0	0	7	3,900,000	0	0	0	0	0	0	0	4	800,000	0	0	0	0	0	0	0	11	4,700,000	0	0	11	4,700,000	
すさみ町	0	0	4	2,250,000	0	0	0	0	0	0	0	4	800,000	1	1,440,000	1	300,000	0	0	0	10	4,790,000	2	1,740,000	8	3,050,000	
那智勝浦町	0	0	12	6,200,000	0	0	0	0	0	1	32,800	12	2,150,000	0	0	0	0	0	0	0	25	8,382,800	1	32,800	24	8,350,000	
太地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古座川町	0	0	2	1,050,000	0	0	0	0	0	0	0	5	1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	7	2,050,000	0	0	7	2,050,000	
北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
串本町	0	0	4	2,100,000	0	0	0	0	0	0	0	4	800,000	0	0	0	0	0	0	0	8	2,900,000	0	0	8	2,900,000	
県計	15	4,293,600	772	409,640,000	0	0	2	748,490	30	9,485,011	6	461,700	798	152,070,000	17	33,387,900	13	5,373,600	0	0	0	1,653	615,460,301	83	53,750,301	1,570	561,710,000

表2-2 生活福祉資金(コロナ特例貸付)決定状況

2020年3月25日～2023年3月31日

社協名	資金種類											内訳				
	全体の件数			市町村社協以外			全体の金額					KA 緊急小口資金		SX 総合支援資金		
	市町村社協 (c1)	市町村社協以外		全体の金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	初回貸付	延長貸付	再貸付	
		芳金 (c2)	郵便局 (c3)													Web (c8)
201和歌山市	16,339	210	92	36	18	64	6,813,595,000	5,583	1,050,107,000	10,966	5,763,488,000	2,814,121,000	1,422,229,000	1,527,138,000		
202海南市	392	4	1	1	1	1	130,044,000	195	34,980,000	197	95,064,000	63,880,000	14,884,000	16,300,000		
203橋本市	1,875	10	7	1	0	2	756,442,200	620	111,400,000	1,255	645,042,200	316,322,200	149,810,000	178,910,000		
204有田市	859	7	0	0	0	7	356,271,000	307	58,846,000	552	297,425,000	151,223,000	51,368,000	94,834,000		
205御坊市	840	6	2	2	2	0	346,546,000	270	49,796,000	570	296,750,000	140,810,000	76,900,000	79,040,000		
206田辺市	3,302	16	5	4	2	5	1,368,113,000	1,135	199,853,000	2,183	1,168,260,000	583,740,000	275,320,000	309,200,000		
207新宮市	731	6	3	2	0	1	256,221,000	270	44,710,000	461	211,511,000	115,126,000	38,975,000	57,410,000		
208紀の川市	1,278	12	5	1	0	6	528,475,000	438	72,900,000	840	455,575,000	245,410,000	103,395,000	106,770,000		
209岩出市	2,068	21	8	2	3	8	849,149,000	792	147,790,000	1,276	701,359,000	358,600,000	148,524,000	194,235,000		
304紀美野町	92	1	1	0	0	0	35,950,000	35	6,000,000	57	29,950,000	14,050,000	8,100,000	7,800,000		
341かつらぎ町	272	2	1	0	1	0	103,865,000	116	21,639,000	156	82,226,000	41,156,000	19,500,000	21,570,000		
343九度山町	40	0	0	0	0	0	11,890,000	15	2,170,000	25	9,720,000	5,610,000	1,890,000	2,220,000		
344高野町	89	1	0	1	0	0	34,320,000	33	5,700,000	56	28,620,000	14,100,000	7,020,000	7,500,000		
361湯浅町	126	4	1	2	0	1	45,470,000	59	9,650,000	67	35,820,000	22,860,000	6,750,000	6,210,000		
362広川町	111	109	2	0	0	2	44,100,000	46	8,750,000	65	35,350,000	18,850,000	7,350,000	9,150,000		
366有田川町	307	305	2	1	0	1	127,660,000	103	16,270,000	204	111,390,000	56,190,000	31,500,000	23,700,000		
381美浜町	151	150	1	1	0	0	63,100,000	53	9,700,000	98	53,400,000	25,500,000	13,350,000	14,550,000		
382日高町	117	115	2	0	0	0	46,650,000	40	6,600,000	77	40,050,000	19,800,000	10,500,000	9,750,000		
383由良町	94	94	0	0	0	0	39,350,000	33	5,900,000	61	33,450,000	16,650,000	8,700,000	8,100,000		
390印南町	144	144	0	0	0	0	56,983,000	47	6,496,000	97	50,487,000	23,922,000	11,445,000	15,120,000		
391みなべ町	170	169	1	1	0	0	65,974,000	66	10,524,000	104	55,450,000	28,150,000	13,860,000	13,440,000		
392日高川町	148	146	2	0	1	0	58,810,000	53	8,810,000	95	50,000,000	24,200,000	11,850,000	13,950,000		
401白浜町	739	735	4	1	2	1	270,915,000	268	33,805,000	471	237,110,000	123,010,000	49,910,000	64,190,000		
404上富田町	402	400	2	1	0	1	160,850,000	139	21,300,000	263	139,550,000	71,700,000	31,050,000	36,800,000		
406すさみ町	71	71	0	0	0	0	25,520,000	29	4,400,000	42	21,120,000	10,110,000	5,700,000	5,310,000		
421那智勝浦町	382	373	9	3	0	6	135,730,000	157	26,305,000	225	109,425,000	57,410,000	26,205,000	25,810,000		
422太地町	25	25	0	0	0	0	9,650,000	9	1,400,000	16	8,250,000	3,150,000	2,550,000	2,550,000		
424古座川町	48	47	1	1	0	0	17,790,000	21	3,900,000	27	13,890,000	7,920,000	2,820,000	3,150,000		
427北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
428串本町	605	601	4	3	1	0	247,556,300	218	42,260,000	387	205,296,300	115,616,300	44,940,000	44,740,000		
総計	32,043	31,713	330	140	56	30	13,006,989,500	11,150	2,021,961,000	20,893	10,985,028,500	5,489,186,500	2,596,395,000	2,899,447,000		

表2-3 生活福祉資金(コロナ特例貸付)償還免除状況

令和5年3月31日

取扱社協	判定免除(住民税非課税)			任意免除(生保、障害者手帳、死亡、自己破産等)			合計	
	緊急小口資金 件	金額(円)	総合支援資金 件	緊急小口資金 件	金額(円)	総合支援資金 件	金額(円)	金額(円)
和歌山市	2,447	460,846,070	2,386	81	14,680,460	122	59,832,250	1,795,915,030
海南市	67	12,050,000	52	2	350,000	0	0	38,800,000
橋本市	238	42,529,670	242	12	2,210,000	28	13,403,500	182,984,970
有田市	181	34,368,360	167	5	1,000,000	8	4,506,000	131,367,360
御坊市	141	25,729,340	149	6	1,000,000	5	2,700,000	106,154,340
田辺市	492	84,571,830	452	18	2,970,830	27	13,046,250	344,245,160
新宮市	108	19,015,840	138	7	1,220,000	4	1,950,000	87,019,340
紀の川市	185	30,848,360	195	7	1,000,000	16	7,750,000	146,380,860
岩出市	332	62,270,040	278	19	3,100,000	26	13,050,000	232,622,790
紀美野町	20	3,500,000	15	0	7,500,000	0	0	11,000,000
かつらぎ町	51	9,600,000	38	2	200,000	2	1,200,000	30,460,000
九度山町	2	300,000	1	0	270,000	2	600,000	1,170,000
高野町	20	3,500,000	18	0	9,900,000	0	0	13,400,000
湯浅町	22	3,600,000	20	2	300,000	4	2,400,000	17,400,000
広川町	22	3,960,000	19	1	200,000	0	0	14,310,000
有田川町	51	8,418,370	60	0	33,090,000	0	0	41,508,370
美浜町	20	3,650,000	19	1	10,350,000	3	1,800,000	16,000,000
日高町	21	3,300,000	17	0	9,000,000	0	0	12,300,000
由良町	17	2,700,000	18	0	10,050,000	0	0	12,750,000
印南町	30	4,096,000	30	1	16,230,000	0	0	20,526,000
みなべ町	25	3,998,000	25	2	13,150,000	5	3,000,000	20,548,000
日高川町	32	5,201,680	31	2	16,090,000	6	3,450,000	25,041,680
白浜町	99	13,573,340	106	6	54,040,000	2	1,200,000	69,513,340
上富田町	58	8,400,000	54	2	28,650,000	2	1,050,000	38,300,000
すさみ町	15	2,000,000	10	2	4,860,000	0	0	7,160,000
那智勝浦町	68	11,028,750	56	2	27,610,000	4	2,010,000	41,048,750
太地町	4	700,000	3	0	1,500,000	0	0	2,200,000
古座川町	9	1,800,000	10	0	4,991,250	1	270,000	7,061,250
北山村	0	0	0	0	0	0	0	0
串本町	85	16,583,340	84	6	1,200,000	4	1,800,000	64,078,340
合計	4,862	882,138,990	4,693	186	32,131,290	271	135,018,000	3,531,265,580
							緊急小口資金	914,270,280
							総合支援資金	2,616,995,300

表3 令和4年度 全体（福祉・教育・離職・総合分）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	1,906,557,848	66,961,334	3.5	49,486,170	2,454,105	5.0	1,956,044,018	69,415,439	3.5
海南市	46,304,782	6,049,012	13.1	6,821,260	648,520	9.5	53,126,042	6,697,532	12.6
橋本市	201,983,830	13,489,090	6.7	16,623,011	720,403	4.3	218,606,841	14,209,493	6.5
有田市	135,043,340	2,347,130	1.7	417,850	0	0.0	135,461,190	2,347,130	1.7
御坊市	111,354,040	3,790,900	3.4	2,190,790	61,650	2.8	113,544,830	3,852,550	3.4
田辺市	367,435,300	14,276,840	3.9	8,571,556	776,690	9.1	376,006,856	15,053,530	4.0
新宮市	93,012,230	4,630,760	5.0	2,731,932	259,480	9.5	95,744,162	4,890,240	5.1
紀の川市	154,305,900	5,342,320	3.5	5,973,690	419,102	7.0	160,279,590	5,761,422	3.6
岩出市	247,469,770	9,867,790	4.0	4,746,559	418,184	8.8	252,216,329	10,285,974	4.1
紀美野町	12,207,920	801,760	6.6	1,410,850	6,250	0.4	13,618,770	808,010	5.9
かつらぎ町	31,807,760	726,710	2.3	945,840	60,120	6.4	32,753,600	786,830	2.4
九度山町	1,487,120	194,080	13.1	0	0	-	1,487,120	194,080	13.1
高野町	13,782,750	324,030	2.4	404,909	0	0.0	14,187,659	324,030	2.3
湯浅町	18,966,890	1,115,400	5.9	713,029	206,837	29.0	19,679,919	1,322,237	6.7
広川町	15,317,990	668,990	4.4	211,260	87,040	41.2	15,529,250	756,030	4.9
有田川町	43,044,310	807,010	1.9	845,624	219,020	25.9	43,889,934	1,026,030	2.3
美浜町	17,107,160	474,350	2.8	530,820	141,000	26.6	17,637,980	615,350	3.5
日高町	12,983,920	307,380	2.4	678,040	334,000	49.3	13,661,960	641,380	4.7
由良町	13,415,540	448,920	3.3	30,240	30,240	100.0	13,445,780	479,160	3.6
印南町	20,824,820	166,810	0.8	2,631,005	86,940	3.3	23,455,825	253,750	1.1
みなべ町	21,720,560	926,220	4.3	3,910	3,910	100.0	21,724,470	930,130	4.3
日高川町	26,144,950	850,690	3.3	19,720	19,720	100.0	26,164,670	870,410	3.3
白浜町	73,803,970	2,772,370	3.8	569,513	33,853	5.9	74,373,483	2,806,223	3.8
上富田町	41,079,630	1,860,900	4.5	1,336,080	211,650	15.8	42,415,710	2,072,550	4.9
すさみ町	7,399,500	162,460	2.2	4,977,470	150,000	3.0	12,376,970	312,460	2.5
那智勝浦町	43,747,000	2,130,810	4.9	1,377,750	24,810	1.8	45,124,750	2,155,620	4.8
太地町	2,331,190	78,720	3.4	3,872,120	102,560	2.6	6,203,310	181,280	2.9
古座川町	7,334,840	155,320	2.1	0	0	-	7,334,840	155,320	2.1
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	-
串本町	71,296,580	5,103,210	7.2	3,013,920	213,960	7.1	74,310,500	5,317,170	7.2
償還免除債権	631,169	0	0.0	9,203,459	8,870	0.1	9,834,628	8,870	0.1
県計	3,759,902,609	146,831,316	3.9	130,338,377	7,698,914	5.9	3,890,240,986	154,530,230	4.0

表4 令和4年度 通常貸付（福祉・教育・離職・総合分）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	8,625,618	7,285,564	84.5	49,224,150	2,365,385	4.8	57,849,768	9,650,949	16.7
海南市	4,025,892	3,513,702	87.3	6,821,260	648,520	9.5	10,847,152	4,162,222	38.4
橋本市	5,330,080	4,371,280	82.0	16,020,921	701,653	4.4	21,351,001	5,072,933	23.8
有田市	61,550	61,550	100.0	417,850	0	0.0	479,400	61,550	12.8
御坊市	1,354,680	1,344,900	99.3	2,137,470	16,660	0.8	3,492,150	1,361,560	39.0
田辺市	4,978,670	4,023,610	80.8	8,511,556	716,690	8.4	13,490,226	4,740,300	35.1
新宮市	2,997,590	2,523,990	84.2	2,731,932	259,480	9.5	5,729,522	2,783,470	48.6
紀の川市	326,040	221,380	67.9	5,973,690	419,102	7.0	6,299,730	640,482	10.2
岩出市	1,670,280	1,202,240	72.0	4,738,229	409,854	8.6	6,408,509	1,612,094	25.2
紀美野町	572,760	177,840	31.0	1,410,850	6,250	0.4	1,983,610	184,090	9.3
かつらぎ町	0	0	-	945,840	60,120	6.4	945,840	60,120	6.4
九度山町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
高野町	0	0	-	404,909	0	0.0	404,909	0	0.0
湯浅町	779,280	779,280	100.0	713,029	206,837	29.0	1,492,309	986,117	66.1
広川町	504,360	383,640	76.1	211,260	87,040	41.2	715,620	470,680	65.8
有田川町	440,540	315,540	71.6	835,624	219,020	26.2	1,276,164	534,560	41.9
美浜町	216,960	96,960	44.7	530,820	141,000	26.6	747,780	237,960	31.8
日高町	39,960	0	0.0	678,040	334,000	49.3	718,000	334,000	46.5
由良町	176,880	155,640	88.0	30,240	30,240	100.0	207,120	185,880	89.7
印南町	0	0	-	2,631,005	86,940	3.3	2,631,005	86,940	3.3
みなべ町	410,110	406,200	99.0	3,910	3,910	100.0	414,020	410,110	99.1
日高川町	459,240	439,520	95.7	19,720	19,720	100.0	478,960	459,240	95.9
白浜町	489,630	375,660	76.7	490,763	26,353	5.4	980,393	402,013	41.0
上富田町	237,320	213,200	89.8	1,336,080	211,650	15.8	1,573,400	424,850	27.0
すさみ町	0	0	-	4,977,470	150,000	3.0	4,977,470	150,000	3.0
那智勝浦町	263,400	260,700	99.0	1,377,750	24,810	1.8	1,641,150	285,510	17.4
太地町	0	0	-	3,872,120	102,560	2.6	3,872,120	102,560	2.6
古座川町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	-
串本町	699,960	531,120	75.9	2,895,600	213,960	7.4	3,595,560	745,080	20.7
償還免除債権	631,169	0	0.0	9,203,459	8,870	0.1	9,834,628	8,870	0.1
県計	35,291,969	28,683,516	81.3	129,145,547	7,470,624	5.8	164,437,516	36,154,140	22.0

表5 令和4年度 コロナ特例貸付（小口・総合分）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合計（A）+（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	1,897,932,230	59,675,770	3.1	262,020	88,720	33.9	1,898,194,250	59,764,490	3.1
海南市	42,278,890	2,535,310	6.0	0	0	-	42,278,890	2,535,310	6.0
橋本市	196,653,750	9,117,810	4.6	602,090	18,750	3.1	197,255,840	9,136,560	4.6
有田市	134,981,790	2,285,580	1.7	0	0	-	134,981,790	2,285,580	1.7
御坊市	109,999,360	2,446,000	2.2	53,320	44,990	84.4	110,052,680	2,490,990	2.3
田辺市	362,456,630	10,253,230	2.8	60,000	60,000	100.0	362,516,630	10,313,230	2.8
新宮市	90,014,640	2,106,770	2.3	0	0	-	90,014,640	2,106,770	2.3
紀の川市	153,979,860	5,120,940	3.3	0	0	-	153,979,860	5,120,940	3.3
岩出市	245,799,490	8,665,550	3.5	8,330	8,330	100.0	245,807,820	8,673,880	3.5
紀美野町	11,635,160	623,920	5.4	0	0	-	11,635,160	623,920	5.4
かつらぎ町	31,807,760	726,710	2.3	0	0	-	31,807,760	726,710	2.3
九度山町	1,487,120	194,080	13.1	0	0	-	1,487,120	194,080	13.1
高野町	13,782,750	324,030	2.4	0	0	-	13,782,750	324,030	2.4
湯浅町	18,187,610	336,120	1.8	0	0	-	18,187,610	336,120	1.8
広川町	14,813,630	285,350	1.9	0	0	-	14,813,630	285,350	1.9
有田川町	42,603,770	491,470	1.2	10,000	0	0.0	42,613,770	491,470	1.2
美浜町	16,890,200	377,390	2.2	0	0	-	16,890,200	377,390	2.2
日高町	12,943,960	307,380	2.4	0	0	-	12,943,960	307,380	2.4
由良町	13,238,660	293,280	2.2	0	0	-	13,238,660	293,280	2.2
印南町	20,824,820	166,810	0.8	0	0	-	20,824,820	166,810	0.8
みなべ町	21,310,450	520,020	2.4	0	0	-	21,310,450	520,020	2.4
日高川町	25,685,710	411,170	1.6	0	0	-	25,685,710	411,170	1.6
白浜町	73,314,340	2,396,710	3.3	78,750	7,500	9.5	73,393,090	2,404,210	3.3
上富田町	40,842,310	1,647,700	4.0	0	0	-	40,842,310	1,647,700	4.0
すさみ町	7,399,500	162,460	2.2	0	0	-	7,399,500	162,460	2.2
那智勝浦町	43,483,600	1,870,110	4.3	0	0	-	43,483,600	1,870,110	4.3
太地町	2,331,190	78,720	3.4	0	0	-	2,331,190	78,720	3.4
古座川町	7,334,840	155,320	2.1	0	0	-	7,334,840	155,320	2.1
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	-
串本町	70,596,620	4,572,090	6.5	118,320	0	0.0	70,714,940	4,572,090	6.5
県計	3,724,610,640	118,147,800	3.2	1,192,830	228,290	19.1	3,725,803,470	118,376,090	3.2

表6 令和4年度 福祉・教育資金償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	8,032,798	6,974,236	86.8	25,421,136	1,435,998	5.6	33,453,934	8,410,234	25.1
海南市	3,560,072	3,303,632	92.8	2,364,020	211,080	8.9	5,924,092	3,514,712	59.3
橋本市	4,700,940	4,065,900	86.5	8,444,624	368,328	4.4	13,145,564	4,434,228	33.7
有田市	61,550	61,550	100.0	417,850	0	0.0	479,400	61,550	12.8
御坊市	1,292,880	1,284,760	99.4	56,760	0	0.0	1,349,640	1,284,760	95.2
田辺市	4,299,210	3,668,510	85.3	4,486,220	337,160	7.5	8,785,430	4,005,670	45.6
新宮市	2,832,590	2,358,990	83.3	2,320,842	229,480	9.9	5,153,432	2,588,470	50.2
紀の川市	270,120	170,120	63.0	5,158,258	226,920	4.4	5,428,378	397,040	7.3
岩出市	993,040	891,960	89.8	2,964,177	171,740	5.8	3,957,217	1,063,700	26.9
紀美野町	572,760	177,840	31.0	1,410,850	6,250	0.4	1,983,610	184,090	9.3
かつらぎ町	0	0	-	100,000	45,000	45.0	100,000	45,000	45.0
九度山町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
高野町	0	0	-	354,909	0	0.0	354,909	0	0.0
湯浅町	779,280	779,280	100.0	713,029	206,837	29.0	1,492,309	986,117	66.1
広川町	383,640	383,640	100.0	0	0	-	383,640	383,640	100.0
有田川町	344,540	315,540	91.6	461,610	89,020	19.3	806,150	404,560	50.2
美浜町	216,960	96,960	44.7	530,820	141,000	26.6	747,780	237,960	31.8
日高町	0	0	-	488,230	334,000	68.4	488,230	334,000	68.4
由良町	176,880	155,640	88.0	30,240	30,240	100.0	207,120	185,880	89.7
印南町	0	0	-	2,381,745	62,820	2.6	2,381,745	62,820	2.6
みなべ町	410,110	406,200	99.0	3,910	3,910	100.0	414,020	410,110	99.1
日高川町	459,240	439,520	95.7	19,720	19,720	100.0	478,960	459,240	95.9
白浜町	489,630	375,660	76.7	490,763	26,353	5.4	980,393	402,013	41.0
上富田町	213,200	213,200	100.0	1,229,550	192,730	15.7	1,442,750	405,930	28.1
すさみ町	0	0	-	4,977,470	150,000	3.0	4,977,470	150,000	3.0
那智勝浦町	263,400	260,700	99.0	1,377,750	24,810	1.8	1,641,150	285,510	17.4
太地町	0	0	-	3,872,120	102,560	2.6	3,872,120	102,560	2.6
古座川町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	-
串本町	699,960	531,120	75.9	2,895,600	213,960	7.4	3,595,560	745,080	20.7
償還免除債権	289,169	0	0.0	8,199,279	8,870	0.1	8,488,448	8,870	0.1
県計	31,341,969	26,914,958	85.9	81,171,482	4,638,786	5.7	112,513,451	31,553,744	28.0

表7 令和4年度 離職者支援資金償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	0	0	-	11,367,767	240,960	2.1	11,367,767	240,960	2.1
海南市	0	0	-	3,766,900	355,660	9.4	3,766,900	355,660	9.4
橋本市	0	0	-	1,152,440	55,440	4.8	1,152,440	55,440	4.8
有田市	0	0	-	0	0	-	0	0	-
御坊市	0	0	-	1,949,050	0	0.0	1,949,050	0	0.0
田辺市	0	0	-	1,911,320	15,730	0.8	1,911,320	15,730	0.8
新宮市	0	0	-	0	0	-	0	0	-
紀の川市	0	0	-	0	0	-	0	0	-
岩出市	0	0	-	0	0	-	0	0	-
紀美野町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
かつらぎ町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
九度山町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
高野町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
湯浅町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
広川町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
有田川町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
美浜町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
日高町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
由良町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
印南町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
みなべ町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
日高川町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
白浜町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
上富田町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
すさみ町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
那智勝浦町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
太地町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
古座川町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	-
串本町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
償還免除債権	0	0	-	0	0	-	0	0	-
県計	0	0	-	20,147,477	667,790	3.3	20,147,477	667,790	3.3

表8 令和4年度 緊急小口資金（通常貸付）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	135,010	135,010	100.0	365,941	20,000	5.5	500,951	155,010	30.9
海南市	0	0	-	100,000	0	0.0	100,000	0	0.0
橋本市	0	0	-	119,610	11,330	9.5	119,610	11,330	9.5
有田市	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
御坊市	0	0	-	56,760	0	0.0	56,760	0	0.0
田辺市	28,640	28,640	100.0	0	0	-	28,640	28,640	100.0
新宮市	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
紀の川市	0	0	-	17,828	0	0.0	17,828	0	0.0
岩出市	0	0	-	42,350	7,000	16.5	42,350	7,000	16.5
紀美野町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
かつらぎ町	0	0	-	100,000	45,000	45.0	100,000	45,000	45.0
九度山町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
高野町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
湯浅町	0	0	-	133,979	88,217	65.8	133,979	88,217	65.8
広川町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
有田川町	16,500	0	0.0	198,350	53,660	27.1	214,850	53,660	25.0
美浜町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
日高町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
由良町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
印南町	0	0	-	99,000	0	0.0	99,000	0	0.0
みなべ町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
日高川町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
白浜町	0	0	-	75,010	0	0.0	75,010	0	0.0
上富田町	0	0	-	66,400	0	0.0	66,400	0	0.0
すさみ町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
那智勝浦町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
太地町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
古座川町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
串本町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
償還免除債権	342,000	0	0.0	1,004,180	0	0.0	1,346,180	0	0.0
県計	522,150	163,650	31.3	2,379,408	225,207	9.5	2,901,558	388,857	13.4

表9 令和4年度 緊急小口資金（コロナ特例貸付）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	541,081,450	37,052,390	6.8	174,950	41,650	23.8	541,256,400	37,094,040	6.9
海南市	14,809,440	1,681,090	11.4	0	0	-	14,809,440	1,681,090	11.4
橋本市	52,275,640	4,740,530	9.1	566,680	0	0.0	52,842,320	4,740,530	9.0
有田市	37,751,040	1,470,080	3.9	0	0	-	37,751,040	1,470,080	3.9
御坊市	29,128,150	1,426,260	4.9	53,320	44,990	84.4	29,181,470	1,471,250	5.0
田辺市	98,973,410	6,281,260	6.3	0	0	-	98,973,410	6,281,260	6.3
新宮市	22,275,850	1,530,740	6.9	0	0	-	22,275,850	1,530,740	6.9
紀の川市	35,647,380	2,254,940	6.3	0	0	-	35,647,380	2,254,940	6.3
岩出市	74,488,670	5,920,190	7.9	8,330	8,330	100.0	74,497,000	5,928,520	8.0
紀美野町	4,016,420	512,260	12.8	0	0	-	4,016,420	512,260	12.8
かつらぎ町	10,718,330	449,780	4.2	0	0	-	10,718,330	449,780	4.2
九度山町	521,120	137,830	26.4	0	0	-	521,120	137,830	26.4
高野町	3,804,000	266,530	7.0	0	0	-	3,804,000	266,530	7.0
湯浅町	4,441,360	212,370	4.8	0	0	-	4,441,360	212,370	4.8
広川町	4,551,130	251,600	5.5	0	0	-	4,551,130	251,600	5.5
有田川町	9,075,020	257,720	2.8	10,000	0	0.0	9,085,020	257,720	2.8
美浜町	4,447,700	262,390	5.9	0	0	-	4,447,700	262,390	5.9
日高町	3,666,460	149,880	4.1	0	0	-	3,666,460	149,880	4.1
由良町	3,014,910	193,280	6.4	0	0	-	3,014,910	193,280	6.4
印南町	4,462,520	95,760	2.1	0	0	-	4,462,520	95,760	2.1
みなべ町	4,932,950	360,020	7.3	0	0	-	4,932,950	360,020	7.3
日高川町	6,008,210	362,420	6.0	0	0	-	6,008,210	362,420	6.0
白浜町	16,606,470	1,466,370	8.8	60,000	0	0.0	16,666,470	1,466,370	8.8
上富田町	10,207,310	1,057,700	10.4	0	0	-	10,207,310	1,057,700	10.4
すさみ町	2,475,750	117,460	4.7	0	0	-	2,475,750	117,460	4.7
那智勝浦町	13,187,620	1,344,110	10.2	0	0	-	13,187,620	1,344,110	10.2
太地町	789,940	52,470	6.6	0	0	-	789,940	52,470	6.6
古座川町	1,974,840	91,570	4.6	0	0	-	1,974,840	91,570	4.6
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
串本町	21,334,960	2,247,230	10.5	118,320	0	0.0	21,453,280	2,247,230	10.5
県計	1,036,668,050	72,246,230	7.0	991,600	94,970	9.6	1,037,659,650	72,341,200	7.0

表 10 令和4年度 総合支援資金（通常貸付）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	592,820	311,328	52.5	12,435,247	688,427	5.5	13,028,067	999,755	7.7
海南市	465,820	210,070	45.1	690,340	81,780	11.8	1,156,160	291,850	25.2
橋本市	629,140	305,380	48.5	6,423,857	277,885	4.3	7,052,997	583,265	8.3
有田市	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
御坊市	61,800	60,140	97.3	131,660	16,660	12.7	193,460	76,800	39.7
田辺市	679,460	355,100	52.3	2,114,016	363,800	17.2	2,793,476	718,900	25.7
新宮市	165,000	165,000	100.0	411,090	30,000	7.3	576,090	195,000	33.8
紀の川市	55,920	51,260	91.7	815,432	192,182	23.6	871,352	243,442	27.9
岩出市	677,240	310,280	45.8	1,774,052	238,114	13.4	2,451,292	548,394	22.4
紀美野町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
かつらぎ町	0	0	-	845,840	15,120	1.8	845,840	15,120	1.8
九度山町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
高野町	0	0	-	50,000	0	0.0	50,000	0	0.0
湯浅町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
広川町	120,720	0	0.0	211,260	87,040	41.2	331,980	87,040	26.2
有田川町	96,000	0	0.0	374,014	130,000	34.8	470,014	130,000	27.7
美浜町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
日高町	39,960	0	0.0	189,810	0	0.0	229,770	0	0.0
由良町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
印南町	0	0	-	249,260	24,120	9.7	249,260	24,120	9.7
みなべ町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
日高川町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
白浜町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
上富田町	24,120	0	0.0	106,530	18,920	17.8	130,650	18,920	14.5
すさみ町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
那智勝浦町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
太地町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
古座川町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
串本町	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
償還免除債権	342,000	0	0.0	1,004,180	0	0.0	1,346,180	0	0.0
県計	3,950,000	1,768,558	44.8	27,826,588	2,164,048	7.8	31,776,588	3,932,606	12.4

表 1 1 令和 4 年度 総合支援資金（コロナ特例貸付）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合 計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	1,356,850,780	22,623,380	1.7	87,070	47,070	54.1	1,356,937,850	22,670,450	1.7
海南市	27,469,450	854,220	3.1	0	0	-	27,469,450	854,220	3.1
橋本市	144,378,110	4,377,280	3.0	35,410	18,750	53.0	144,413,520	4,396,030	3.0
有田市	97,230,750	815,500	0.8	0	0	-	97,230,750	815,500	0.8
御坊市	80,871,210	1,019,740	1.3	0	0	-	80,871,210	1,019,740	1.3
田辺市	263,483,220	3,971,970	1.5	60,000	60,000	100.0	263,543,220	4,031,970	1.5
新宮市	67,738,790	576,030	0.9	0	0	-	67,738,790	576,030	0.9
紀の川市	118,332,480	2,866,000	2.4	0	0	-	118,332,480	2,866,000	2.4
岩出市	171,310,820	2,745,360	1.6	0	0	-	171,310,820	2,745,360	1.6
紀美野町	7,618,740	111,660	1.5	0	0	-	7,618,740	111,660	1.5
かつらぎ町	21,089,430	276,930	1.3	0	0	-	21,089,430	276,930	1.3
九度山町	966,000	56,250	5.8	0	0	-	966,000	56,250	5.8
高野町	9,978,750	57,500	0.6	0	0	-	9,978,750	57,500	0.6
湯浅町	13,746,250	123,750	0.9	0	0	-	13,746,250	123,750	0.9
広川町	10,262,500	33,750	0.3	0	0	-	10,262,500	33,750	0.3
有田川町	33,528,750	233,750	0.7	0	0	-	33,528,750	233,750	0.7
美浜町	12,442,500	115,000	0.9	0	0	-	12,442,500	115,000	0.9
日高町	9,277,500	157,500	1.7	0	0	-	9,277,500	157,500	1.7
由良町	10,223,750	100,000	1.0	0	0	-	10,223,750	100,000	1.0
印南町	16,362,300	71,050	0.4	0	0	-	16,362,300	71,050	0.4
みなべ町	16,377,500	160,000	1.0	0	0	-	16,377,500	160,000	1.0
日高川町	19,677,500	48,750	0.2	0	0	-	19,677,500	48,750	0.2
白浜町	56,707,870	930,340	1.6	18,750	7,500	40.0	56,726,620	937,840	1.7
上富田町	30,635,000	590,000	1.9	0	0	-	30,635,000	590,000	1.9
すさみ町	4,923,750	45,000	0.9	0	0	-	4,923,750	45,000	0.9
那智勝浦町	30,295,980	526,000	1.7	0	0	-	30,295,980	526,000	1.7
太地町	1,541,250	26,250	1.7	0	0	-	1,541,250	26,250	1.7
古座川町	5,360,000	63,750	1.2	0	0	-	5,360,000	63,750	1.2
北山村	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
串本町	49,261,660	2,324,860	4.7	0	0	-	49,261,660	2,324,860	4.7
県 計	2,687,942,590	45,901,570	1.7	201,230	133,320	66.3	2,688,143,820	46,034,890	1.7

表 1 2 令和 4 年度 不動産担保型生活資金償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合 計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	0	0	-	14,922,136	0	0.0	14,922,136	0	0.0
県 計	0	0	-	14,922,136	0	0.0	14,922,136	0	0.0

表 1 3 令和 4 年度 不動産担保型生活資金（要保護世帯向け）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合 計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	0	0	-	11,922,636	4,780,000	40.1	11,922,636	4,780,000	40.1
橋本市	0	0	-	3,172,309	0	0.0	3,172,309	0	0.0
御坊市	0	0	-	4,806,400	0	0.0	4,806,400	0	0.0
有田川町	0	0	-	6,355,440	0	0.0	6,355,440	0	0.0
県 計	0	0	-	26,256,785	4,780,000	18.2	26,256,785	4,780,000	18.2

表 1 4 令和 4 年度 臨時特例つなぎ資金貸付決定件数・金額

計	つなぎ先 生活保護		住居確保給付金		そ の 他		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
県 計	0	0	0	0	0	0	0	0

表 1 5 令和 4 年度 臨時特例つなぎ資金償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合 計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
県 計	0	0	-	2,757,840	130,000	4.7	2,757,840	130,000	4.7

表16 令和4年度生活福祉資金貸付中件数・金額（市町村別）

(金額単位:円)
(令和5年3月末日現在)

資金名 市町村	総合支援資金						福祉資金				教育支援資金				離職者支援資金	不動産担保型生活資金				合計		償還履行 者率 (不動産除 く) (令和5年3月)	
	生活支援費		住宅入居費		一時生活再建費		福祉費		緊急小口資金		教育支援費		就学支度費			不動産担保型 生活資金	要保護世帯向け不 動産担保型 生活資金						
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額			
和歌山市	8,486	4,416,912,080	17	2,585,013	21	2,682,805	73	32,384,973	3,004	531,672,771	90	119,191,650	78	30,054,829	10	11,126,807	3	26,022,136	8	34,881,650	11,790	5,207,514,714	56.1%
海南市	148	67,255,070	0	0	4	1,055,560	17	5,562,524	105	17,738,910	29	47,788,976	19	6,098,173	2	3,411,240	0	0	2	3,847,689	326	152,758,142	70.3%
橋本市	1,007	508,326,920	0	0	4	701,202	23	8,989,508	336	57,840,270	23	31,931,384	31	8,020,584	3	1,097,000	0	0	1	3,172,309	1,428	620,079,177	58.1%
有田市	376	200,510,500	0	0	0	0	1	417,850	122	22,071,640	1	384,600	1	500,000	0	0	0	0	2	9,800,000	503	233,684,590	63.0%
御坊市	417	215,471,520	0	0	0	0	3	1,114,955	121	21,268,910	10	7,131,920	4	921,820	1	1,949,050	0	0	1	4,806,400	557	252,664,575	63.3%
田辺市	1,721	908,704,326	5	607,090	6	1,090,217	17	3,928,962	621	105,624,280	27	33,717,510	15	4,777,637	2	1,895,590	0	0	1	1,680,000	2,415	1,062,025,612	57.5%
新宮市	320	144,021,470	1	211,090	1	20,000	11	6,226,782	95	15,043,420	14	20,865,820	10	3,847,762	0	0	0	0	0	0	452	190,236,344	63.8%
紀の川市	628	337,343,940	0	0	2	146,810	9	5,240,282	230	36,714,528	3	2,375,200	1	495,450	0	0	0	0	1	3,667,681	874	385,983,891	62.0%
岩出市	992	534,044,739	0	0	7	1,498,688	6	3,858,737	432	75,714,400	16	14,692,670	16	5,053,640	0	0	0	0	1	1,856,580	1,470	636,719,454	62.7%
紀美野町	42	22,338,340	0	0	0	0	2	4,057,890	14	1,946,090	1	1,243,750	0	0	0	0	0	0	0	0	59	29,586,070	90.9%
かつらぎ町	119	61,696,790	0	0	2	215,000	1	0	51	9,155,220	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	173	71,067,010	57.9%
九度山町	22	8,793,750	0	0	0	0	0	0	13	1,732,170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	10,525,920	63.2%
高野町	39	18,712,500	0	0	0	0	0	0	12	1,733,470	2	714,909	1	500,000	0	0	0	0	0	0	54	21,660,879	73.7%
湯淺町	43	22,196,250	0	0	0	0	3	460,430	36	5,583,392	8	10,511,440	3	1,050,300	0	0	0	0	0	0	93	39,801,812	52.8%
広川町	47	25,466,300	1	103,650	1	144,120	1	143,280	22	4,038,400	2	4,387,200	1	230,000	0	0	0	0	0	0	75	34,512,950	58.6%
有田川町	146	78,122,830	0	0	1	53,434	3	477,900	52	7,112,970	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6,355,440	203	92,122,574	54.1%
美浜町	76	41,135,000	0	0	0	0	3	359,820	32	5,587,610	2	2,358,000	4	1,272,640	0	0	0	0	0	0	117	50,713,070	45.5%
日高町	61	31,289,170	0	0	0	0	1	154,230	18	2,950,120	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	34,393,520	40.0%
由良町	43	23,300,000	0	0	0	0	1	55,179	15	2,806,720	1	882,000	1	335,000	0	0	0	0	0	0	61	27,378,899	60.9%
印南町	68	34,325,950	0	0	1	85,140	3	2,219,925	13	1,703,240	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85	38,334,255	48.1%
みなべ町	75	39,324,000	0	0	0	0	2	2,306,210	33	5,490,980	1	1,627,500	1	103,360	0	0	0	0	0	0	112	48,852,050	70.7%
日高川町	59	30,511,250	0	0	0	0	1	333,400	17	2,945,900	3	2,066,920	0	0	0	0	0	0	0	0	80	35,857,470	45.5%
白浜町	361	180,282,160	0	0	1	519,165	4	1,253,830	135	17,757,640	1	1,202,250	1	419,538	0	0	0	0	0	0	503	201,434,583	65.5%
上富田町	206	108,860,000	1	176,640	0	0	2	970,420	79	11,708,700	1	1,432,000	1	41,548	0	0	0	0	0	0	290	123,189,308	62.9%
すさみ町	32	16,215,000	0	0	0	0	3	4,035,470	12	1,982,540	2	1,152,000	1	300,000	0	0	0	0	0	0	50	23,685,010	58.8%
那智勝浦町	164	78,859,000	0	0	0	0	4	2,537,640	86	13,254,560	1	1,950,000	1	500,000	0	0	0	0	0	0	256	97,101,200	74.1%
太地町	13	6,723,750	0	0	0	0	1	3,769,560	5	647,530	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	11,140,840	66.7%
古座川町	16	8,520,000	0	0	0	0	0	0	12	2,008,430	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	10,528,430	44.4%
北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
串本町	297	156,176,440	0	0	0	0	8	4,853,920	124	22,229,430	10	11,169,420	7	3,168,292	0	0	0	0	0	0	446	197,597,502	60.6%
県計	16,024	8,325,439,045	25	3,683,483	51	8,212,141	203	95,713,677	5,847	1,006,064,241	249	318,777,119	197	67,690,573	18	19,479,687	3	26,022,136	18	70,067,749	22,635	9,941,149,851	58.4%
通常	146	28,815,805	25	3,683,483	51	8,212,141	203	95,713,677	26	1,483,081	249	318,777,119	197	67,690,573	18	19,479,687	3	26,022,136	18	70,067,749	936	639,945,451	
特例	15,878	8,296,623,240							5,821	1,004,581,160											21,699	9,301,204,400	

※金額は元金。件数は貸付利子、延滞利子のみ残も含む。

表17 福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業

令和5年3月31日現在

資金種類	人材確保												自立支援										
	介護福祉士						保育士						ひとり親家庭			児童養護施設退所者							
	介護福祉士 修学資金	福祉系高校 修学資金	実務者研修 受講資金	再就職準備金	介護分野 就職支援金	障害福祉分野 就職支援金	社会福祉士 修学資金	修学資金	補助者雇上費	保育料一部	就職準備金	預かり支援事業 利用料一部	入学準備金	就職準備金	住宅支援資金	進学者	就職者	資格取得 支援費					
貸付決定件数	平成28年度	12	—	147	0	—	—	0	69	1	2	2	—	12	3	—	2	0	1				
		159						74						15			3						
		251																					
	平成29年度	5	—	121	3	—	—	0	99	0	3	1	0	15	3	—	0	2	7				
		129						103						18			9						
		259																					
	平成30年度	26	—	115	2	—	—	4	88	2	15	3	0	20	0	0	3	1	7				
		147						108						20			11						
		286																					
	令和元年度	36	—	139	5	—	—	0	80	0	6	1	0	19	5	—	1	2	6				
		180						87						24			9						
		300																					
	令和2年度	25	—	116	12	—	—	1	64	0	3	1	0	13	4	—	0	1	5				
		154						68						17			6						
		245																					
	令和3年度	45	7	162	11	18	4	2	54	1	7	2	0	9	1	2	1	1	4				
		249						64						12			6						
		331																					
	令和4年度	54	3	122	13	12	4	2	52	1	15	8	0	7	1	2	6	0	6				
		210						76						10			12						
		308																					
	計(A)	203	10	922	46	30	8	9	506	5	51	18	0	95	17	4	13	7	36				
		1,228						580						116			56						
		1,980																					
B	辞退	2	0	14	1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1					
	当然免除	2	0	142	11	0	0	0	20	3	8	3	0	0	2	0	1	10					
	償還完了	11	1	69	1	0	2	2	26	0	1	0	0	4	0	0	0	3					
	計	258						67						6			16						
347																							
貸付中件数 (A-B)	188	9	697	33	30	6	7	454	2	42	15	0	91	15	4	12	6	22					
	970						(407,499千円)						513			(617,376千円)			110 (39,692千円)			40 (25,897千円)	
(令和05年03月末貸付中金額)																							
1,633																							
(1,090,464千円)																							

《地域福祉部(ボランティア振興班)》ボランティアセンター事業・災害ボランティアセンター事業関係》

1 広域におけるボランティア活動支援機能の強化

(1) ボランティア・市民活動団体の支援

① 情報集約・提供

ア ボランティア基礎情報

県内におけるボランティア活動者数（令和4年4月1日現在、照会先：市町村社会福祉協議会）

	社会福祉協議会に登録		社会福祉協議会が把握	
	個人ボランティア	1,745名		1,405名
ボランティアを目的としたグループ	546団体	15,974名	701団体	17,763名
合計	546団体	17,719名	701団体	19,168名
	1,247団体		36,887名	

イ ボランティア活動体験機会提供

夏のボランティア体験月間を提唱し、ボランティア活動情報や体験機会の提供に取り組んだ。

期 日	内 容 (受入先数・プログラム数)	参 加
7月1日～ 8月31日	県内社会福祉施設等でのボランティア活動体験 (31ヵ所・45プログラム)	1,168名

ウ 広報啓発

県社協ホームページ「福祉活動ガイド」及び県ボランティアセンター「情報紙」「掲示板」

「YouTube」等にボランティア活動やグループ紹介、参加募集、助成案内など随時、情報を掲載・配信・更新した。

a ボランティア情報紙「そよかぜ」（発行部数 230部/月）

発行号	内 容
第307～ 318号	体験、学習、交流活動等イベント開催案内・報告/参加者募集・ボランティア募集/助成事業/ボランティア保険/全国情報・県内情報/ボランティア団体・収集ボランティア紹介など

b 福祉わかやま（発行部数 10,000部/月）

掲載月	ボランティア関連掲載記事
7月	夏のボランティア体験月間のご案内（企画&参加者募集）
1月	「防災とボランティア」～被災者支援・災害ボランティア活動を支えるモノ～

c アンケート実施、その他、啓発冊子・ポスター等の配付

期日・発行日	内 容
5月	県内ボランティア活動者数調査（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

d 活動の見える化（SNSへの掲載）

掲載月	内 容
6月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 夏のボランティア体験月間 企画・参加者募集！！
6月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 情報誌「そよかぜ」発送作業ボランティアの様子
9月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 夏のボランティア体験月間の実施報告
1月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 県ボランティアセンター ユーチューブチャンネル開設のご案内

掲載月	内 容
1月	県社協 SNS（ユーチューブ）への掲載 ボランティア団体活動PR動画（8団体）公開のご案内

② 助成（ボランティア活動交流普及事業）の実施

社会福祉のためにと寄せられた善意の金員や関心を実際の活動へとつなげることを目的とし、市町村社会福祉協議会が企画・実施した活動に対して助成を行った。（3事業）

ア 活動の企画、実施

団体名	活動名	活動内容
海南省 社会福祉協議会	生活支援ボランティア 養成講座	公的なサービスでは対応しきれないちょっとした困りごとのお手伝いをするボランティアの養成を目的として、生活支援ボランティア養成講座を開催
新宮市 社会福祉協議会	和の会	コロナ禍におけるお弁当の配布による独居高齢女性の見守り、マイクロバスを利用したお出かけサロンを開催し、三重県での花見を行った。
紀美野町 社会福祉協議会	災害ボランティアセン ターの設置・運営訓練及 び総合防災訓練	町民で結成した災害ボランティアの会が中心となり、災害VC設置運営訓練を行い、役割や機能、活動の流れを体験及び総合防災訓練を行った。

③ 相談・案内・活動支援及び活動保険の促進等

ア 活動相談窓口、事故対策及び保険取扱い、活動資機材の貸出

a ボランティア活動・行事用保険

ボランティア活動保険及びボランティア行事用保険への加入手続き等を行い、ボランティア活動に関する相談・問合せに対応した。

保険種類	加入者・団体数
活動保険（基本プラン）	770名
活動保険（天災プラン）	127名
活動保険（特定感染症重点プラン）	29名
行事用保険	73件 14,100名（延べ人数）

b 関係機材等の貸出

高齢者や障がい者を取り巻く生活環境や必要とするコミュニケーションを理解するため、地域や学校、ボランティア団体、施設等における学習、研修等に機材を貸し出した。

貸出日	品名	個 数	貸出先
4月1日～4月8日	高齢者疑似体験セット大人用	8	社会福祉法人紀三福社会
6月3日～6月9日	高齢者疑似体験セット大人用	6	社会福祉法人海南省社会福祉協議会
6月10日～6月17日	高齢者疑似体験セット大人用	3	グループホームひだまりの家（紀伊松風苑）
6月20日～6月24日	高齢者疑似体験セット大人用	8	和歌山市立貴志小学校
6月23日～6月30日	高齢者疑似体験セット子ども用	4	社会福祉法人高野町社会福祉協議会
6月30日～7月5日	高齢者疑似体験セット大人用	7	紀美野町保健福祉課
8月16日～8月19日	高齢者疑似体験セット大人用	4	ケアセンターおたっしや倶楽部かやま訪問介護事業所
8月24日～8月30日	高齢者疑似体験セット大人用	2	株式会社ウインドー

貸出日	品名	個数	貸出先
8月29日～8月29日	車椅子	3	NPO 法人日本理美容福祉協会
9月5日～9月5日	高齢者疑似体験セット大人用	3	NPO 法人日本理美容福祉協会
	車椅子	3	
9月8日～9月14日	高齢者疑似体験セット大人用	6	日高町立日高中学校
9月26日～9月28日	車椅子	5	和歌山市立西脇中学校
10月20日～10月25日	高齢者疑似体験セット大人用	3	社会福祉法人和歌山市社会福祉協議会
10月27日～10月31日	車椅子	10	和歌山市立河北中学校
10月31日～11月1日	高齢者疑似体験セット大人用	8	和歌山市立西脇中学校
11月24日～11月25日	高齢者疑似体験セット大人用	8	学校法人平成医療学園専門学校和歌山看護専門学校
11月18日～11月22日	高齢者疑似体験セット大人用	3	株式会社ウインドー
1月5日～1月12日	高齢者疑似体験セット大人用	7	IBW 美容専門学校
1月17日～1月17日	車椅子	3	NPO 法人日本理美容福祉協会
	高齢者疑似体験セット大人用	3	
1月17日～1月18日	高齢者疑似体験セット大人用	1	社会福祉法人和歌山市社会福祉協議会
	高齢者疑似体験セット子ども用	1	
1月26日～1月26日	高齢者疑似体験セット大人用	8	社会福祉法人和歌山市社会福祉協議会
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
3月2日～3月9日	車椅子	6	IBW 美容専門学校
3月24日～3月28日	高齢者疑似体験セット大人用	8	特別養護老人ホームありた橋苑
3月2日～3月9日	高齢者疑似体験セット大人用	6	IBW 美容専門学校
3月29日～3月31日	高齢者疑似体験セット大人用	1	株式会社ニチイケアネット和歌山営業所

c 物品の受託、調整等

任意預託（指定なし）		
受付日	預託者及び預託物品	払出先
4月1日～ 3月31日	収集ボランティア (使用済み切手・カード)	和歌山県切手同好会の協力を得て換金
換金日	換金額	受取社協
7月25日	15,000円	本会（はまゆう基金）
11月8日	6,000円	本会（はまゆう基金）
11月8日	3,000円	社会福祉法人白浜町社会福祉協議会
2月13日	6,000円	本会（はまゆう基金）

範囲指定		
受付日	預託者及び預託物品	寄贈先
5月16日	株式会社オーグス総研 リユースパソコン 24台	県内障害児者福祉施設（12施設）
7月～12月	和歌山イコール会議、連合和歌山 マイ・トイレセット 6,200個	本会
8月4日	一般社団法人生命保険協会和歌山 県協会 タオル 1,900本	県内特別養護老人ホーム（19施設）

範囲指定		
受付日	預託者及び預託物品	寄贈先
9月2日	中村 佳永様 車椅子 2台	社会福祉法人湯浅町社会福祉協議会 社会福祉法人由良町社会福祉協議会
10月14日	株式会社ツルハホールディングス 車椅子 5台	社会福祉法人新宮市社会福祉協議会 社会福祉法人有田川町社会福祉協議会 社会福祉法人広川町社会福祉協議会 社会福祉法人那智勝浦町社会福祉協議会 社会福祉法人みなべ町社会福祉協議会
11月14日	関西遊技機商業協同組合 車椅子 5台	県内グループホーム（5施設）
11月18日	一般社団法人親切会 関西支部 現金 5万円	アンサンブル琴和会 ワンチーム

イ 県ボランティア連絡協議会及び県ボランティアサロン運営支援

a 県ボランティア連絡協議会

期 日	場 所	内 容	参 加
4月12日	ボランティ アサロン	監事会 令和3年度事業実施報告及び決算報告について（監査）	2名
4月19日	オンライン 併用	理事会 ・令和3年度事業報告及び決算報告について ・令和4年度事業計画（案）及び予算（案）について	14名
4月19日	オンライン 併用	総会 ・令和3年度事業報告及び決算報告について ・令和4年度事業計画（案）及び予算（案）について	45団体
4月19日	オンライン 併用	交流会 紀の川市ボランティア連絡協議会の活動について	18名
10月25日	書面	第2回理事会 ボランティア団体活動PR動画募集（案）及び「和歌山県ボ ランティア団体紹介（仮名）冊子作成（案）について	15名
3月3日	書面	第3回理事会 ・令和4年度事業経過報告及び収支計算見込みについて ・令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について	12名
3月	—	ボランティア活動団体紹介冊子の作成、配布	61団体

b 県ボランティアサロン

・ボランティア活動情報交流会

期 日	内 容
令和4年6月21日（オンライン開催） 参加者6名	活動報告及び情報交換し、ボランティアリーダー の資質向上を図り、各グループの連携を強めた。

・県ボランティアサロン利用状況

期 日		利 用
4月1日～3月31日	回 数	110回
	人 数	490名

(2) コーディネーション能力向上事業の実施

① ボランティアコーディネーター養成研修

災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修に組み入れ実施した。

期 日	場 所	内 容	参 加
3月11日	和歌山市	災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修 (75名)	8名

(3) 福祉教育推進事業の実施

① 全国福祉教育推進員研修受講促進

期 日	場 所	内 容	参 加
6月27日～ 7月22日、 8月3日	和歌山市・ オンデマンド	全国福祉教育推進員研修	3名
7月20日	オンライン	全国福祉教育推進員研修 ファシリテーター事前打ち合わせ (3名)	1名
8月12日	オンライン	全国福祉教育推進員研修 ファシリテーター会議 (5名)	2名

② 市町村社協における福祉教育実践の情報共有及び福祉教育推進支援・実践報告

期 日	場 所	内 容	参 加
4月	全社協発行紙	「ボランティア情報」2022.4月号【事例掲載】	—
5月24日	オンライン	都道府県・指定都市社協 福祉教育担当者連絡会議【事例報告】	2名
9月28日	オンライン	全国福祉教育推進員研修 振り返り会 (15名)	3名

(4) その他、ボランティア関連事業への参加、協力、啓発（講義・評価・助言等）による支援の実施

期 日	場 所	内 容	参 加
5月13日	オンライン	都道府県・指定都市社協 部・課・所長会議	1名
5月17日	オンライン	都道府県・指定都市社協 ボランティアセンター所長会議	1名
5月27日	和歌山市	県知事表彰式	2名
6月14日	和歌山市	和歌山信愛大学ボランティア実習「社協とボランティア」 【講義】(75名)	1名
8月24日	和歌山市	わかやま子供食堂応援ネットワーク交流会	2名
10月2日	和歌山市	学生団体 WAKA×YAMA アイデアソン登壇チーム選考会	1名
11月1日	オンライン	近畿ブロック府県・指定都市社協 地域福祉・ボランティア 担当者会議	3名
11月18日	オンライン	ボランティア全国フォーラム 2022	1名
12月2日	オンライン	「花王ハートポケット倶楽部」助成選考委員会【委員】	1名
2月14日	オンライン	近畿ブロック府県・指定都市社協 地域福祉・ボランティア 担当部・課長会議	3名

2 大規模災害に備えた県災害VCの機能・体制を強化

(1) 市町村災害ボランティアセンター支援事業

① 広域・同時多発災害対応訓練の実施

期 日	場 所	内 容	参 加
7月4日	日高川町・オンライン	打ち合わせ会議（第1回・16名）	2名
7月29日	日高川町・オンライン	打ち合わせ会議（第2回・20名）	3名
10月11日	日高川町	開催地との打ち合わせ（6名）	1名
11月4日	日高川町・オンライン	打ち合わせ会議（第3回・25名）	3名
11月16日	日高川町・オンライン	最終打ち合わせ会議（27名）	3名
11月25日	日高川町	前日会議（15名）	2名
11月26日	日高川町	広域・同時多発災害対応訓練（145名）	17名
1月16日	日高川町・オンライン	振り返り会（26名）	3名

② 災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修の実施

期 日	場 所	内 容	参 加
2月24日	和歌山市	災害ボランティアセンター運営支援中核者ミーティング（10名）	2名
3月11日	和歌山市・オンライン	災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修（75名）	8名

③ 災害ボランティア活動支援にかかる訓練・研修への参画

期 日	場 所	内 容（打ち合わせ会議を除く）	参 加
5月12～13日	オンライン	第6回災害時の連携を考える全国フォーラム	1名
5月31日	オンライン	都道府県・指定都市社協 災害ボランティアに関する情報共有会議	1名
6月1日～2日	東京都	運営支援者フォローアップ研修 （災害ボランティア活動支援プロジェクト会議）	1名
6月22日	紀美野町	災害ボランティアの会 研修会（36名）	3名
6月30日	白浜町	白浜町立安居小学校「防災とボランティア学習」（11名）	1名
7月3日	紀美野町	紀美野町災害ボランティアセンター設置・運営訓練（60名）	3名
8月18日	オンライン	近畿ブロック府県・指定都市社協 災害時の相互支援に関する協定担当者会議	4名
8月18日	オンライン	令和4年8月3日からの大雨および台風8号に係る「支援者情報共有会議」	4名
8月19日	オンライン	緊急研修会「水害被害における法律相談の基礎知識」 （関東弁護士会連合会主催）	1名
9月22日	オンライン	近畿ブロック社協災害支援研修 第1回担当者会議	2名
10月4日	新宮市	熊野川災害ボランティアセンター設置・運営訓練（事前練習会）【アドバイザー】（30名）	1名
10月15日	新宮市	熊野川災害ボランティアセンター設置・運営訓練（64名）	1名
10月18日	海南市	海南市立巽中学校 福祉防災学習【講演とワーク】（162名）	1名
10月24日	東京都・	社協の災害支援体制と災害支援活動の強化に関する会議	3名

期 日	場 所	内 容 (打ち合せ会議を除く)	参 加
	オンライン		
10月28日	湯浅町	湯浅町老人大学【講演】(160名)	1名
10月29日	有田市	災害ボランティアセンター運営を学ぶ会【講義】(20名)	1名
11月8日	オンライン	近畿ブロック社協災害支援研修 第2回担当者会議	2名
12月22日	オンライン	第5回「南海トラフへの備え：地域福祉・防災」についての意見交換会(50名)	1名
1月12日	和歌山市	県国際交流協会 県災害時避難所巡回訓練(30名)	1名
1月15日	湯浅町	湯浅町福祉防災ボランティア研修会【講義】(40名)	1名
1月21日	紀の川市	シニア災害ボランティアシンポジウム in 和歌山 パネルディスカッション～災害時にもシニアのチカラとキモチを分かち合おう～【コーディネーター】(100名)	1名
2月1日	オンライン	近畿ブロック社協災害支援研修 第3回担当者会議	2名
2月3日	オンライン	和歌山弁護士会 災害対策に関する研修会	1名
2月13日	オンライン	近畿ブロック社協災害支援研修(第1日目)【トークセッション登壇】(59名)	1名
2月20日	奈良県	近畿ブロック社協災害支援研修(第2日目)(59名)	1名
2月25日	新宮市	新宮市災害ボランティアセンター設置運営訓練【総評】	1名
2月28日	オンライン	令和4年度「都道府県・指定都市社協災害VC担当者連絡会議」	1名
3月6日	オンライン	近畿ブロック社協災害支援研修振り返り会議(第4回担当者会議)	2名

(2) 県災害ボランティアセンター運営・啓発事業

- ① 和歌山大学へ価値共創研究員として職員を派遣し、学生災害ボランティアセンターの運営、災害ボランティア教育及び災害対策への助言等の支援を行った。

期 日	場 所	内 容	参 加
4月1日～ 3月31日	和歌山市	学生災害ボランティアステーション「むすぼら」運営支援	1名
9月13～15日	熊本県	学生災害ボランティアリーダー育成プロジェクト 【フィールドワーク】	1名
8月～11月 (計3回)	和歌山市	新規授業「災害ボランティア学」【講義】各120名	1名
12月9日	和歌山市	教養科目「自然災害と防災・減災」【講義】300名	1名
3月6～7日	和歌山市	令和4年度防災士養成講座【講義】30名	1名

- ② 県災害ボランティアセンター協力団体等との共同会議等の実施(連携強化及び協定締結の協議、県災害ボランティアセンターについて照会・相談等)

期 日	場 所	内 容	参 加
4～3月	和歌山市	県各課(県民生活課、防災企画課、循環型社会推進課、福祉保健総務課)	3名
4月7日、 6月8日、 3月9日	和歌山市	和歌山弁護士会	3名

7月～12月	和歌山市	和歌山イコール会議、連合和歌山から被災者支援携帯トイレの寄贈・搬入	3名
8月4日	岩出市	那賀・岩出・和歌山くろしおライオンズクラブ合同例会における寄付の受領	2名
8月9日	和歌山市	花王株式会社	1名
11月9日	和歌山市	日本赤十字社県支部	1名
12月2日、 3月24日	和歌山市	県建築士会	4名
12月4日	和歌山市	和歌山イコール会議 10周年記念式典における被災者支援携帯トイレ寄贈の受領	3名

③ スtockヤード（災害ボランティア活動支援資機材保管倉庫：「SY」と表記。）の配備・整備の実施

期 日	場 所	参 加
4月13～14日、8月22～23日、9月5～6日、9月8日、10月11日、10月14日、10月17日、10月20～21日、11月2日、11月21～22日、12月14日 (計16回)	和歌浦SYの退去に伴い、資機材を県内各SYに分配。併せて5カ所に新規SYを設置。 (備考) 県内SY15カ所 和歌山市(加太、新設：和歌山大学・わかやま市民生協南部支所・和歌山市立安原小学校)、紀の川市(増設)、橋本市、湯浅町、印南町、日高川町(新設)、田辺市(2カ所)、白浜町、すさみ町、串本町、新宮市(新設)	7名
7月26日、9月26～27日、11月14日、11月15日 (計4回)	資機材の整理を通して、地域の備えや個人装備の点検機会と仲間づくりを目的に、災害ボランティア登録者の協力を得て実施(延べ41名)	3名

④ 災害ボランティア登録の促進

期 日	場 所	内 容	新 規
4月1日 ～3月31日	和歌山県	災害ボランティア登録者(累計654名)	5名
3月	和歌山県	ノベルティグッズ「リストバンド」の作成 災害VC事業協力者(災害ボランティア登録者等)への粗品として	—

⑤ 情報発信、広報・啓発物の作成、活動の見える化

期 日	内 容
6月23日	県社協SNS(インスタグラム、フェイスブック)への掲載 紀美野町災害ボランティアセンター設置運営訓練
8月27日	「リビング和歌山」への掲載 ～地域で活躍!災害ボランティア～
9月26日、 10月21日、	県社協SNS(インスタグラム、フェイスブック)への掲載 災害ボランティア活動支援資機材整理

11月18日	
11月26日	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 広域・同時多発対応訓練
1月	県社協広報誌「福祉わかやま」（発行部数 10,000 部／月）への掲載 【特集】「防災とボランティア」 ～被災者支援・災害ボランティア活動を支えるモノ～
3月11日	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック、ユーチューブ）への掲載 災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修

《地域福祉部・健康生きがい班・和歌山県いきいき長寿社会センター事業関係》

1 地域活動を行うシニアリーダー養成

(1) いきいきシニアリーダーカレッジの実施

長年にわたり培った豊富な知識や経験を活用し、地域の見守り活動や日常的な生活支援、居場所づくり、サロンづくりなど地域のニーズに応じた活動を行うシニアリーダーとして、必要な知識を習得していただき、地域における高齢者等の日常的な支え合い活動を行う人材を養成し、高齢者の社会参加活動を促進することを目的に実施した。

校名	学科名	受講者数
①和歌山校	シニアの住みよいまちづくり実践学科	46名
②田辺校		33名
③橋本校		94名
計		173名

なお、各校のカリキュラムは、次のとおり。

令和4年度 いきいきシニアリーダーカレッジ [和歌山校] カリキュラム

回	期日	内容	講師名
1	5月18日	地域で暮らすために ～県内の取り組みを学ぶ～	和歌山大学副学長 足立 基浩 氏
2	5月25日	循環型社会形成と各リサイクル法の概要 活動報告	県循環型社会推進課 NPO クリーン&コネクト和歌山 代表 幸前 青空 氏
3	6月 3日	SNSの効果的な使い方	和歌山県NPOサポートセンター 所長 志場 久起 氏
4	6月16日	救命講習について	和歌山市消防局
5	7月 6日	防災(台風/停電、地震/津波)への取り組み 再生可能エネルギーについて	関西電力送配電株式会社
6	7月20日	口腔機能向上～口の中の健康～	歯科衛生士 稲垣 厚子 氏
7	8月 3日	消費者被害にあわないために	和歌山県金融広報委員会 金融広報アドバイザー 田村 富美 氏
8	8月18日	アンガーマネジメント講座	(一社)日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントトレーニングプロフェッショナル 堀部 三智子 氏
9	9月 7日	レクリエーションとは?楽しむための基本	和歌山県介護福祉士会 会長 下垣内 雅巳 氏
10	9月14日	脳トレと軽運動～コグニサイズで認知予防～	コグニサイズ実践者 有本 友紀 氏
11	10月 5日	健康体操と正しい姿勢講座	あわじ鍼灸整骨院 院長 淡路 芳久 氏
12	10月28日	レクリエーションで明るく元気に	レクリエーションインストラクター 寺嶋 あおい 氏
13	11月 9日	交通安全・防犯について	和歌山県警察本部 和歌山県県民生活課

回	期 日	内 容	講師名
14	11月17日	認知症を正しく知って楽しく予防	橋本市民病院脳神経外科 部長 大饗 義仁 氏
15	12月 9日	和歌山を知ろう 地元の魅力発見 ～「和歌山城」～	和歌山市語り部クラブ 代表 丸毛 光明 氏 他3名
16	1月18日	知って得する税知識	和歌山税務署
17	1月30日	より良いコミュニケーションのポイント	フェリアン 講師 森崎 和代 氏
18	2月15日	地域活動実践！ 地域にあったサロンとは	和歌山大学経済学部 教授 金川 めぐみ 氏

令和4年度 いきいきシニアリーダーカレッジ [田辺校] カリキュラム

●シニアの住みよいまちづくり実践学科

回	期 日	内 容	講師名
1	5月 9日	消費者被害トラブル対策講座	和歌山県消費生活センター 消費生活相談員 渡辺 富美 氏
2	5月23日	田辺ジオパーク研究会の取組&田辺の魅力について	田辺ジオパーク研究会 代表 藤五 和久 氏
3	6月 6日	任意後見契約・遺言書の書き方について	公証人役場
4	6月20日	認知症の予防・治療・ケアについて	南和歌山医療センター
5	7月11日	仲間を増やすコミュニケーション	レクリエーションインストラクター 尾根 敬子 氏
6	7月25日	交通安全教室体験型講座	交通事故をなくする田辺市民運動推進協議会事務局
7	8月22日	障がい理解～発達障がいについて～	土曜親子サークルカンガとルー 土永 真砂子 氏
8	9月 5日	NPO法人ワンニャン会の取組について	NPO 法人ワンニャン会 代表 中本 宣子 氏
9	9月20日	プロに学ぶ介護のコツ	和歌山県介護普及センター
10	10月 7日	救命講習	田辺消防署
11	10月24日	レクリエーションとは？楽しむための基本	和歌山県介護福祉士会 会長 下垣内 雅巳 氏
12	11月 7日	コーチングについて	OFFICE GRACE 代表 平野 未花 氏
13	11月21日	障がい理解～高次脳機能障がいについて～	和歌山脳外傷友の会家族会(和らぎ) 紀南代表 山下 裕子 氏
14	12月 5日	天神崎の自然を大切にする会の取組み&田辺の魅力について	(公財)天神崎の自然を大切にする会 理事 藤五 和久 氏

回	期 日	内 容	講師名
15	12月19日 →1月26日 に変更	障がい理解～聴覚障がいについて～	たなへ聴覚障害者協会
16	1月11日	要約筆記の基本を学ぼう	和歌山要約筆記会/和歌山県中途失聴・難聴者協会
17	2月 6日	立戸自主防災会の取組について	立戸自主防災会 事務局長 石山 雅美 氏
18	2月13日	居場所づくりについて ～支え合いで暮らせる地域づくり～	社会福祉コミュニティ総合事務所 代表 市野 弘 氏

令和4年度 いきいきシニアリーダーカレッジ [橋本校] カリキュラム

●シニアの住みよいまちづくり実践学科

①ささえあいコース

回	期 日	内 容	講師名
1	5月10日	地域活動について学ぼう	和歌山大学 副学長 足立 基浩 氏
2	6月14日	高齢期のこころと身体	和歌山県鍼灸マッサージ師会 会長 宮本 年起 氏
3	7月12日	遺言・相続について	和歌山地方方法務局橋本支部
4	8月 9日	元気で活動するための基礎知識 ～食事について～	和歌山県栄養士会 管理栄養士 紙谷 伸子 氏
5	9月13日	みんなで笑顔に ～レクリエーションを学ぼう～	レクリエーションコーディネーター 岩崎 哲 氏
6	10月11日	認知症予防ゲーム	認知症予防ネット・わかやま 藤島 壽子 氏
7	11月 8日	口腔機能向上 ～口の中の健康～	歯科衛生士 稲垣 厚子 氏
8	12月13日	いきいき百歳体操	橋本市いきいき健康課
9	1月10日	認知症サポーター養成講座	橋本市いきいき健康課 認知症当事者と家族の会 「みかんの会」 山本 芳照 氏
10	2月14日	地域で支え合うために「聴く力」を身につけよう—傾聴の意味と効果—	傾聴ボランティア青い鳥 会長 青木 久美子 氏

②紀北の魅力発見コース

回	期 日	内 容	講師名
1	5月24日	鎌倉時代の高野山	高野山大学 名誉教授 山蔭 加春夫 氏
2	6月28日	和歌山の伝統工芸品	和歌山県企業振興課
3	7月26日	橋本市内の資料などから見える江戸時代の旅	和歌山市立博物館 佐藤 顕 氏
4	8月23日	紀州から見た天誅組の変	橋本市文化財保護審議会 委員 岩倉 哲夫 氏
5	9月27日	郷土の歴史を学ぼう！ ～鯨考～	橋本市文化財保護審議会 委員 富加見 泰彦 氏

回	期 日	内 容	講師名
6	10月25日	紀北地域の歴史・文化を学ぼう！	和歌山市語り部クラブ 代表 丸毛 光明 氏
7	11月22日	新高野街道を歩いて高野山へ	橋本観光ガイドの会 代表 北本 一美 氏
8	12月27日	橋本市にみる葛城修験の遺産	橋本市文化財保護審議会 委員 宮本 佳典 氏
9	1月24日	応其上人の事蹟	橋本観光ガイドの会 中島 靖久 氏
10	2月28日	みんながいいきいと暮らす地域のために	摂南大学 講師 上野山 裕士 氏

(2) 高齢者サロン運営アドバイザー養成事業の実施（講座の開催）

高齢者が身近な場所で集まり、ふれあいを通じて仲間づくりを行い、認知症予防等の拠点ともなる地域サロン活動が重要となっているなか、地域のニーズに応じたサロン活動のアドバイス等を行う人材を養成することを目的に実施した。

開催場所	開催協力社協	受講者数
上富田福祉センター	上富田町社会福祉協議会	42名

※当初予定の和歌山市での講座については、新型コロナウイルスの影響のため中止。

高齢者サロン運営アドバイザー養成講座 カリキュラム（上富田町）

日 時	内 容
6月23日	1 開講式 2 講演 「いきいき楽しい音楽療法」 講師 和歌山音楽療法研究会理事長 多田佳世子 氏
7月28日	講演 「地域活動をすすめるうえで使えるレクリエーション技法について」 講師 地域密着型事業所 つぼみ 施設長 奥 幸博 氏
9月29日	講演 「サロンの目指すもの～今後のあるべき姿～」 講師 和歌山大学経済学部 教授 金川 めぐみ 氏
10月20日	1 講演 「地域で支え合い 何か地域でできることは？」 講師 和歌山県介護福祉士会 会長 下垣内 雅巳 氏 2 修了式

(3) 仲間づくり支援事業の実施

高齢者が家に閉じこもることなく外に出て、生きがいを持って活動することができる環境をつくるため、同じ趣味や興味を持つ高齢者が集まり、自由に活動が行えるよう、情報提供やサークル活動等を援助するとともに、コーディネートする仲間づくり支援相談員（1名）を配置した。

また、いきいきシニアリーダーカレッジ・高齢者サロン運営アドバイザー養成講座の修了後、単独で地域活動を継続して行うことが難しいという課題解決のため、修了者等がグループを結成して活動を行うときに、本会からアドバイザーの派遣や消耗品を支給する支援事業を実施した。

令和4年度は次の3グループを支援した。

たちど花と仲間(田辺市)、にこにこサロン(有田市)、さざんかの会(和歌山市)

2 高齢者の生きがいづくり・健康増進

(1) 紀の国いきいき健康長寿祭の開催

高齢者に年間を通してスポーツに親しむ機会を持っていただき、健康づくり・仲間づくり・社会参加活動の促進を図り、いきいきと暮らせるまちづくりを進めるとともに、「第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会(ねんりんピックかながわ2022)」及び「第35回全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック愛媛のえひめ2023)」出場選手の選考会を兼ねたスポーツ交流大会とすることを目的に開催した。

各競技種目の優勝～第4位までに賞品とメダルを授与、また、参加者の中から年齢が最も高い方を「最高

「年齢賞」として表彰した。

① スポーツ交流大会の開催

ア 紀の国いきいき健康長寿祭 スポーツ交流大会〔兼：「第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会（ねんりんピックかながわ2022）」出場選手選考会〕

期 日 令和4年5月25日
場 所 和歌山市立河南総合体育館（和歌山市）
種 目 卓球
参加者 13名

イ 紀の国いきいき健康長寿祭 スポーツ交流大会〔兼：「第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛媛のえひめ2023）」出場選手選考会〕

a 期 日 令和4年9月5日
場 所 河西緩衝緑地公園サッカー場（和歌山市）
種 目 グラウンド・ゴルフ①
参加者 240名

b 期 日 令和4年9月9日
場 所 河西緩衝緑地公園野球場（和歌山市）
種 目 ペタンク
※荒天のため開催中止

c 期 日 令和4年11月29日
場 所 南山スポーツ公園（日高川町）
種 目 グラウンド・ゴルフ②
※荒天のため開催中止

d 期 日 令和4年12月8日
場 所 御坊市野口ゲートボール場（御坊市）
種 目 ゲートボール
参加者 83名

e 期 日 令和4年12月13日
場 所 南山スポーツ公園（日高川町）
種 目 グラウンド・ゴルフ②
参加者 193名

f 期 日 令和4年12月15日
場 所 潮岬青少年の家（串本町）
種 目 グラウンド・ゴルフ③
参加者 113名

g 紀の国いきいき健康長寿祭 パークゴルフ交流大会
高齢者の健康増進と生きがいづくり・仲間づくり・社会参加活動の促進を図り、高齢者が生涯現役でいきいきと暮らせるまちづくりを進めることを目的に開催した。

期 日 令和4年9月21日
場 所 のかみふれあい公園パークゴルフ場（紀美野町）
種 目 パークゴルフ
参加者 186名

○総参加人数 828名

② 紀の国いきいき健康長寿祭 囲碁大会・将棋大会〔兼：「第35回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会（ねんりんピックかながわ2022）」出場選手選考会〕

高齢者が、囲碁・将棋を通じて脳を若く保つトレーニングに努め、健康づくり・仲間づくり・社会参加活動の促進を図り、いきいきと暮らせるまちづくりを進めるとともに、「第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会（ねんりんピックかながわ2022）」出場選手選考会を兼ねた大会を開催した。

	日 時	開 催 場 所	参加者
囲 碁	令和4年6月 7日 (火)	和歌山ビッグ愛1階展示ホール	25名
将 棋	令和4年6月 8日 (水)	和歌山ビッグ愛1階展示ホール	40名

- ③ 紀の国いきいき健康長寿祭 健康マーじゃん大会〔兼：「第35回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会（ねんりんピックかながわ2022）」出場選手選考会〕

	日 時	開 催 場 所	参加者
健康マーじゃん	令和4年5月23日 (月)	アミューズメントプレイス ま〜じゅん	24名
健康マーじゃん	令和4年5月27日 (金)	アミューズメントプレイス ま〜じゅん	24名

- ④ 紀の国いきいき健康長寿祭 シルバー美術展〔兼：「第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛顔のえひめ2023）」出品作品選考会〕

高齢者が創作した美術作品を展示する機会を設けることにより、高齢者の創造力を高め、文化活動を促すとともに、ふれあいと生きがいづくりを推進することを目的に開催した。

期 日 令和5年2月16日～19日（4日間）
場 所 和歌山ビッグ愛1階展示ホール（和歌山市）
出 品 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真
出品申込点数 153点
ねんりんピック愛顔のえひめ2023 出品作品 8点

- ⑤ ふれあい作品展

老人福祉施設及び介護保険施設の利用者に作品を発表する場を提供することにより、創造力を高め、文化活動を促すとともに、ふれあいと生きがいづくりを目的に開催した。

期 日 令和4年12月15日～19日
場 所 和歌山ビッグ愛1階展示ホール（和歌山市）
内 容 出展法人（施設）数：34法人（55施設）
出品点数：519点
出品内訳：絵画52点、手芸343点、工芸109点、書39点、写真1点
出品者数：598名（共同制作者を含む）
出品者のうち最高齢の方（105歳1名）を「最高齢者賞」、100歳を超える方16名（最高齢者賞受賞者を除く）を「高齢者賞」として表彰した。（来場者数385名）

- (2) 第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会（ねんりんピックかながわ2022）参加者派遣事業について

高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康福祉の総合的な祭典である「全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）」が令和4年11月12日～11月15日に神奈川県で開催され、147名の選手を派遣した。

第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会（ねんりんピックかながわ2022）

期 日 令和4年11月12日(土)～11月15日(火)
テーマ 神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔 ～未病改善でスマイル100歳～
場 所 神奈川県内 29市町で開催

3 社会参加（ボランティア、NPO活動等）を希望する高齢者と企業や団体、学校等を結びつける取組を推進

(1) 「わかやま元気シニア生きがいバンク事業」の実施

平成 29 年度に和歌山県から委託を受け運営を開始した「わかやま元気シニア生きがいバンク事業」については、高齢者の「生きがいづくり」と「健康づくり」を促進するため、これまでサークル活動実施団体や老人クラブを始めとする各種団体への訪問等を行い活動の場を広げてきたが、商工観光・芸術文化・スポーツ関係団体など新たな分野を開拓し活動の場を広げた。

また、ホームページを充実させ、バンク登録者の公開や、Web上で登録や活動依頼・活動報告など一連の作業がスムーズに行えるよう改良を行うとともに、幅広く利用していただけるようリーフレットやチラシ、各種団体との連携などで、幅広く広報を行った。

生きがいバンクへの登録については、個人・団体合わせて 584 件、またマッチングについては、243 件となり様々な活動を行った。

令和4年度わかやま元気シニア生きがいバンク登録状況等

登録件数	584 件（累計 5,441 件）	
(内訳)	個人	577 名（累計 5,246 名）
	団体	7 団体（累計 195 団体）
マッチング件数	243 件（累計 1,161 件）	

※累計は平成 29 年 7 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの件数。

4 その他

(1) ボランティアスタッフ「いきいきSUN」の登録・活用事業の実施

いきいき長寿社会センターが行う健康・生きがいづくり事業に関する事務作業、広報、準備および実施時の運営スタッフとして登録している「いきいきSUN」のボランティアスタッフに、各種事業への参加・協力を得た。

登録者の状況 59名

(内 訳) 和歌山市 47名、海南市 3名、紀の川市 3名、岩出市 5名、白浜町 1名

(2) 全国・近畿ブロック推進機構会議等への参加

会 議 名	期 日	参加
全国健康福祉祭担当係長会議	5月27日	オンライン
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 令和4年度第1回総会	7月4日	オンライン
令和4年度近畿ブロック推進機構連絡協議会	3月17日	書面(滋賀県)
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 令和4年度第2回総会	2月28日	オンライン

～事項別報告～

Ⅲ福祉人材研修部

《福祉人材研修部・福祉人材センター事業関係》

1 福祉人材の確保・定着支援、福祉の魅力発信

(1) 福祉人材センター事業（福祉人材無料職業紹介事業等）

① 福祉人材の登録・紹介及び無料職業紹介にかかる窓口業務

年間を通じて、福祉分野への就業を希望する方等からの相談受付、求人情報の提供や、福祉の仕事にかかる求職登録・紹介を行った。

ア 相談件数

	求人	求職	計
センター	789	1,141	1,930
バンク	489	475	964
県全体	1,278	1,616	2,894

イ 求人求職登録及び紹介・就職状況

	新規求人数	新規求職数	紹介・応募者数	採用・内定数
センター	1,789	488	49	45
バンク	1,543	292	37	25
県全体	3,332	780	86	70

ウ 福祉人材情報システム（COOLシステム）の運用

中央福祉人材センターが運営する福祉人材情報システム「福祉のお仕事」により求人情報を掲載し、求人・求職者への情報提供、全国統計等への情報送信を行った。

また、求人事業所からの申請に応じ、システムによる求職者への案内を実施した。

② 求人・求職情報の提供、求人情報「わーく」の発行

求人情報紙を毎月作成し、求職登録者に送付、窓口相談者等にも配布。ホームページにも掲載した。

発行部数：1,500部×5か月（7、8、11、2、3月）、1,300部×7か月（その他の月）

③ 紀南福祉人材バンク事業の実施（委託・運営支援）

ア 県内全域において円滑に事業を進めるため、紀南福祉人材バンクを設置し、職業紹介事業の窓口業務等を実施した。

イ 紀南福祉人材バンク運営協議会

期 日	3月24日
会 場	田辺市民総合センター
運営委員	7名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告 ・令和5年度事業計画（案）について ・その他

(2) 福祉・介護人材マッチング支援等

① 福祉・介護職場就職相談会等の実施

ア 福祉・介護・保育の就職フェア

福祉・介護・保育職場への就職希望者等を対象に、求人（予定）事業所との個別面談会を実施した。

また、福祉の仕事や資格取得に関する様々な相談にも応じた。

	第1回 (紀北会場)	第2回 (紀北会場)	第3回 (紀北会場)
期 日	7月2日	11月5日	3月4日
会 場 (開催方法)	和歌山ビッグ愛 (オンライン) ※求職者は来場	和歌山ビッグ愛 (対面・オンライン併用)	和歌山ビッグ愛 (対面・オンライン併用)
参加者	61名	66名	53名
参加事業所	44事業所	36事業所	38事業所
求人数	314名	299名	310名
採用・内定者	4名	10名	1名 (3月31日現在)

	第1回 (田辺会場)	(新宮会場)	第2回 (田辺会場)
期 日	8月11日	10月30日	2月5日
会 場 (開催方法)	田辺市民総合センター (オンライン) ※求職者は来場	新宮市福祉センター (対面)	ビッグ・ユウ (対面・オンライン併用)
参加者	24名	8名	36名
参加事業所	26事業所	9事業所	28事業所
求人数	187名	45名	170名
採用・内定者	2名	1名	4名

イ 地域密着型就職説明会 (介護助手就職相談会) の開催

介護未経験の中高齢者等の入門的研修 (2日間) を和歌山県介護普及センターが行うのにあわせ、連携して就労までのマッチングを行った。

	紀の川市	田辺市	和歌山市
期 日	7月23日	8月11日	8月28日
会 場	打田生涯学習センター	田辺市民総合センター	プラザホープ
来 場 者	8名	5名	13名
参加事業所	13事業所	3事業所	13事業所
求人数	48名	5名	59名
採用・内定者	0名	0名	2名

	和歌山市	橋本市	田辺市
期 日	1月15日	1月29日	2月5日
会 場	南コミュニティセンター	橋本市民会館	ビッグ・ユウ
来 場 者	15名	14名	18名
参加事業所	9事業所	7事業所	6事業所
求人数	77名	28名	9名
採用・内定者	1名	0名	4名

② 福祉・介護の仕事チャレンジ (職場体験事業)

ア 介護分野の仕事に関心のある学生・一般の方に対して、介護職場での体験の機会を提供。

- ・体験実施期間 4月15日 (金) ~ 3月24日 (金)
- ・申込受付期間 4月 1日 (金) ~ 3月10日 (金)
- ・受入事業所数

分野	事業所数
高齢者福祉・介護	117
障害者福祉	78
児童福祉	38
計	233

・参加者数 43名（一般20名・学生23名）

・参加者の体験先施設

体験先種別	施設名	参加者数	延日数
特別養護老人ホーム	紀三井寺苑	1	3
	きしがわ園	1	1
	カルフル・ド・ルポ印南	1	1
	はまゆう園	1	3
介護老人保健施設	パインドーム	1	9
	光苑	1	1
	田辺すみれ苑	1	2
サービス付き高齢者向け住宅	やすらぎの郷 メゾン・ド・シンフォニー	1	2
有料老人ホーム	さくら有料老人ホーム	2	4
小規模多機能型居宅介護	あいの里	2	5
看護小規模多機能型居宅介護	生協複合型サービス	1	2
通所介護	コスモス	1	1
	冬野の郷	3	7
	あいの里	1	3
	デイサービス あおぞら夢	1	5
	小倉デイサービスセンター	1	1
通所介護	いちごの里	1	1
	生協デイサービス	3	8
	芦原診療所	1	2
	デイサービスセンター ウェルネス	1	2
	デイサービスセンター つつじ園	1	3
認知症対応型共同生活介護	グループホームささゆり	1	2
訪問介護	いのうえケアセンター訪問介護	1	1
生活介護・就労継続支援B型	まごころランド	2	2
就労移行支援	マイパレット	1	2
共同生活援助	有田生活総合支援センターしゅり	1	1
児童発達支援センター	あおい学園	1	1
	ひまわり園	1	5
	通園みらい	3	4
放課後等デイサービス	ほほえみ	1	2
	みらい発達塾ダック	1	4
保育所	城北保育所	1	5
	山崎保育所	1	2
	粉河保育園	1	3
計	32事業所	43	100

・事業の広報周知等

情報紙への広告掲載、学校訪問の際の説明、出張相談・就職フェア実施時の資料配付等により行った。

イ 体験終了後、福祉人材センターへの登録の案内等、介護分野への就労支援を行った。

・体験者の就労状況

(単位：人)

体験先に就職内定	8 (3)
体験先とは別な介護サービス等事業所に就職	3 (0)
福祉系大学・専門学校へ進学	0 (0)
次学年へ進級	13 (13)
介護分野以外に就職、進学	0 (0)

体験後も体験前と同じ所に在職(介護)	2 (0)
体験後も体験前と同じ所に在職(介護以外)	0 (0)
模索中である・回答待ち	17 (7)

※ () 内の数字は学生数

ウ 事業所への事前説明及び結果のフィードバック

・事業所への事前説明

受入依頼の時に、実施要項・受入申込要領等を送付し、事前説明とする。また併せて、実際の体験者受け入れ時には、受入決定通知を送付後、電話にて書類内容と体験の事前説明を行った。

・結果のフィードバック

受入事業所に体験者報告のまとめを送付した。

③ 学校訪問、出前講座による人材の参入促進

ア 中学校・高等学校・支援学校への訪問

期日	訪問先
7月5日	新翔高校、串本古座高校
7月6日	南紀高校、神島高校、南部高校
7月7日	市立和歌山高校、和歌山北高校西校舎、和歌山高校、きのくに青雲高校、和歌山工業高校
7月8日	和歌山東高校、貴志川高校、紀北農芸高校、熊野高校、田辺高校
7月11日	海南下津高校、箕島高校、紀央館高校、田辺工業高校、田辺高校
9月7日	荒川中学校
10月13日	和歌山東高校、和歌山高校
10月17日	きのくに青雲高校
10月19日	有田中央高校
10月25日	和歌山北高校西校舎
11月16日	有田中央高校
11月21日	有功中学校
1月18日	熊野高校、田辺工業高校、神島高校、南部高校、田辺高校、南紀高校
1月27日	西浜中学校
2月4日	きのくに青雲高校、和歌山東高校
2月8日	日高高校附属中学校、日高高校、有田中央高校
2月28日	紀伊中学校
3月2日	西浜中学校

イ 大学・短期大学・専門学校への訪問 (電話等含む)

期日	訪問先
4月22日	和歌山 YMCA 国際福祉専門学校
6月17日	佛教大学、京都西山短期大学、大阪城南女子短期大学、東大阪大学短期大学部、四天王寺大学短期大学部、大阪医療福祉製菓専門学校梅田校、羽衣国際大学、大阪大谷大学、関西福祉科学大学、桃山学院大学、大阪府立大学、関西大学、関西女子短期大学、大阪健康ほいく専門学校、桃山学院教育大学、平安女学院大学、神戸学院大学、関西学院大学、聖和大学短期大学部、武庫川女子大学、甲南女子大学、神戸松蔭女子学院大学、姫路獨協大学、聖和短期大学、天理大学、大阪樟蔭女子大学
6月18日	KEG キャリアアカデミー
7月4日	和歌山 YMCA 国際福祉専門学校
9月5日	ウインドー
10月13日	KEG キャリアアカデミー、日建学院和歌山校、和歌山コンピュータービジネス専門学校
10月14日	和歌山 YMCA 国際福祉専門学校

10月17日	ウインドー
10月18日	和歌山信愛大学
10月19日	和歌山社会福祉専門学校
10月21日	和歌山大学、和歌山コンピュータービジネス専門学校、関西大学、大阪大谷大学、 関西福祉科学大学、桃山学院大学、関西女子短期大学、大阪健康ほいく専門学校、 日本メディカル福祉専門学校、東大阪大学、京都女子大学、佛教大学
1月5日	和歌山 YMCA 国際福祉専門学校
1月16日	和歌山信愛大学
1月24日	和歌山信愛大学
2月3日	和歌山社会福祉専門学校
2月4日	日建学院和歌山校、和歌山コンピュータービジネス専門学校
2月27日	和歌山信愛大学、和歌山大学、大阪大谷大学、関西福祉科学大学、桃山学院大学

ウ 福祉のしごと出前講座

期 日	訪 問 先	講 師
5月13日	和歌山信愛大学 キャリアガイダンス（3回生：64名）	和歌山県福祉人材センター
5月27日	神島高校（3年生：11名）	老人保健施設あきつの
6月18日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：有田市（高校生：7名）	和歌山県福祉人材センター
6月25日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生：12名）	和歌山県福祉人材センター
6月26日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生：7名）	和歌山県福祉人材センター
7月3日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：田辺市（高校生：12名）	特別養護老人ホーム愛の園
7月6日	向陽高校 向陽キャリアゼミナール（1年生：24名）	和歌山県福祉人材センター
7月12日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者：5名）	和歌山県福祉人材センター
8月30日	よつ葉福祉会 離職者等職業訓練（受講者5名）	和歌山県福祉人材センター
9月13日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者：5名）	和歌山県福祉人材センター
10月1日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生：10名）	和歌山県福祉人材センター
10月2日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生：3名）	和歌山県福祉人材センター
10月7日	介護労働安定センター和歌山支部 介護労働講習（受講者40名）	和歌山県福祉人材センター
10月9日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：田辺市（高校生：7名）	老人保健施設あきつの
11月10日	荒川中学校（2年生：37名）	和歌山県介護福祉士会 紀の川市社会福祉協議会 和歌山県福祉人材センター
11月15日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者：14名）	和歌山県福祉人材センター
12月10日	串本古座高校 介護職員初任者研修（3年生：6名）	特別養護老人ホーム 古座川園

12月13日	南紀高校（1～3年生：80名）	特別養護老人ホーム愛の園
12月28日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生：3名）	和歌山県福祉人材センター
1月10日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者：4名）	和歌山県福祉人材センター
1月14日	社会福祉法人安原福祉会 介護職員初任者研修（高校生：4名）	和歌山県福祉人材センター
1月16日	和歌山信愛大学（1回生：70名）	和歌山県福祉人材センター
1月26日	田辺東部小学校（6年生：62名）	やおき福祉会 本部
2月17日	よつ葉福祉会 離職者等職業訓練（受講者3名）	和歌山県福祉人材センター
3月1日	中芳養小学校（6年生：22名）	サービス付き高齢者向け住宅 イクル南部
3月6日	日高高校附属中学校（1年生：39名）	和歌山県介護福祉士会 和歌山県福祉人材センター
3月10日	紀伊中学校（2年生：200名）	和歌山県介護福祉士会 和歌山県福祉人材センター
3月22日	西浜中学校（2年生：146名）	和歌山県介護福祉士会 和歌山県福祉人材センター

④ 求職者等への福祉の仕事 出張相談

福祉人材センターのブースを設置するなどし、求人・求職にかかる相談、資格取得方法等にかかる相談に応じるとともに、福祉の仕事の広報、資料等を配布することで、福祉人材センター及び紀南福祉人材バンクの周知に努めた。

ア 各種イベントへの出張相談

各団体が実施する合同説明会や介護職員初任者研修の場で、「福祉のしごと相談コーナー」を設け、福祉の職場への就労促進と福祉人材センター・バンクのPR等を行った。

期 日	場 所	相談件数
6月1日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	18
7月1日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	14
7月8日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	18
8月12日	紀南合同企業説明会Uターンフェア in 田辺（田辺市）	2
8月22日	第57回きのくに人材Uターンフェア（和歌山市）	1
8月23日	第57回きのくに人材Uターンフェア（和歌山市）	1
9月22日	女性の就職応援フェア2022（和歌山市）	10
9月30日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	7
10月17日	高校生のための合同企業説明会（田辺市）	0
11月18日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	16
11月23日	わかやま就職フェア合同企業説明会（和歌山市）	3
12月28日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	9
1月14日	合同企業説明会田辺就職フェア	1
2月19日	ふれあい文化祭（田辺市）	3
3月5日	Mama Job マルシェ「ママの就職相談会」（紀の川市）	0
3月13日	第58回きのくに人材Uターンフェア（和歌山市）	2
3月14日	第58回きのくに人材Uターンフェア（和歌山市）	0
3月14日	ハローワーク和歌山（和歌山市）	5
3月24日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	11

イ ハローワーク等への出張相談

ハローワーク等で、福祉の仕事内容や資格・就職活動の方法などの情報提供をし、人材のすそ野の拡大を進め、多様な人材の参入促進を図った。

出張先	実施日	実施回数	相談件数
ハローワーク御坊	奇数月の第3水曜日	6	6
ワークプラザ紀ノ川	奇数月の第2水曜日	6	4
ハローワーク新宮	奇数月の第3火曜日	6	7
よりみちサロンいおり	毎月第3金曜日	12	1

⑤ 福祉の仕事イメージアップ事業

ア 介護職のイメージアップ冊子の作成

中学生・高校生やその保護者、教員等向けガイドブック『『介護』という仕事』の作成

イ 県内中学校・高校等への情報提供

ウ 福祉関係DVDの貸出

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
貸出数	3	3	20	2	4	4	7	18	10	1	12	3	87
貸出人数	2	2	7	2	2	2	3	3	2	1	1	2	29

エ 各種広報媒体を活用した広報・啓発

・本会広報紙、ホームページ、SNS (Facebook、LINE) への情報掲載

⑥ 介護福祉士等の復職支援

ア 有資格者の届出システムの周知、届出システムによる情報提供

離職した介護福祉士の福祉人材センターへの届出(努力義務)とともに、現在就業中の方を含む介護福祉士、保育士、介護職員初任者研修修了者等有資格者の生涯にわたる復職についての支援を福祉人材センターが行うことを目的とした全国共通の届出システムの登録・利用方法を周知した。また、届出システムによる情報提供を行った。

届出者数 364名

イ 潜在介護職員再就職支援研修会の開催

(紀南会場では「福祉のしごと応援セミナー」を開催)

期 日	紀北会場		紀南会場	
	2月14日		9月22日	10月14日
会 場	和歌山ビッグ愛		田辺市民総合センター	新宮市社協 新宮ステーション
参加者	17名		6名	5名
内 容	講義・演習 「介護職の魅力と介護現場の現状」 「身体に負担をかけない介護(実技)」		講義・演習「福祉のしごと応援セミナー」 「学びなおそうキホンの介護技術 ～現場で働く先輩が教えます!～」	

※ 研修後就職者計1名

ウ 情報の提供

平成26年度及び27年度実施のアンケート調査への回答者のうち、情報提供希望者に職場体験や就職フェア、再就職支援研修会等の情報を提供。(希望者数71名 [内訳: 送付22名、LINE49名])

⑦ 介護未経験の中高齢者等マッチングに関する求人情報の提供

介護未経験の中高齢者等の入門的研修及び介護助手就職相談会の広報を実施するとともに、マッチングに関する求人情報の提供を行った。

ア 就職情報の提供

研修会案内と事業所の求人情報を紹介する冊子を作成し、ハローワーク、シルバー人材センター、市町村等を通じ配付した。

イ 地方新聞・情報紙への広告掲載

⑧ 福祉施設等の経営相談及び専門アドバイザーの設置

ア 福祉施設等の経営相談

相談助言 3件

イ 専門アドバイザーによる専門相談

奥原 昇 氏 (社会保険労務士)

⑨ 事業所訪問、求人マッチングに係る調整

求人開拓等のため、事業所を訪問した。訪問先延べ605事業所。

⑩ 福祉施設等経営者セミナー

各事業所における福祉人材の確保と定着を支援するため、セミナーを開催した。

ア 第1回

期 日	5月19日
開催方法	オンライン
参加者	29名
内 容	「介護業務を見直すことで多様な人材の確保につなげる～三重県モデル～」 講師：三重県老人保健施設協会 事務局長 小野 昌宏 氏 「介護助手スタッフの導入について」 講師：介護老人保健施設 第二嘉祥苑アコラス 施設長 奥田 隆利 氏

イ 第2回

期 日	9月30日
開催方法	オンライン
参加者	22名
内 容	「外国人介護職員受入の流れ及び注意点について ～制度比較と具体例を交えながら～」 講師：公益社団法人国際厚生事業団 外国人介護人材支援部 主任 武井 幸一 氏 「介護技能実習生と介護特定技能外国人の関係と相違点について」 講師：公益財団法人国際人材協力機構 実習支援部 職種相談課 調査役 坂井 遊 氏

ウ 第3回

期 日	3月13日
開催方法	対面・オンライン併用
参加者	60名
内 容	「生産性向上の必要性と全国的な動向」 講師：社会福祉法人善光会 理事 最高執行責任者 宮本 隆史 氏 「生産性向上に関する取組」 講師：社会福祉法人寿敬会 業務部長 雲出 達也 氏

⑪ 外国人介護人材受入支援事業

介護職の外国人材拡大について、相談会及び研修会の開催により、受入事業所を支援した。

ア マッチング相談会

	第1回	第2回
期 日	10月6日	2月24日
開催方法	オンライン	オンライン
参加者	参加者 : 7事業所 出展事業者: 7社	参加者 : 7事業所 出展事業者: 7社
内 容	外国人介護人材を紹介するノウハウを持つ事業者が外国人介護人材の雇用を希望する介護施設・事業所に対して、外国人介護人材の確保方法や手続き、必要となる経費等について説明・質疑を行った。	

イ 指導者向け研修会

	第1回	第2回
期 日	8月25日	1月31日
開催方法	オンライン	オンライン
参加者	23名	21名
内 容	・講義「外国人介護職員への指導プロセス～夜間業務に向けて～」	・講義「外国人職員が働きやすい職場づくり～異文化理解と接し方～」 ・外国人介護職員へのインタビュー

⑫ 資格取得に係る受験対策講座等（「福祉のしごと塾」）の実施

福祉資格の取得を目指す方々を対象に受験対策講座を紀南福祉人材バンクで実施した。

介護支援専門員実務研修受講試験 受験対策講座	
期 日	7月22日～9月9日の間 計6回 午後7時～9時
会 場	田辺市民総合センター 機能訓練室
参加者合計	9名（受験番号届出6名、合格5名）

介護福祉士国家試験 受験対策講座	
期 日	11月9日～12月21日の間 計6回 午後7時～9時
会 場	よりみちサロンいおり
参加者合計	5名（受験番号届出5名、合格4名）

社会福祉士国家試験 受験対策講座	
期 日	12月1日～12月22日 計4回 午後7時～9時
会 場	よりみちサロンいおり
参加者合計	6名（受験番号届出4名、合格2名）

(3) 保育士人材確保事業

※ () 内の数字は放課後児童クラブ人材確保事業実績数

① 潜在保育士の再就職に関する相談等

ア 相談件数

	新規就職	再就職	離職防止	その他	求人	計
紀北	104 (7)	132 (0)	0 (0)	17 (1)	159 (3)	412 (11)
紀中	2 (2)	5 (2)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	11 (4)
紀南	30 (2)	71 (2)	0 (0)	12 (2)	61 (3)	174 (9)
不明	3 (0)	10 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	14 (0)
計	139 (11)	218 (4)	0 (0)	29 (3)	225 (6)	611 (24)

※「(1) 福祉人材センター事業 (福祉人材無料職業事業等)」に記載の①ア表の内数

イ 保育士にかかる求人求職登録及び紹介・就職状況

	新規求人数	新規求職数	紹介・応募者数	採用・内定数
県全体	418	154	21	19

※上表は、「(1) 福祉人材センター事業 (福祉人材無料職業事業等)」に記載の①イ表の内数

※上表以外による保育士にかかる採用・内定者数3名

ウ 出張相談 (相談件数)

場所	ハローワーク 御坊	ワークプラザ 紀ノ川	ハローワーク 新宮	
期日	5月18日	5月11日	5月17日	計
	7月20日	7月13日	7月19日	
	9月21日	9月14日	9月20日	
	11月16日	11月9日	11月15日	
	1月18日	1月11日	1月17日	
	3月15日	3月8日	3月7日	
計	1 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)

エ 保育士サロンの開催

再就職に向けての不安や思い、保育現場の情報について等、意見交換及び情報交換

- ・“ふおすた～サロン” (和歌山ビッグ愛)

	第1回
期日	11月8日
参加者	4名 (0名)

- ・“保育士応援カフェ” (よりみちサロンいおり)

	第1回	第2回
期日	6月22日	9月14日
参加者	2名 (0名)	1名 (0名)

オ 保育所見学

保育士として就職を考えている方が保育所等の雰囲気を知る機会として随時受付。

訪問先・日時を調整する。見学者の希望により保育士支援コーディネーターが同行する。

	件数	うち同行件数
紀北・紀中	54 (0)	27 (0)
紀南	9 (0)	5 (0)
計	63 (0)	32 (0)

カ 情報の提供

平成26年度及び平成30年度実施のアンケート調査への回答者のうち、情報提供希望者に職場体験や就職フェア、再就職支援研修会等の情報を提供した。(希望者数54名 [内訳: 送付9名、LINE45名])

② 保育士の定着支援に係る相談等

ア 保育所訪問

保育所及び市町村における保育士不足等現状把握の調査等を行った。

	公立	私立	合計
紀北・紀中	49 (13)	143 (9)	192 (22)
紀南	16 (6)	37 (7)	53 (13)
計	65 (19)	180 (16)	245 (35)

③ 潜在保育士に対する再就職支援研修

ア 潜在保育士再就職支援研修会の開催

	紀北会場	紀南会場
期 日	10月12日、13日	10月20日、21日
会 場	和歌山ビッグ愛	田辺市民総合センター
参加者	延べ33名	延べ10名
内 容	講義「保育所保育指針について (保育所保育指針を理解する)」 「子どもを見る視点 (子どもとの関わりを通して年齢別の子どもの姿を理解する)」 「保護者との連携の大切さ (保護者の思いを知ろう)」 講師: 大原大阪保育こども教育専門学校 非常勤講師 芝本 和華 氏 講義「発達の気になる子どもへの関わり (保育士の疑問と子どもの発達特性との関わりについて)」 講師: 和歌山市保育こども園課 臨床心理士 多部 友博 氏	

(4) 保育人材定着支援事業

保育士支援アドバイザー (社会保険労務士) を配置し、下記の業務を行った。

(社会保険労務士 雑賀 輝正 氏に委託)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士の労働環境改善 (職員の勤務時間の改善や子育て中の保育士が多様な働き方を選択できる環境づくり、ICT化の推進、書類作成の省力化、業務改善等) に係る保育所等への巡回訪問支援の実施 ・ その他保育士の労働環境改善に資する事業の実施
--

① 先進事例の調査

ア 菊地加奈子社会保険労務士 (社会保険労務士法人ワーク・イノベーション) を訪問し、兵庫県豊岡市における「保育士等確保推進業務」について、聞き取り調査を行った。

実施日 令和4年6月9日

場 所 横浜市 (社会保険労務士法人ワーク・イノベーション)

イ 打ち合わせ

期 日	場 所	内 容
令和4年6月2日	県社協	菊地先生への質問事項等
令和4年6月24日	県社協	① 菊池先生に伺ったお話の振り返り ② モデル園候補の検討 ③ 支援内容の検討 等

② 保育士の労働環境改善に係る巡回訪問支援「モデル園」の募集・選定

ア 打ち合わせ

期 日	場 所	内 容
令和4年7月19日	県社協	① モデル園候補への説明資料について ② モデル園候補訪問日程について ③ 依頼資料一覧、アンケート調査等について

イ 事業所訪問

期 日	場 所
令和4年8月3日	太陽保育園（和歌山市）
令和4年8月8日	香久の実保育園（橋本市）
令和4年8月10日	片男波こども園（和歌山市）
令和4年9月12日	ポッポ保育園（広川町）
令和4年10月7日	粉河保育園（紀の川市）
令和4年10月19日	コスモス保育園（有田川町）

③ 保育士の労働環境改善に係る巡回訪問支援の実施（モデル園：太陽保育園）

ア 職員会議での事業説明

期 日	場 所	内 容
令和4年9月3日	太陽保育園	職員への事業説明 アンケート調査の依頼

イ 打ち合わせ

期 日	場 所	内 容
令和4年9月28日	県社協	アンケート調査の集計方法について 日程調整等、今後の進め方について

ウ 太陽保育園との協議

期 日	場 所	内 容
令和4年10月17日	県庁北別館	職員アンケート結果を元に課題ヒアリング 職員個別ヒアリングの依頼

エ 職員個別ヒアリング

- ・ 日 程 10月24日、27日、
11月2日、4日、7日、8日、9日、11日、14日、15日、18日
 - ・ 場 所 太陽保育園
 - ・ 相 手 太陽保育園の職員21名
 - ・ 実 施 者 保育士支援アドバイザー（社会保険労務士）、
保育士等支援コーディネーター（県社協）
県子ども未来課
 - ・ 内 容
 - ・ 行事の負担について（今後の工夫できる点等）
 - ・ 現在思っていること、悩んでいること
 - ・ 持ち帰り業務、残業について
 - ・ 太陽保育園でのやりがいについて
 - ・ 書類作成の負担
 - ・ 保護者対応の負担
 - ・ 人間関係のこと（心の負担について）
- ※ 聴き取る内容は時間やヒアリング相手により調整

オ 打ち合わせ

期 日	場 所	内 容
令和4年11月25日	県庁北別館	ヒアリング後のまとめ（提案内容の検討） ⇒問題点と課題解決策 （行事内容の見直しや業務の見える化等）
令和4年12月2日	県社協	職員会議への説明資料検討 （限定正社員制度等）

カ 太陽保育園（園長、主任）との協議

期日	場所	内容
令和4年12月12日	県社協	職員ヒアリングの報告 問題点と課題解決策の提案 （行事内容の見直しや業務の見える化、限定正社員制度等）

キ 職員会議での説明

期日	場所	内容
令和4年12月17日	太陽保育園	問題点と課題解決策の提案 （行事内容の見直しや業務の見える化、限定正社員制度等） 行事見直しアンケートの依頼

ク 打ち合わせ

期日	場所	内容
令和4年12月21日	県社協	業務仕分けについて
令和5年1月10日	県社協	行事見直しアンケートの集計について 限定正社員制度のための就業規則案等について

ケ 太陽保育園（主任）との協議

期日	場所	内容
令和5年1月20日	県社協	行事内容の見直しアンケート（ワークショップで取り組む内容の事前取りまとめのため） 今後について報告

コ 他園の参考事例のヒアリング

期日	場所	内容
令和5年1月23日	ポッポ保育園 （広川町）	業務ソフト導入によるICT化等について ※太陽保育園職員（主任）が同行

サ 職員ワークショップの開催

期日	場所	内容
令和5年2月15日	太陽保育園	行事見直しについて

シ 太陽保育園（主任）との協議

期日	場所	内容
令和5年2月27日	県社協	職員配置について（労務関係など） 行事見える化について（ワークショップまとめ）
令和5年3月9日	県社協	新年度の職員配置、その他推進状況等

ス 取り組み事例調査

期日	場所	内容
令和5年3月23日	Nuku 森の丘こども園	人材確保・定着（ICT化、勤務シフト、職員コミュニケーション等）
	上南部こども園	シルバー人材センターの活用

セ 太陽保育園（主任）との協議

期日	場所	内容
令和5年3月27日	県社協	2園への聞き取り内容の共有 次年度の担当職員の配置の聞き取り 今後の支援内容について（ICTを進める流れ等）

2 福祉人材の育成と定着の促進

(1) 研修ニーズの把握

① アンケート調査の実施

ア 社会福祉事業従事者に対するアンケート調査

各社会福祉施設等における、研修の取り組み状況及び研修ニーズを把握し、今後の研修事業を展開する上での基礎資料とすることを目的に実施した。

実施期日：10月12日～10月31日

調査対象：生活保護施設、老人福祉保健施設、介護保険事業所、障害者福祉施設、児童福祉施設、市町村社会福祉協議会

② 研修終了後の受講者に対するアンケート

各研修終了後、受講した研修科目の理解度、満足度等について把握し、今後ニーズにあった研修の企画・運営の参考とすることを目的に実施した。

実施期日：随時（各研修終了時）

3 社会福祉事業従事者を育成するため、階層別・課題別・資格取得支援研修の充実、強化

(1) 階層別研修の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容※（講師名敬称略）
キャリアパス対応生涯研修 初任者	7月27日 和歌山ビッグ愛	入職後3年未満の職員等	18名	【講義・演習】 ・福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理の基礎を理解する ・組織の一員としてのフォロワーシップの醸成 （講師）和歌山県社会福祉協議会 職員 ・対人関係マナーと言葉遣い （講師）日本現代作法会 総師範 羽山 京子
	7月28日 和歌山ビッグ愛			【講義・演習】 ・初任者としての能力開発 ・業務を振り返り、問題解決の必要性を理解する ・福祉サービスとリスクマネジメント ・組織のなかでの多職種連携・協働 ・組織運営管理の基礎を知る ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定 （講師）和歌山県社会福祉協議会 職員
キャリアパス対応生涯研修 中堅職員	10月25日 和歌山ビッグ愛	入職後概ね3～5年の職員等	20名	【講義・演習】 ・中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理の理解を深める ・中堅職員としてのフォロワーシップの醸成 ・チームケアと問題解決－遭遇要因分析 （講師）オフィスカナン 代表 山田 奈津美 ・人権について考える （講師）いのちの講演家 岩崎 順子
	10月26日 和歌山ビッグ愛			【講義・演習】 ・中堅職員としての能力開発と後輩職員の指導 ・現在起きている問題を解決し、後輩職員をリードして取り組む ・利用者の尊厳を守る福祉サービスとリスクマネジメント ・他組織や地域の専門職との連携・協働 ・組織運営管理の理解促進と参画 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定 （講師）オフィスカナン 代表 山田 奈津美
キャリアパス対応生涯研修 チームリーダー	令和5年 3月1日 和歌山ビッグ愛	現に主任・係長等に就いている職員、チームリーダー等の役割を担う中堅職員	19名	【講義・演習】 ・チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理を推進する ・チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成 ・OJTの効果的推進 （講師）特定非営利活動法人ネオ 理事長 山下 眞史
	令和5年 3月2日 和歌山ビッグ愛			【講義・演習】 ・チームリーダーとしての能力開発とOJTの推進 ・チームで問題解決に取り組み、その先頭に立つ ・サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント ・チームアプローチと多職種連携・地域協働の推進 ・組織運営管理への参画と協働 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定 （講師）特定非営利活動法人ネオ 理事長 山下 眞史

(2) 課題別研修[専門技術研修(従事者の知識と技術の向上をめざす)]の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容※(講師名敬称略)
日常の記録の取り方研修(オンライン)	5月18日	社会福祉事業従事者、再就職希望者	19名	【講義・演習】 ・はじめに・・・ ・記録の目的 ・読みやすい記録の記録の書き方 ・事例を用いて記録しよう ・記録作成時の留意点と視点 ・記録の管理・開示 ・記録を活かすために ・最後に・・・ (講師) 特定非営利活動法人 よつ葉福祉会 会長 井端 智子
福祉レクリエーション研修	5月24日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	33名	【講義・実技】 ・コロナ禍、福祉現場でのレクリエーション ■視点を変えよう「あそびの活かし方」 ■コミュニケーションデザインという視点から見るレクリエーションの使い方 ■ワタシが擦り減らないための愉しみ方 ■「活かせる・使える」道具の実践と紹介 ■アタマとココロを使うレクリエーション ■あなたの「伝えた」は「伝わって」いる? ■まとめ (講師) あそびの工房 もくもく屋 事務局長 コミュニケーションデザイナー 田川 雅規
ファシリテーション研修	6月2日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	22名	【講義・演習】 ・ファシリテーションとは? ・円滑な会議進行・多職種連携・コミュニケーション ・ホワイトボードの効果的な使い方 ・福祉職場で使えるファシリテーション ・その他 (講師) 特定非営利活動法人ネオ 理事長 山下 真史
発達障がい児・者(オンライン) 処遇研修(基礎編)	6月30日	社会福祉事業従事者、再就職希望者	22名	【講義】 ・発達障がいを知ってください 【発達障がいの支援方法】 ・視覚支援あれこれ 【事例検討】 ・グループワーク 【講義】 ・家族支援・まとめ (講師) 和歌山県発達障害者支援センターポラリス センター長 辻 幸代 相談支援員 堀川 律子
認知症ケア研修	7月19日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	12名	【講義・演習】 認知症の人の生活を支える視点 ・認知症ケアの変遷と現在の認知症施策 ・認知症ケアの理念(パーソンセンタードケア) ・専門職として求められる姿勢 認知症の人を理解するための基本的知識 ・中核症状について ・原因疾患別の理解と対応について 認知症の行動・心理症状の理解と対応 ・出現原因の理解 ・事例から対応方法を学ぶ まとめ (講師) 社会福祉法人喜成会 高齢者総合ケアセンターみらい センター長 長森 秀尊
発達障がい児・者(オンライン) 処遇研修(応用編)	8月2日	社会福祉事業従事者、再就職希望者	(新型コロナウイルスの影響により中止)	【講義】 「問題行動のとらえ方を考える」 【グループワーク】 事例検討① 事例検討② 【まとめ】 (講師) 和歌山県発達障害者支援センターポラリス センター長 辻 幸代 相談支援員 堀川 律子
児童虐待の防止利権研修	8月10日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	14名	【講義】 児童虐待の理解と子ども家庭支援の実際 【演習】 子ども家庭支援および対人援助に役立つ面接技法 ～否定しないコミュニケーションを考える～ (講師) 和歌山大学 教職大学院 教授 衣斐 哲臣

介護技術研修 (基礎)	8月24日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	16名	【講義と実技】 ・移乗、移動 ・歩行補助 ・床ずれ防止 ・転倒、転落防止 ・衣類着脱、排泄 ・入浴介助 ・食事介助、口腔ケア ・質疑応答 (講師) 一般社団法人 和歌山県介護福祉士会 会長 下垣内 雅巳
感染症予防対策研修	9月7日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	24名	【講義】 「新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症予防対策、又、発生してからの対処方法等について」 (講師) 和歌山県立医科大学附属病院 感染管理認定看護師 柳瀬 安芸
高齢者の権利擁護・虐待防止研修	9月14日 上富田文化会館 小ホール	社会福祉事業従事者、再就職希望者	12名	【講義】 ・権利擁護とは、虐待防止とは？ ・意思決定支援とは？ ・その他 【演習】 ・グループワーク等 事例等を通じて権利擁護・虐待防止を考察する (講師) 一般社団法人和歌山県社会福祉士会、ばあとなあ和歌山 小長谷 恭史
社会福祉援助技術の基礎研修	11月11日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	14名	【ミニセッション】 ・相談面接の基本の「き」 【講義】 ・相談面接の価値の倫理 ・相談援助を行う職種の基本姿勢 【演習】 ・ペアワークによる導入演習 ・短い事例を使った相談援助技術の基礎の理解 (講師) 社会福祉法人神愛会 特別養護老人ホーム愛の園 施設長 崎山 賢士
介護技術研修 (応用)	11月16日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	29名	【講義と実技】 ・重度障害者(全身麻痺の方等)の移動、ポジショニング ・二人介助による移乗 ・体位変換クッションの作り方、使用方法 (講師) 一般社団法人 和歌山県介護福祉士会 会長 下垣内 雅巳
面接技法とアセスメント力の向上研修	11月29日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	(新型コロナウイルスの影響により中止)	【講義】 ・相談援助面接の価値と倫理 ・家族システムの理解とジェノグラムの使い方 【演習】 ・事例の写真を使ってアセスメントしてみよう ・ジェノグラムを使って家族アセスメントをやってみよう 【ふりかえり】 (講師) 社会福祉法人神愛会 特別養護老人ホーム愛の園 施設長 崎山 賢士
障がい者の権利擁護・虐待防止研修	12月14日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	36名	【講義】 ・障害者の権利擁護と虐待防止 【演習】 ・事例を通して考える利用者さんの気持ちと自分たちの行動 (講師) 一般社団法人和歌山県社会福祉士会 副会長 河合 馨
ターミナルケア研修	令和5年1月31日 県立情報交流センタービッグU	社会福祉事業従事者、再就職希望者	14名	【講義】 ・アドヴァンス・ケア・プランニング ・ターミナルケアとは ・コロナ禍での看取りケア ・看取り期の経過と具体的なケア ・グリーフケア (講師) 特別養護老人ホーム カルフル・ド・ルポ印南 上田 裕子

(3) 課題別研修[組織支援研修(組織全体の質を高める)]の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容※(講師名敬称略)
福祉サービスマナー研修 (初任者向け)	4月12日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	24名	<p>【講義・ロールプレイ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設・事業所職員としての基本の心得 ・接遇マナーの必要性 ・相手を思う気持ちをカタチに代えて伝える ・伝えるとは ・コミュニケーションにおける基本的欲求 ・接遇で築く利用者様との信頼関係 ・福祉サービスの五段階 ・視覚的要素・聴覚的要素・感覚的要素 ・5段階サービスの応用 ・ビジネス畑の「ほうれんそう」を再認識・再確認 ・電話のマナー ・福祉現場での心配り10ポイント <p>(講師) マナークライス代表、フリーアナウンサー 羽山 京子</p>
コミュニケーション向上研修	4月26日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	26名	<p>【講義・演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的と手段 ・コミュニケーションにおける心の在り方 ・伝える 聴くときのポイント ・ポジティブなコミュニケーションにするためのワンポイント ・まとめ <p>(講師) 接客向上委員会&Peace 代表 石坂 秀己</p>
福祉サービスマナー研修 (リーダー向け)	5月12日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	14名	<p>【講義・ロールプレイ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○接遇マナーの基本的なスキルの再確認 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設職員として基本の心得 ・身だしなみとおしゃれの違い ・心を伝えるためのおじぎのポイント ・挨拶と言葉づかい ○リーダー(社会人)としての知識 <ul style="list-style-type: none"> ・部屋の上座と下座 ・お茶とお菓子の位置 ・配膳のマナー ・名刺のマナー ○リスク管理 <ul style="list-style-type: none"> ・リスク管理と危機管理 ○電話対応 <ul style="list-style-type: none"> ・かけ方、受け方、不在伝言電話のポイント ○クレーム対応 <ul style="list-style-type: none"> ・基本手順と具体的な接遇ポイント ○部下への指示・伝える時の話し方のポイント <p>(講師) マナークライス代表、フリーアナウンサー 羽山 京子</p>
リーダーシップ(オンラインマネジメント)力研修	6月8日	社会福祉事業従事者、再就職希望者	20名	<p>【講義・グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リーダーシップとは何か? <ul style="list-style-type: none"> ・あなたのリーダーシップの特徴は? ・リーダーに必要な条件とは? ○部下のモチベーションをアップさせるためには? <ul style="list-style-type: none"> ・満足する仕事をさせるために必要な3要素 ・部下職員教育のあり方 ○部下への具体的かつ効果的なアプローチ方法 <ul style="list-style-type: none"> ・質問や相談を活用する ・褒め方、叱り方、説明の仕方、話の聴き方 ・部下職員の定着のためのポイント ○リーダーに必要な報告・連絡・相談(報連相) <ul style="list-style-type: none"> ・【グループワーク①】上司によって職場がわかる ・【グループワーク②】相手のパーソナリティを把握する ・【グループワーク③】情報によるマネジメント <p>(講師) 株式会社紀の州コンサルティング 代表取締役 濱田 智司</p>
職場研修担当者研修	7月5日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	12名	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場内研修の意義と人材育成の3ジャンル(OJT、OFF-JT、自己啓発) ・研修担当者の役割と課題、具体的な進捗マネジメント ・研修カリキュラムを立案し、PDCAを回してみる! ・職員研修の具体的かつ実践的な推進方法を体験する ・研修技法、実際の研修ノウハウ及び実践力向上のポイント等 <p>(講師) 株式会社紀の州コンサルティング 代表取締役 濱田 智司</p>

ジ ア メ ン ガ ー 研 修 ネ	8月16日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事 者、再就職希望者	27名	【講義・グループワーク】 ・アンガーマネジメントとは ・アンガーマネジメントの実践 ・伝わる怒り方 (講師) 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントトレーニングプロフェッショナル 堀部 三智子
ア サ ー テ ィ ブ 研 修	8月17日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事 者、再就職希望者	23名	【講義・演習】 ・アサーティブとは？ ・コミュニケーションパターンのくせ ・アサーティブに頼む ・アサーティブに断る ・ほめる、ほめられる (講師) NPO法人アサーティブジャパン 会員トレーナー 堀部 三智子
メ ン タ ル ヘ ル ス 研 修	12月6日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事 者、再就職希望者	29名	【講義・演習】 ○ストレスマネジメントについて学ぶ ・ストレスの基礎知識を学ぶ ・自分自身のストレス反応について知る ・ストレス対処法を習得する、など ○業務上のストレスを考え解決のヒントを探る (講師) フェリアン 副所長 津村 薫
ク レ ー ム ・ 研 修 ・ 苦 情 対 応	令和5年1月17日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事 者、再就職希望者	25名	【講義・演習】 ・福祉介護事業での苦情の実例 ・苦情が発生するまでの過程 ・苦情対応の基本対応・心構え・考え方 ・2次クレームにつなげないケース別対応 ・2次クレームにつなげない苦情対応接遇 ・苦情削減のための組織での取り組み ・苦情を活かした業務改善 ・行き過ぎた苦情要望に対する組織対応姿勢 (講師) 株式会社ユメコム 代表取締役 橋本 珠美
リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト 研 修	令和5年2月14日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事 者、再就職希望者	27名	【講義・ワーク】 福祉介護の現場で起きる事故を知る ・事故実例のリストアップとカテゴリー分けによって、 ・事故によるリスクマネジメントを学ぶ 【講義】 事故発生時の間違わない初動を学ぶ ・事故対応は、迅速に・正しく・すべて～ 【講義・ワーク】 事故予防のためのリスクマネジメント ・KYTを使ったリスクの想定 ・リスク・アセスメント（リスクの発見） (講師) 株式会社ユメコム 代表取締役 橋本 珠美
福 祉 職 場 に お け る 労 務 管 理 研 修	令和5年2月22日 和歌山ビッグ愛	社会福祉施設等の 施設長、事務長、 人事、労務管理担 当者	16名	【講義】 ○労働に関する法律遵守の重要性 ○労務管理における諸手続きのポイント ・採用から退職まで ・労働保険、社会保険の給付等 ○労働時間 ・労働時間とは ・労働時間の管理 ・様々な労働時間制度 ○賃金 ○安全衛生対策 ○労務トラブル対策 ○労働に関する相談窓口 (講師) 多部社会保険労務士事務所 多部 美穂

(4) 資格取得支援研修の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容※（講師名敬称略）
介護支援専門員試験 対策勉強会Ⅰ （会場・オンライン 併用）	7月13日	第25回（令和4年度）介護支援専門員実務研修受講試験 受験予定者	25名	出題傾向の分析と対策 ・介護支援分野 （講師）一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 小長谷 恭史
介護支援専門員試験 対策勉強会Ⅱ （会場・オンライン 併用）	7月21日	第25回（令和4年度）介護支援専門員実務研修受講試験 受験予定者	25名	出題傾向の分析と対策 ・介護支援分野 ・保健医療福祉サービス分野 （講師）一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 小長谷 恭史

4 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

試験会場		申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数
紀北	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	426	36	390	51
紀南	県立南部高等学校	146	7	139	20
計		572	43	529	71

（試験事務の概要）

時期	内容
5月23日	受験の手引き配布開始
5月27日	申込受付開始
6月17日	申込受付終了
8月5日	会場下見、打ち合わせ（県立南部高等学校）
9月16日	受験票、身体障害者等試験特別措置決定通知書の発送
9月16日、20日	試験監督員等事前説明会（紀北）
9月22日	試験監督員等事前説明会（紀南）
10月9日	試験の実施
11月14日	採点・合否判定
12月2日	合格発表
随時	受験資格等、照会応答

5 その他

(1) 研修に関する周知・広報

① 研修パンフレットの作成

令和4年度実施予定の研修事業について、周知・広報を目的に「研修のご案内」パンフレットを作成し送付した。

(2) 関係機関・団体との連携

① 全国・近畿ブロック会議等への参加

期日	会議名	場所等
4月19日 ～20日	福祉人材情報システム研修会	オンライン
6月14日	福祉人材センター業務・法令研修会	オンライン
9月22日	福祉人材センター全国連絡会議	オンライン
11月28日	関西ブロックマッチング機能強化研修	大阪府

12月16日	福祉人材センター・バンク基幹職員会議	オンライン
12月22日	近畿ブロック福祉人材センター連絡会議	大阪府
1月20日	保育士・保育所支援センター等実施福祉人材センター連絡会議	オンライン
2月15日	社会福祉研修実施機関連絡会議	オンライン

《福祉人材研修部・福祉介護サービス評価センター》

1 受審事業所数の拡大と評価の質の向上

(1) 福祉サービス第三者評価事業

評価機関として、平成24年度より3年に1回の第三者評価の受審が義務付けられている社会的養護関係施設について、2件の第三者評価を行った。

受審後の施設に対し、第三者評価結果を効果的に活用する事を目的として、利用者アンケート等を提案し支援に努めた。

① 実績

	施設名	種別	定員	調査日
社会的養護関係	ひまわり寮	児童養護施設	36名	1月17日、18日
社会的養護関係	つつじが丘学舎	児童養護施設	45名	1月26日、27日

② 施設への支援

社会的養護関係施設においては、評価のガイドラインについて説明を行った。

③ 評価調査者の登録状況及び質の向上

ア 評価調査者の登録数 評価調査者 18名

イ 研修への参加

名称/主催	期日	場所	参加者	講師
令和4年度社会的養護関係施設第三者評価事業「評価調査者」継続研修会/社会福祉法人全国社会福祉協議会 主催	5月19日 ～20日	オンライン参加	1名	-
令和4年度福祉サービス第三者評価調査者指導者研修会/社会福祉法人全国社会福祉協議会 主催	① 7月15日～ 8月5日 ② 7月28日	オンライン参加	1名	-
令和4年度社会的養護関係施設第三者評価事業「評価調査者」養成研修会/社会福祉法人全国社会福祉協議会 主催	① 2月10日～ 3日10日 ② 2月28日	・オンライン参加 ・会場（東京都）参加	2名	-
令和4年度福祉サービス第三者評価事業評価調査者継続研修会/県福祉サービス第三者評価事業推進委員会 主催	3月7日	和歌山市	12名	1名

(2) 地域密着型サービス外部評価事業

評価機関として、認知症対応型共同生活介護のサービスの質の向上の支援、利用者への情報提供に資することを目的に外部評価に努め、本年度は25件の外部評価を行った。

① 実績

	事業所名	法人名	調査日
1	ゆりのき苑	(有) メディカルサービス有田	4月26日
2	グループホーム友愛	(福) 皆楽園	4月27日
3	フローレンス三寿	(福) 公風会	5月18日
4	グループホームハピネス岩出	タイワ (株)	5月24日
5	グループホーム喜成会	(福) 喜成会	6月6日
6	愛光園グループホーム	(福) 愛光園	6月28日
7	愛光園第2グループホーム	(福) 愛光園	6月29日

	事業所名	法人名	調査日
8	グループホームたんぼぼ	(株) 愛和	7月6日
9	グループホームゆらり	(有) 響	7月21日
10	春風会きしグループホーム	(株) 春風会	8月24日
11	ゆりのき苑やまち	(有) メディカルサービス有田	9月16日
12	グループホームすこやか	(福) 三田福祉会	9月29日
13	グループホームなかはや	(株) 雄清	9月30日
14	グループホームなぎの家恵友	(医) 恵友会	10月12日
15	わかうら園第2グループホーム	(福) わかうら会	10月17日
16	グループホームアネックスパル	(株) イクロス	10月27日
17	わかうら園第1グループホーム	(福) わかうら会	11月10日
18	グループホーム風倶楽部	(福) 高陽会	11月16日
19	グループホーム風の里	(福) 高陽会	11月25日
20	グループホームひまわり	(有) プライムタイム	12月13日
21	グループホームぷすぷす	(福) 河西福祉会	1月17日
22	グループホーム向日葵倶楽部	(福) 和歌山ひまわり会	2月15日
23	グループホームサニーワン	(福) 紀成福祉会	2月21日
24	グループホームさくらの丘	(福) 高陽会	2月21日
25	グループホームあんず	(福) 東和歌山福祉会	3月2日

② 評価調査者の登録状況及び質の向上

ア 評価調査者の登録数 評価調査者 21名

イ 研修会の開催

名称/主催	備考
令和4年度 外部評価評価調査員フォローアップ研修 /本会・県社会福祉士会	(新型コロナウイルスの影響により 中止)

③ 審査委員会の開催

委員：学識経験者 大饗 義仁氏
 事業者の代表 中本 昌子氏
 認知症高齢者家族の代表 前田 由美子氏

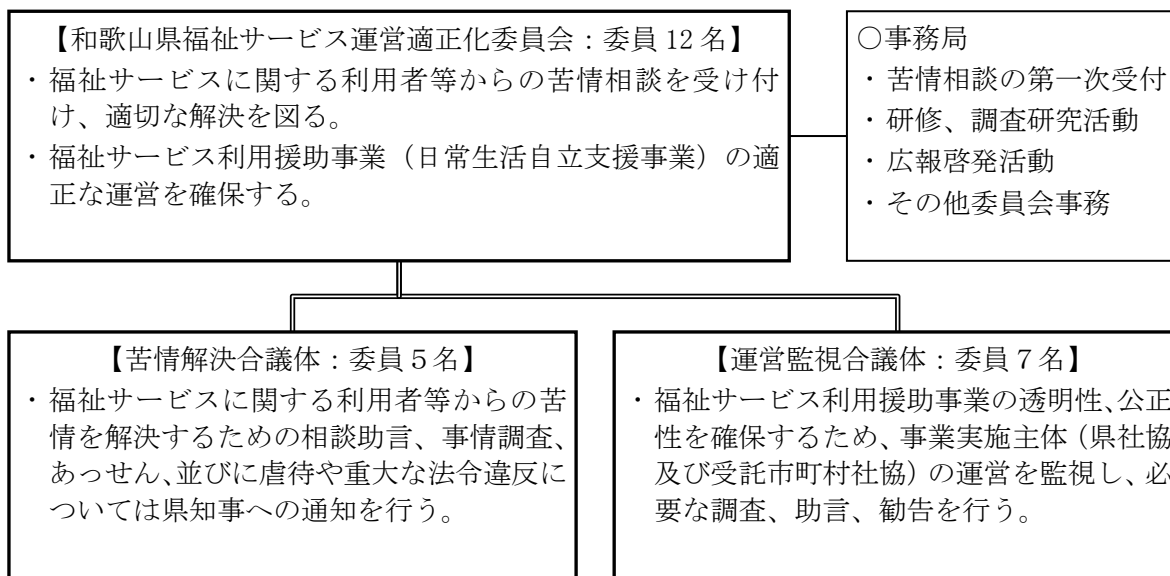
期 日	内 容	備 考
3月6日 (書面決議)	令和4年度事業の報告について 他	

～事項別報告～

**IV 福祉サービス
運営適正化委員会**

《和歌山県福祉サービス運営適正化委員会関係》

1 和歌山県福祉サービス運営適正化委員会の組織・委員等



【和歌山県福祉サービス運営適正化委員会委員構成】（令和 5 年 3 月現在）

◎委員長：栗山 隆博 ○副委員長：本田 壽秀

分野	氏名	所属・役職	
社会福祉に関する学識経験者	公益代表	栗山 隆博	元 県社会福祉協議会 常務理事
		星野佳世子	社会福祉士・精神保健福祉士
		奥村里枝子	県民生委員児童委員協議会 副会長
		井 溪 芳 市	県民生委員児童委員協議会 理事
福祉サービス利用援助事業の対象者を支援する団体の代表	大 島 信 雄	県精神保健福祉家族会連合会 副会長	
	林 千 恵 子	一般社団法人県認知症支援協会 代表理事	
福祉サービス提供者代表	米 川 徳 昭	県共同作業所連絡会 会長 (社福) ふたば福祉会 理事長	
	竹中 昭美	県老人福祉施設協議会 会長 (社福) 特別養護老人ホーム天美苑施設長	
法律に関する学識経験者	内川真由美	弁護士	
	本田 壽 秀	公認会計士・税理士	
医療に関する学識経験者	野 村 繁 雄	医師 南紀医療福祉センター	
	東 直 子	和歌山県看護協会 会長	

《任期》令和 4 年 8 月 10 日～令和 6 年 8 月 9 日

【苦情解決合議体委員】

◎合議体長：内川真由美 ○職務代理者：東 直子

分野	氏名	所属・役職
社会福祉に関する学識経験者 (公益代表)	栗山 隆博	元 県社会福祉協議会 常務理事
	星野佳世子	社会福祉士・精神保健福祉士
	奥村里枝子	県民生委員児童委員協議会 副会長
法律に関する学識経験者	内川真由美	弁護士
医療に関する学識経験者	東 直 子	和歌山県看護協会 会長

【運営監視合議体委員】 ◎合議体長：本田壽秀 ○職務代理者：野村繁雄

分野		氏名	所属・役職
社会福祉に関する学識経験者	公益代表	井 溪 芳 市	県民生委員児童委員協議会 理事
	福祉サービス利用援助事業の対象者を支援する団体の代表	大 畠 信 雄	県精神保健福祉家族会連合会 副会長
		林 千 恵 子	一般社団法人県認知症支援協会 代表理事
	福祉サービス提供者代表	米川 徳昭	県共同作業所連絡会 会長 (社福) ふたば福祉会 理事長
竹中 昭美		県老人福祉施設協議会 会長 (社福) 特別養護老人ホーム天美苑施設事	
法律に関する学識経験者		本 田 壽 秀	公認会計士・税理士
医療に関する学識経験者		野 村 繁 雄	医師 南紀医療福祉センター

【県福祉サービス運営適正化委員会選考委員会】(令和5年3月現在)

◎委員長：岡本 美智子 ○副委員長：中村 茂

分野		氏名	所属・役職
公益代表		岡本 美智子	県民生委員児童委員協議会 副会長
		中 村 茂	県福祉保健部福祉保健政策局長
福祉サービス利用者代表		瀧 口 幹 二	県老人クラブ連合会 会長
		西 井 幸 男	県身体障害者連盟 顧問
社会福祉事業経営者代表		森 田 昌 伸	県社会福祉法人経営者協議会 会長
		林 保 行	県市町村社協連絡協議会 会長

《任期》令和4年7月8日～令和6年7月7日

福祉サービス運営適正化委員会選考委員会の開催

回	月 日	出席委員	場 所	内 容
1	7月21日	5名	和歌山市	(1) 委員長・副委員長を選任した。 (2) 県福祉サービス運営適正化委員会委員候補者を選任した。
2	令和5年 2月9日	5名	(書面審議)	(1) 県福祉サービス運営適正化委員会委員補欠候補者2名を選任した。
3	3月15日	6名	(書面審議)	(1) 委員長の辞任に伴い、新委員長を選任した。

2 福祉サービス運営適正化委員会（全体会議）の開催

回	月 日	出席委員	場 所	内 容
1	8月19日	11名	和歌山市	(1) 委員長・副委員長を選任した。 (2) 合議体各委員を指名した。 (3) 令和3年度事業報告を承認した。 (4) 令和4年度事業計画を確認した。

3 福祉サービスに関する苦情への対応

(1) 苦情解決合議体の開催

苦情解決合議体を開催し、福祉サービスに関する苦情への対応協議等を行った。

① 苦情解決合議体の開催

回	月 日	出席委員	場 所	内 容
1	6月21日	5名	和歌山市	・令和4年度苦情相談受付状況(5月末現在)を確認した。 ・新規受付の苦情3件の対応を協議及び確認した。

回	月 日	出席委員	場 所	内 容
2	8月19日	4名	和歌山市	<ul style="list-style-type: none"> 合議体長、職務代理者を選任した。 令和4年度苦情相談受付状況（7月末現在） 新規受付の苦情2件、継続1件の対応を確認した。
3	11月15日	5名	和歌山市	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度苦情相談受付状況（10月末現在） 新規受付の苦情2件の対応を協議及び確認した。 令和4年度苦情解決取組状況調査報告書（案）を承認した。
4	令和5年 2月21日	4名	和歌山市	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度苦情相談受付状況（1月末現在） 新規受付の苦情1件、継続1件の対応を確認した。 令和5年度年間日程（案）を承認した。

② 苦情相談の受付状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

ア 相談受付件数（単位：件）

	件数	高齢者	障害者	児童	その他
苦情	11	2	7	2	0
相談・問合せ	102	21	61	3	17

イ 月別相談受付件数（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
苦情	0	1	3	1	0	1	1	1	0	0	2	1	11
相談 問合せ	10	8	14	10	9	5	6	10	6	6	6	12	102

ウ 相談受付方法（単位：件）

	来所	電話	文書	FAX	Eメール	その他	合計
苦情/相談	2	94	0	0	17	0	113

エ 苦情相談申出人の属性（単位：件）

	苦情／相談					
	利用者	家族	代理人	職員	その他	合計
高齢者	6	13	0	3	1	23
障害者	48	11	0	2	7	68
児童	0	3	0	0	2	5
その他	6	2	1	2	6	17
合計	60	29	1	7	16	113

オ 苦情内容・解決結果【苦情として受け付けた 11 件の内訳】（単位：件）

	相談 助言	紹介 伝達	あつ せん	県へ 通知	その他		継続中	意見 要望	合計
					調査・ 申入れ	中断・ 取下等			
職員の接遇	1	0	0	0	0	0	0	0	1
サービスの質や量	1	0	0	0	0	0	0	0	1
利用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
説明・情報提供	3	0	0	0	0	0	0	0	3
被害・損害	2	0	0	0	0	0	0	0	2
権利侵害	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	3	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	11	0	0	0	0	0	0	0	11

カ 事情調査等の実施

苦情 11 件のうち、 委員による事情調査実施 0 件
 事務局による事業者への面接調査実施 1 件
 事業者への聞き取り（電話のみ） 10 件

キ 県福祉サービス運営適正化委員会 事業開始当初からの苦情相談受付状況（単位：件）

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
高齢者	5	6	10	12	21	32	28	23	21	12	24	9	9
障害者	1	3	6	7	13	4	15	20	10	22	13	16	13
児童	1	1	8	3	5	5	10	5	1	2	3	1	2
その他	0	1	0	0	1	3	2	0	1	5	3	0	0
合計	7	11	24	22	40	44	55	48	33	41	43	26	24
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計		
高齢者	15	5	13	8	8	3	9	0	0	2	275		
障害者	15	15	17	19	15	22	22	3	5	7	283		
児童	4	8	3	3	3	2	2	1	0	2	75		
その他	1	0	0	0	0	1	1	1	2	0	22		
合計	35	28	33	30	26	28	34	5	7	11	655		

(2) 広報・啓発活動

苦情解決事業について、利用者及び福祉サービス事業者等に対して幅広く周知を図るため、ポスター配布等を行った。

① 事業概要、事業報告のインターネット掲載

和歌山県社会福祉協議会ホームページ (<http://www.wakayamakenshakyō.or.jp/>) において、和歌山県福祉サービス運営適正化委員会のページを更新し、広報啓発・情報提供に努めた。

② 広報誌への掲載

和歌山県社会福祉協議会広報誌「福祉わかやま」（月 10,000 部発行）を活用し、「苦情解決のツボ」と題してコラム等を掲載した。

③ ポスターの配布

福祉サービス事業所内で苦情解決体制を掲示するためのポスターを希望事業所へ配布した。

(3) 関係機関等との連携

① 和歌山県人権相談ネットワーク協議会（県人権政策課）への参加

月 日	場 所	内容概要
5月13日	和歌山市 (オンライン)	「相談対応の方法について、相談者の心の理解と対応・今、「やさしさ」と「つながり」を」 講師 高野山大学 教授 上野和久 氏
令和5年 2月1日	和歌山市 (オンライン)	「女性からの相談対応 女性の抱える問題の現状と女性の相談への対応を考える」 「労働局における相談対応」等

② 県民生委員児童委員協議会での説明

月 日	場 所	出席者	内容概要
令和5年 1月17日	和歌山市	事務局1名	・令和4年度新任民生委員・児童委員研修会で和歌山県福祉サービス運営適正化委員会（福祉サービスの苦情解決）について説明を行うとともに協力を依頼した。
1月24日	有田市		
1月27日	那智勝浦町		
2月3日	かつらぎ町		
2月17日	和歌山市		
2月22日	田辺市		

4 苦情解決システムの機能強化

(1) 研修等の実施

社会福祉事業の経営者等に対して苦情解決体制が円滑に機能するように研修会の開催等を行った。

① 福祉サービス苦情解決研修会の実施

令和4年度 福祉サービス苦情解決研修会

「事例から学ぶ苦情対応力研修～徹底した事例研修で応用力を養う」

月 日	場 所	参加人数	参加対象
12月2日	和歌山市	50名	社会福祉施設・社会福祉事業所で事業者から選任された第三者委員、苦情解決責任者、苦情受付担当者、管理者等
12月21日	田辺市	42名	

② 出前講座の実施

福祉サービス事業所の職員や第三者委員が、苦情解決を適切に行えるよう、福祉サービス事業所等が主催する研修会（職員研修等）に福祉サービス運営適正化委員会事務局の職員が出向き、苦情解決の仕組みなどのテーマに沿って、一緒に考え助言等を行った。

・実施 計3事業所

(2) 巡回訪問の実施

福祉サービス事業者の自主的な苦情解決が適切に行われるよう、その体制整備についての関する相談・助言を目的に巡回訪問を実施した。

・実施 計3事業所（障害者施設3か所）

5 苦情解決取組状況調査の実施

各福祉サービス事業所の苦情解決体制整備等の状況を把握し、社会福祉法第 82 条の適正な執行に資することを目的として実施した。

(1) 調査結果概要

苦情解決責任者及び苦情受付担当者の任命は 98.6%の事業所で実施。一方、第三者委員の設置は 77.0%に留まり、21.6 ポイントも低い状況であった。この第三者委員の設置率の低さは、「社会福祉施設等調査（厚生労働省実施）」を参照すると、全国的な状況であるが、和歌山県の場合、全国平均よりも低く、更に第三者委員の設置が後退していると推察される。

なお、苦情解決の仕組みの利用者への周知等各種の取組は、第三者委員設置事業所の実施率が高い状況であった。

第三者委員未設置理由の 47.6%が「適当な人材がない」であったが、第三者委員の要件別設置状況を見ると「評議員（地域の福祉関係者）」が最も多い状況であった。

第三者委員への報酬では、報酬無しが 82.0%、報酬有りでは、1 回 3 千円以下が多い状況であった。

6 福祉サービス利用援助事業の運営監視

(1) 運営監視合議体の開催

運営監視合議体を開催し、実施主体から福祉サービス利用援助事業について報告を受けるとともに、現地調査結果による助言等の協議を行った。

回	月 日	出席委員	場 所	内 容
1	8 月 19 日	7 名	和歌山市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度運営監視合議体現地調査に基づく助言に対する回答を実施主体から聴取した。 ・令和 4 年 7 月末現在日常生活自立支援事業の実績報告を聴取した。 ・令和 4 年度運営監視合議体現地調査の実施について審議した。
2	令和 5 年 2 月 7 日	6 名	和歌山市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度「現地調査」の調査結果及び助言等文書通知事項について審議した。 ・令和 5 年度「運営監視合議体」事業計画を承認した。

(2) 現地調査及び助言等

福祉サービス利用援助事業全般の監視を行い、現地調査、勧告及び助言を行った。

① 現地調査の実施

調 査 先	現地調査 月 日	出席 委員	予備調査 月 日	内 容
和歌山市社会福祉協議会	5 月 19 日	5 名	—	【事前調査】 （文書回答） <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施体制、広報活動等の状況、契約および相談の状況 【現地調査（予備調査）】 <ul style="list-style-type: none"> ・相談状況や処理状況、課題、要望等の聞き取り ・利用者各ケースについて、契約書、ケース記録、書類等預かり書記載事項実物照合（貸金庫及び事務所金庫内）
印南町社会福祉協議会	11 月 8 日	2 名	9 月 15 日	
日高川町社会福祉協議会	11 月 8 日	2 名	9 月 22 日	
由良町社会福祉協議会	（中止）	—	10 月 7 日	

湯浅町社会福祉協議会	11月17日	3名	10月7日	事務局による予備調査と委員による現地調査を実施した。なお、2市町社協は、コロナ感染により、委員による現地調査を中止した。
海南市社会福祉協議会	(中止)	—	11月1日 11月17日	
橋本市社会福祉協議会	12月2日	2名	10月31日	
九度山町社会福祉協議会	12月2日	2名	11月7日	
田辺市社会福祉協議会	12月8日	4名	11月10日 11月25日 11月29日	

- ② 現地調査を行った社協に対する勧告・助言
 現地調査の結果を踏まえ、県社協に対し通知し、是正を求めた。

社協名	勧告	助言
和歌山県社会福祉協議会	3件	1件

7 福祉サービス運営適正化委員会全般にかかる事業の実施

(1) 都道府県運営適正化委員会との連携

① 都道府県運営適正化委員会事業研究協議会

月日	場所	参加者
7月12日	WEB会議	本会事務局1名

② 都道府県運営適正化委員会相談員研修会

月日	場所	参加者
10月24日～11月14日	動画配信	本会事務局1名視聴

③ 近畿ブロック運営適正化委員会事務局担当者会議（幹事県として開催）

月日	場所	参加者
令和5年3月3日	和歌山市	本会事務局4名

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円			
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額	6,500円			
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額	4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)			
年間保険料		350円	500円	550円	

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険
ホームページ)

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

<引受幹事> 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)